

平成30年度  
余市町地域公共交通網形成計画

第5回活性化協議会資料  
〈アンケート等調査結果〉

平成30年11月28日



< 目 次 >

1. 余市町地域公共交通アンケート調査.....	1
(1) 配布数など.....	1
①配布数・回収数及び回収率.....	1
②拡大処理の必要性.....	3
(2) 個人属性及び交通利便性.....	4
①住所：問1 Q 1.....	4
②居住者の人数：問1 Q 2.....	5
③学生及び65歳以上の人数：問1 Q 3.....	5
④性別：問1 Q 4 ①.....	6
⑤年齢：問1 Q 4 ②.....	6
⑥就業・就学の有無：問1 Q 4 ③.....	7
⑦自動車運転免許保有の有無：問1 Q 4 ④.....	8
⑧自家用車使用の状況：問1 Q 4 ⑤.....	9
⑨運転の状態：問1 Q 4 ⑥.....	10
⑩運転免許証の返納：問1 Q 4 ⑦.....	11
⑪自宅から鉄道駅までの概ねの距離：問1 Q 5 ①.....	12
⑫自宅からバス停までの概ねの距離：問1 Q 5 ②.....	13
⑬鉄道駅及びバス停までの遠さ：問1 Q 6.....	14
(3) 公共交通利用実態.....	15
①公共交通を利用した外出時間帯（平日）：問2 Q 7 a.....	15
②公共交通を利用した外出時間帯（土日）：問2 Q 7 a.....	16
③公共交通を利用した主な外出目的：問2 Q 7 b.....	17
④公共交通を利用した主な行き先：問2 Q 7 c.....	18
⑤公共交通利用者の地域間移動状況（拡大処理）：問2 Q 7.....	19
(4) 公共交通の潜在需要.....	21
①どのような公共交通があれば利用したいか：問3 Q 8 ①.....	21
②公共交通以外での外出時間帯（平日）：問3 Q 8 ② a.....	22
③公共交通以外での外出時間帯（土日）：問3 Q 8 ② a.....	23
④公共交通以外での主な外出目的：問3 Q 8 ② b.....	24
⑤公共交通以外での主な行き先：問3 Q 8 ② c.....	25
⑥公共交通潜在需要の地域間移動状況（拡大処理）：問3 Q 8.....	26
（参考）想定される公共交通利用者数（拡大処理）.....	27
(5) 今後の公共交通のあり方.....	33
①路線バスへの不満及び改善点：問4 Q 9 ①.....	33
②路線バスの停留所を置いてほしい施設：問4 Q 9 ②.....	35
③利用したい公共交通：問4 Q 10.....	38
④その他路線バスなど公共交通についての意見：問4 Q 11.....	41
2. バス乗降調査.....	43

(1) 余市協会病院線バス乗降調査 1 .....	43
①利用者数 .....	43
②時間別利用者数 .....	43
③年齢別利用者数 .....	45
④男女別利用者数 .....	46
⑤停留所間移動の状況 .....	47
⑥区間人数及び停留所乗降人数 .....	47
(2) 余市協会病院線バス乗降調査 2 .....	50
①利用者数 .....	50
②時間別利用者数 .....	50
③年齢別利用者数 .....	52
④男女別利用者数 .....	53
⑤停留所間移動の状況 .....	54
⑥区間人数及び停留所乗降人数 .....	54
(3) 余市協会病院線意識調査 .....	57
①アンケート配布回収数 .....	57
②お住まい .....	57
③利用頻度 .....	58
④行き・帰りの利用割合 .....	59
⑤外出目的 .....	60
⑥外出先 .....	61
⑦余市協会病院線の評価 .....	62
⑧余市協会病院線の改善内容 .....	62
⑨増便に関する内容 .....	63
⑩バス路線の拡大に関する内容 .....	63
⑪車両の仕様に関する内容 .....	64
⑫停留所の待合い環境に関する内容 .....	64
⑬その他の内容 .....	64
3. ハイヤー・タクシー利用実態調査 .....	65
(1) 時間帯別利用回数 .....	65
(2) 時間帯別平均所要時間 .....	66
(3) タクシー交通分布 .....	67
(4) 町別の運行状況等 .....	69
①運行台数 .....	69
②輸送人数 .....	69
③運賃収入 .....	70
(5) 公共・公益施設のアクセス回数 .....	71
【参考資料 公共交通アンケート調査票】 .....	72



## 1. 余市町地域公共交通アンケート調査

### (1) 配布数など

#### ① 配布数・回収数及び回収率

余市町内で公共交通の利便性が比較的低い地域から、無作為に 2,000 世帯を選び、世帯の方に対し、「(2) 個人属性及び交通利便性：問 1」、「(3) 公共交通利用実態：問 2」、「(4) 公共交通の潜在需要：問 3」及び「(5) 今後の公共交通のあり方：問 4」についてアンケート調査を実施しました。

配布回収状況は 2,000 票の配布数に対し、回収数は 542 票と 27.1%の回収率となっています。地域別では、「黒川町 17～20 丁目」が 38.1%、「美園町」が 33.9%、「大川町」が 27.8%と回収率が高く、平均を上回っています。

表 余市町地域公共交通アンケートの配布・回収状況

項目	配布数	回収数	未回収数
回答	2,000	542	1,458
構成比	100.0%	27.1%	72.9%

※回収数の内、無効（白紙）2件

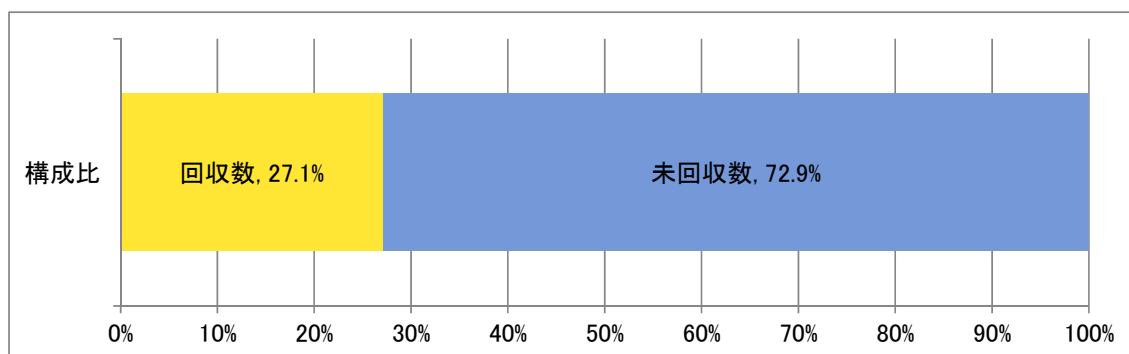


図 余市町地域公共交通アンケートの配布・回収状況

表 地域別でのアンケートの配布・回収状況

項目	配付数	回収数	回収率
1. 栄町	250	63	25.2%
2. 登町	110	25	22.7%
3. 大川町	180	50	27.8%
4. 黒川町 1～16 丁目	420	110	26.2%
5. 黒川町 17～20 丁目	160	61	38.1%
6. 黒川町（丁目なし）	220	57	25.9%
7. 美園町	180	61	33.9%
9. 山田町	200	53	26.5%
10. 沢町	30	4	13.3%
13. 梅川町	170	40	23.5%
14. 豊丘町	80	16	20.0%
合計	2,000	540	27.0%

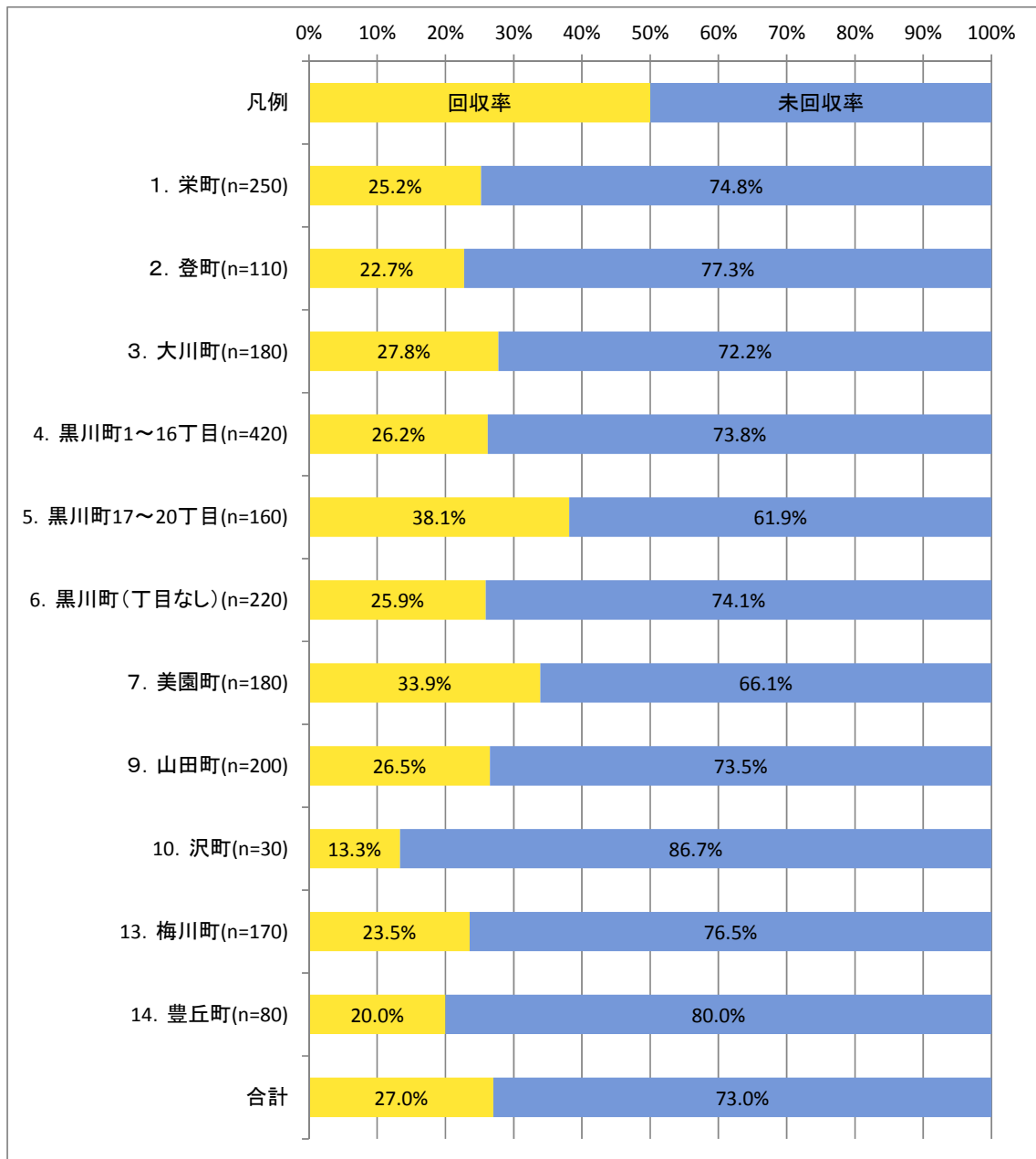


図 地域別でのアンケートの配布・回収状況

## ②拡大処理の必要性

アンケート集計の中で、「(3) 公共交通利用実態」と「(4) 公共交通の潜在的需要」において、地域間移動状況を示していますが、単純な集計だけでは公共交通空白地域等にお住まいの 2,000 世帯の移動量となり、アンケートを行っていない世帯の交通量が含まれていません。

このため、アンケートを行っていない世帯を含めた交通量とするため、また地域ごとに抽出率が異なることを補正するために拡大処理が必要となります。

また、同様に(3)と(4)は1週間の交通実態を調査しており、これを1日当たりの交通量とするために7日間で割る補正を行っています。

なお、(4)の公共交通を利用する意思がある方の中には、自動車の運転に問題のない方も多数含まれているため、この方を除く補正を行いました。

表 地域別拡大係数

行政区名	対象世帯数	配付世帯数	拡大係数
栄町	591	250	2.36
登町	259	110	2.35
大川町	799	180	4.44
黒川町1～16丁目	1,436	420	3.42
黒川町17～20丁目	772	160	4.83
黒川町丁目なし	517	220	2.35
美園町	416	180	2.31
山田町	460	200	2.30
沢町	49	30	1.63
梅川町	386	170	2.27
豊丘町	186	80	2.33
合計	5,871	2,000	2.94

## (2) 個人属性及び交通利便性

### ①住所：問1Q1

回答者が住んでいる行政区をみると、「黒川町 1～16 丁目」が 20.4%で最も多く、次いで「栄町」が 11.7%、「黒川町 17～20 丁目」と「美園町」が 11.3%、「黒川町（丁目なし）」が 10.6%と 10%以上となっています。

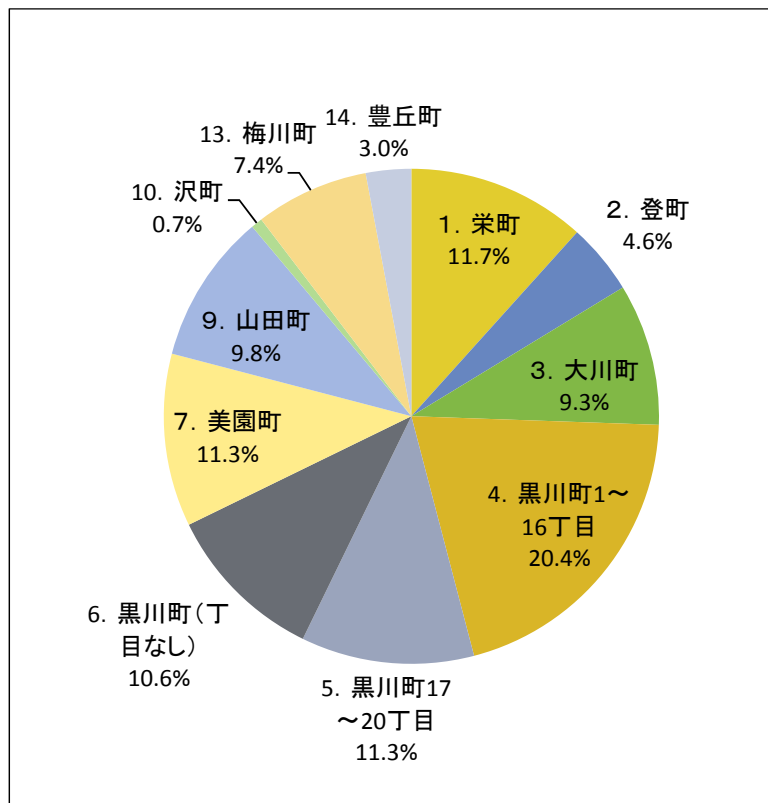


図 住所

②居住者の人数：問1Q2

居住者の人数をみると、「2人」が42.8%で最も多く、次いで「1人」が23.9%、「3人」が16.1%、「4人」が9.4%となっています。

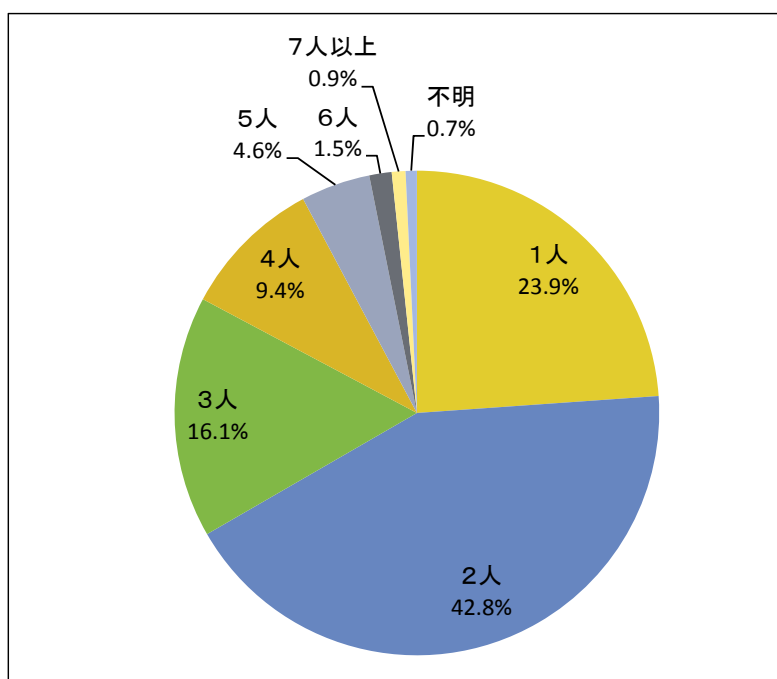


図 居住者の人数

③学生及び65歳以上の人数：問1Q3

学生及び65歳以上の人数をみると、「2人」が33.5%で最も多く、次いで「1人」が30.7%となっています。

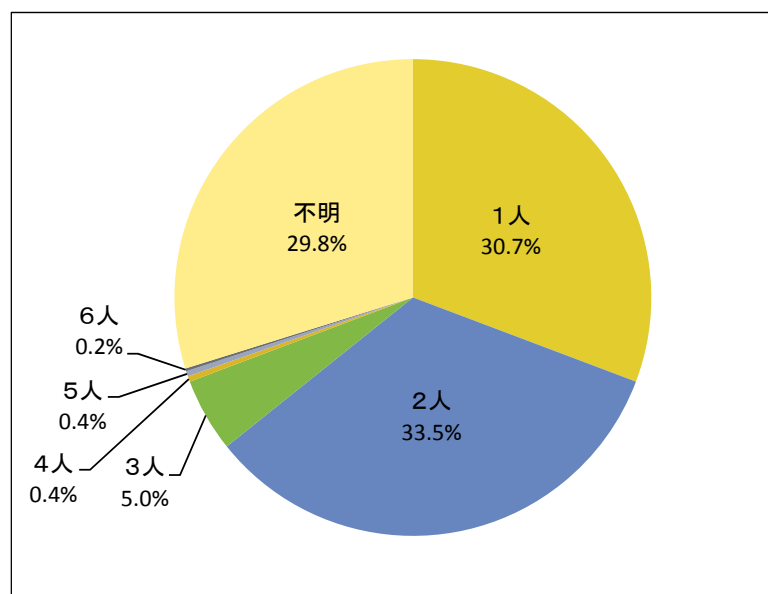


図 学生及び65歳以上の人数

④性別：問1Q4①

性別をみると、「女性」が51.8%、「男性」が43.6%となっており、男女の割合は「女性」が多くなっています。

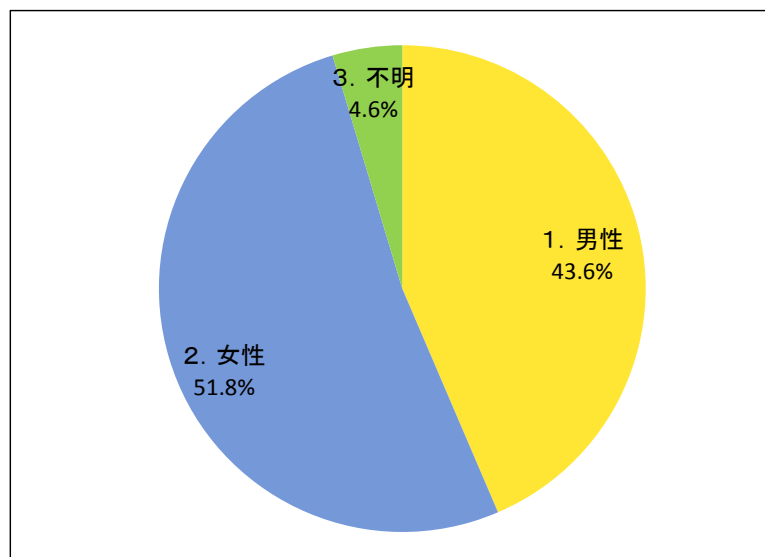


図 性別

⑤年齢：問1Q4②

年齢区分をみると、「40～59歳」と「65～74歳」が22.2%で最も多く、次いで「20～39歳」が11.7%、「75～84歳」が11.4%となっています。

回答者のうち65歳以上の高齢者が占める割合が全体の38.9%となっており、高齢化が進んでいることを反映しています。

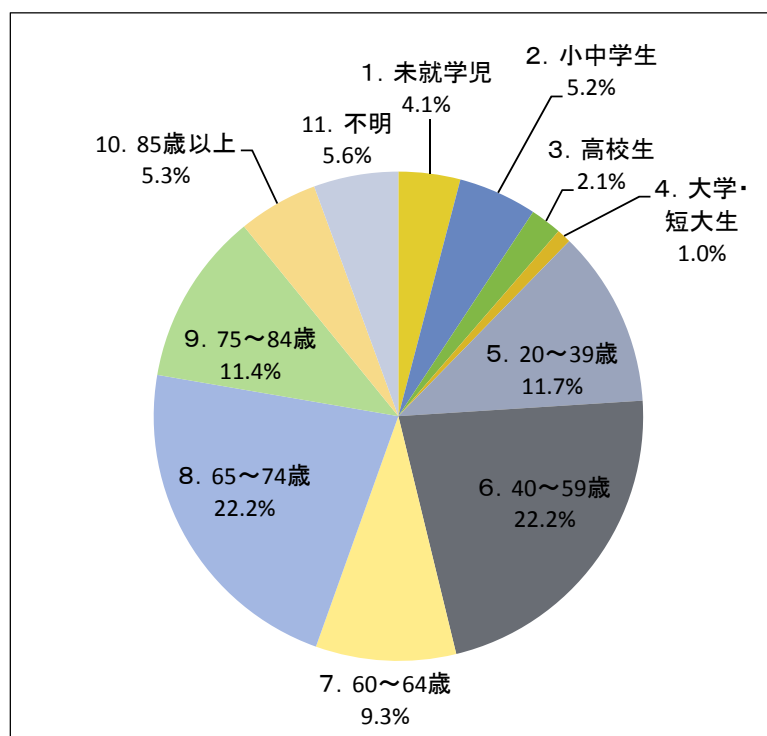


図 年齢

⑥就業・就学の有無：問1Q4③

就業・就学の有無をみると、全体では「あり」が49.7%、「なし」が43.2%で、就業・就学している人のほうが多くなっています。

年代別では、「60～64歳」は「あり」が56.0%、「65～74歳」は「あり」が35.6%となっており、65歳以上を境に就業・就学の有無の割合が逆転しています。

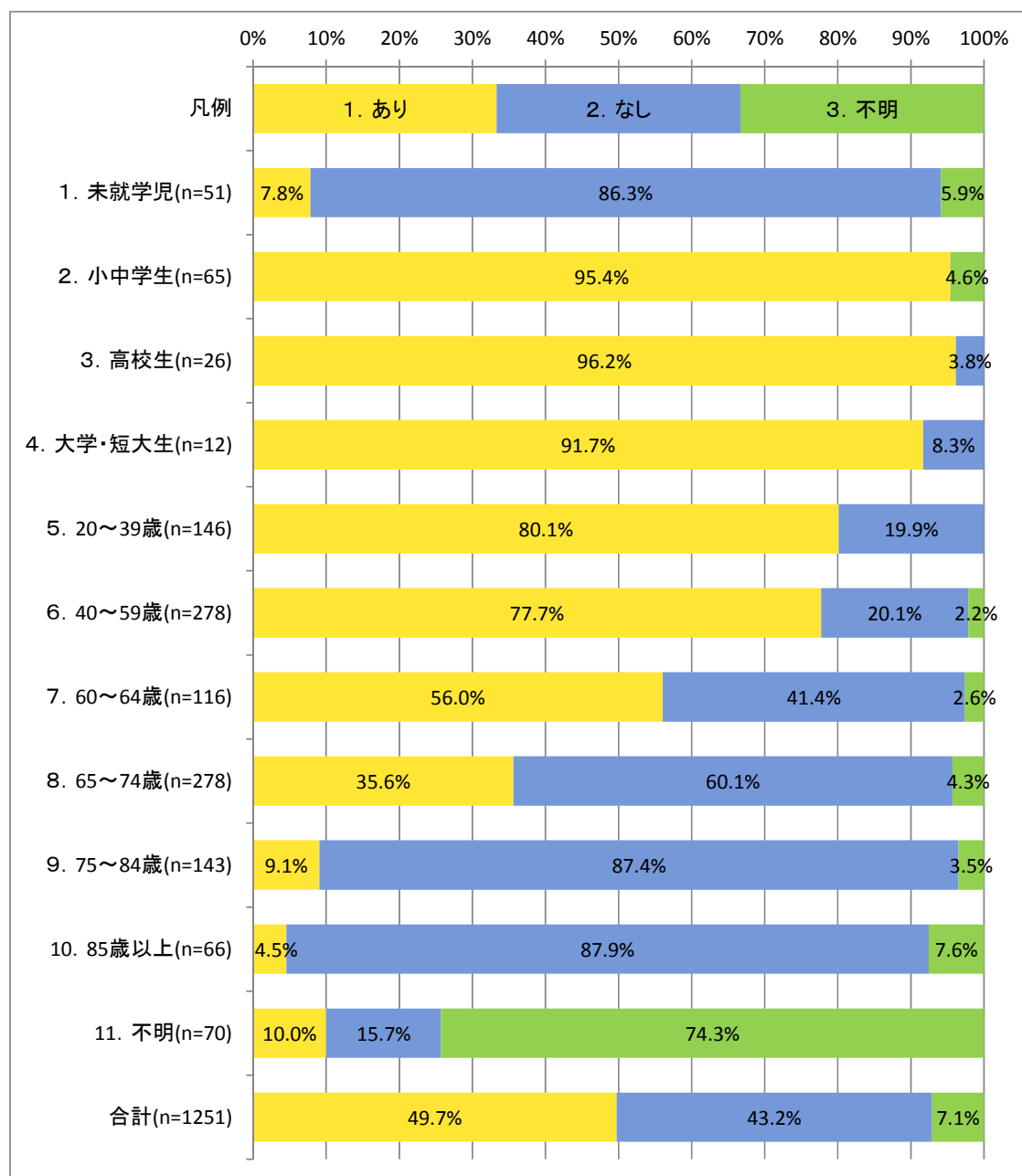


図 就業・就学の有無

⑦自動車運転免許保有の有無：問1Q4④

自動車運転免許の保有状況を見ると、全体では「あり」が60.0%、「なし」が31.3%で、免許を保有している人のほうが多くなっています。

年代別では、20歳から74歳までの年代はどの層も70%を超える保有率となっています。一方で「75歳～84歳」は「なし」が56.6%となっており、75歳以上は免許を保有していない割合が過半数を超えています。

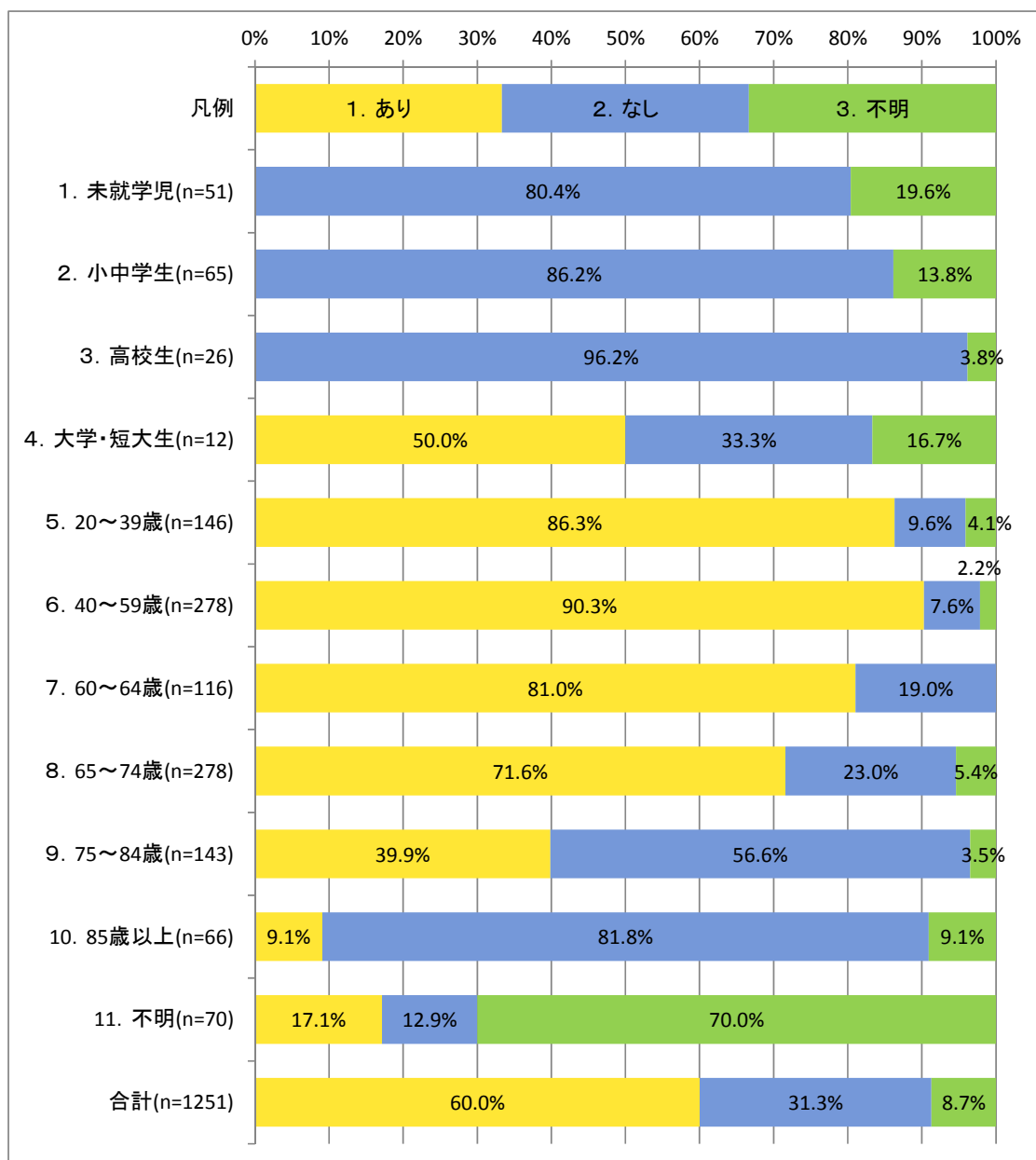


図 自動車運転免許保有の有無



⑧自家用車使用の状況：問1Q4⑤

自家用車使用の状況をみると、全体では「自ら所有の車を使用」が44.4%で最も多く、次いで「家族運転の車に乗車」が20.9%となっています。

年代別では、20歳から74歳までの年代はどの層も「自ら所有の車を使用」が最も多く、50%を超える割合となっています。

「75歳～84歳」は、「自ら所有の車を使用」が最も多い回答となっていますが、35.0%と少なく「車は使用しない」が27.3%と急激に増加しています。

「85歳以上」になると、「家族運転の車に乗車」と「車は使用しない」が大半を占め、「自ら所有の車を使用」は9.1%まで減少しています。

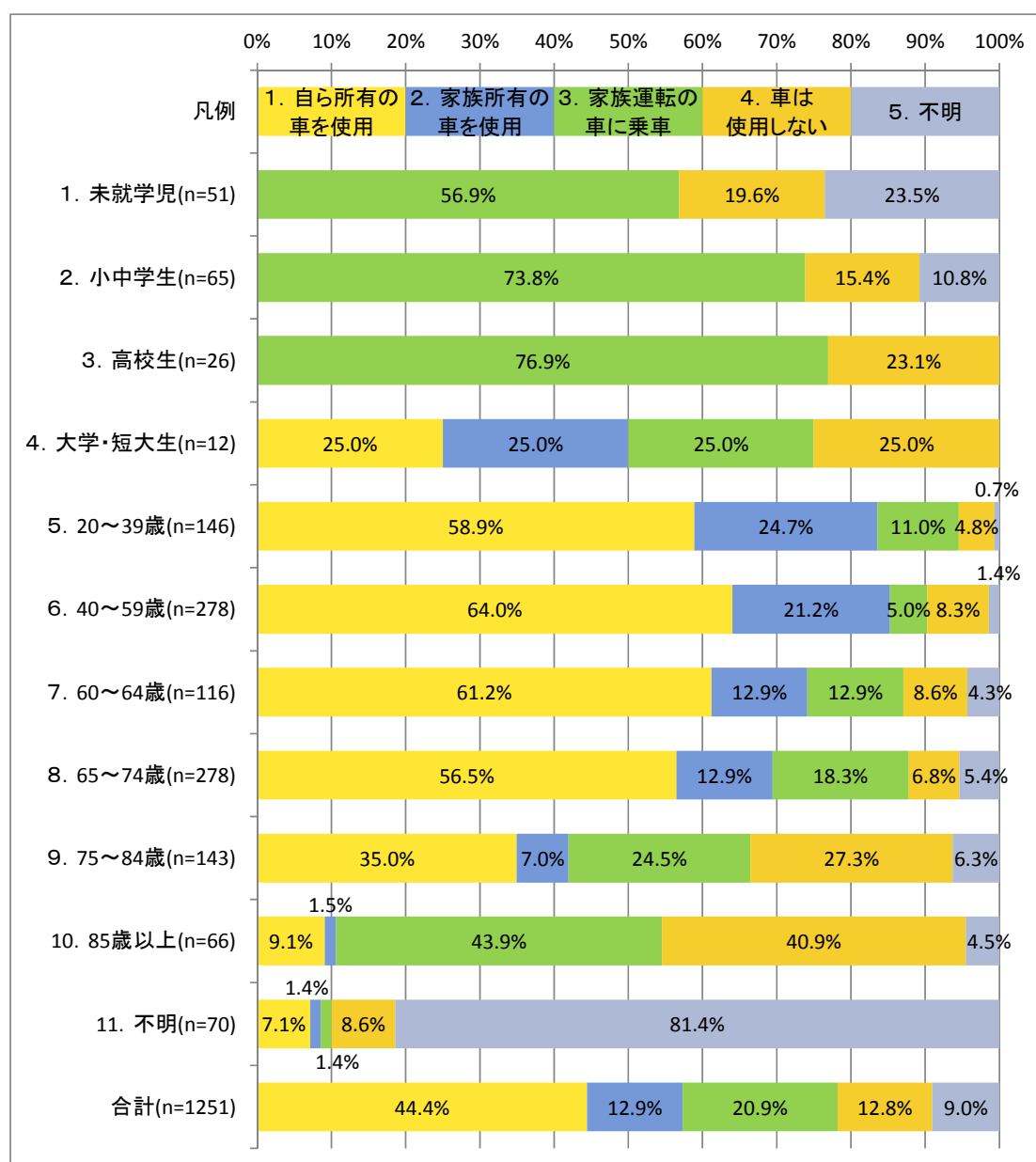


図 自家用車使用の状況

⑨運転の状態：問1Q4⑥

運転の状態をみると、全体では「問題を感じない」が45.4%で最も多く、次いで「運転しない・運転免許なし」が31.6%となっています。

年代別では、年齢が上がるると「問題を感じない」の割合が減少し、「時々不安を感じる」の割合が増加している傾向がみられます。「20～39歳」は「問題を感じない」が76.7%であるのに対し、「65歳～74歳」は48.2%まで減少しています。

「75～84歳」になると、「問題を感じない」は18.2%と非常に少なくなり、「運転しない・運転免許なし」が51.7%と半数以上の割合になっています。「85歳以上」になると、「運転しない・運転免許なし」は77.3%に増加し、不安を感じながら運転している人はほとんどいない状況となっています。

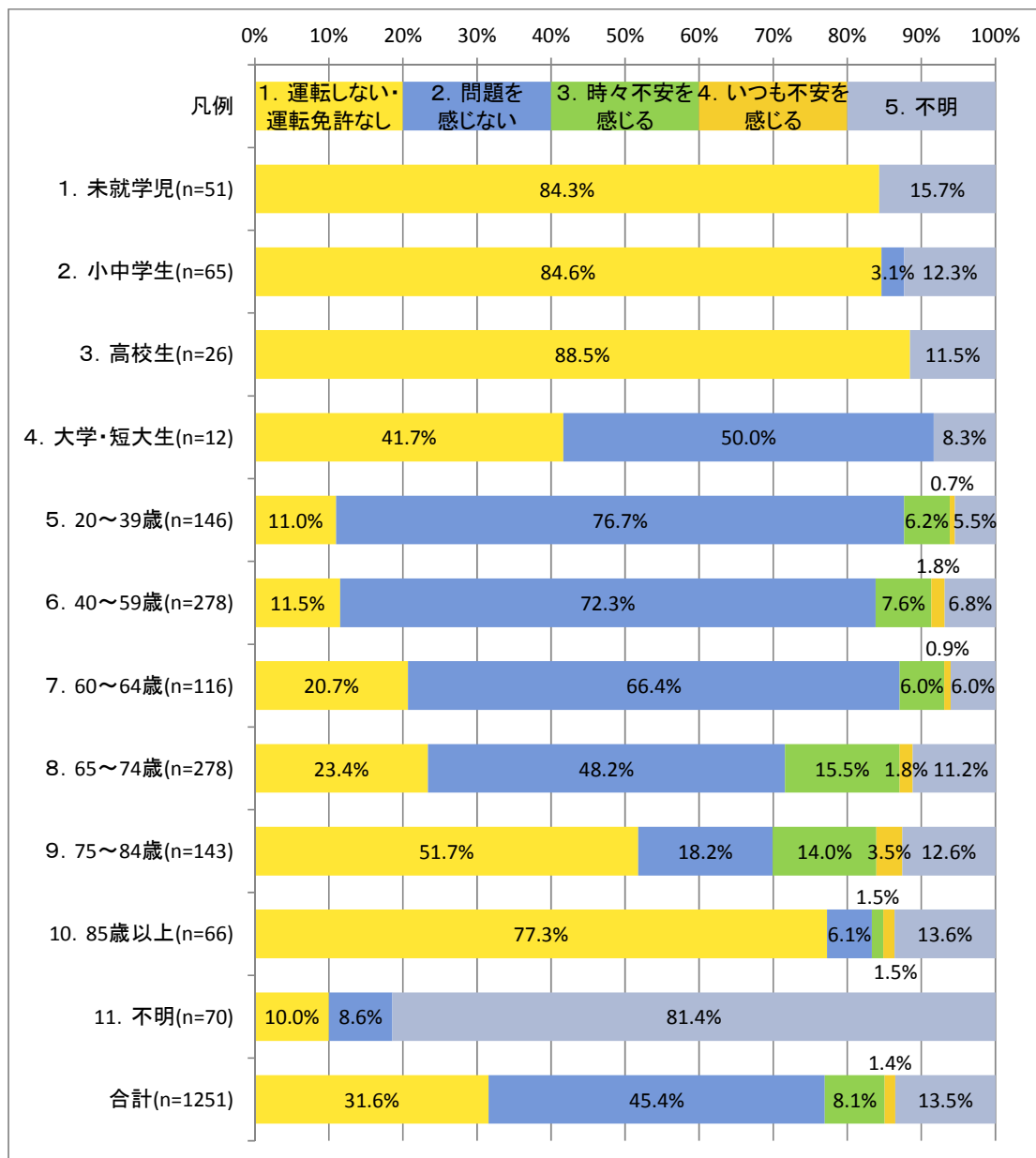


図 運転の状態

⑩運転免許証の返納：問1Q4⑦

運転免許証の返納については、全体では「返納が必要な年齢ではない」が42.5%で最も多く、次いで「運転しない・運転免許なし」が26.1%となっています。

年代別では、「60～64歳」になると「検討中、予定あり」の回答がみられるようになり、1.7%となっています。「65～74歳」になると「返納済み」の回答がみられるようになり、2.5%となっています。また、「検討中、予定あり」が12.9%と増えていますが、「返納は考えられない」が19.8%と上回っています。

「75～84歳」では、「運転しない・運転免許なし」が40.6%で最も多くなりますが、「返納は考えられない」も18.9%となっています。

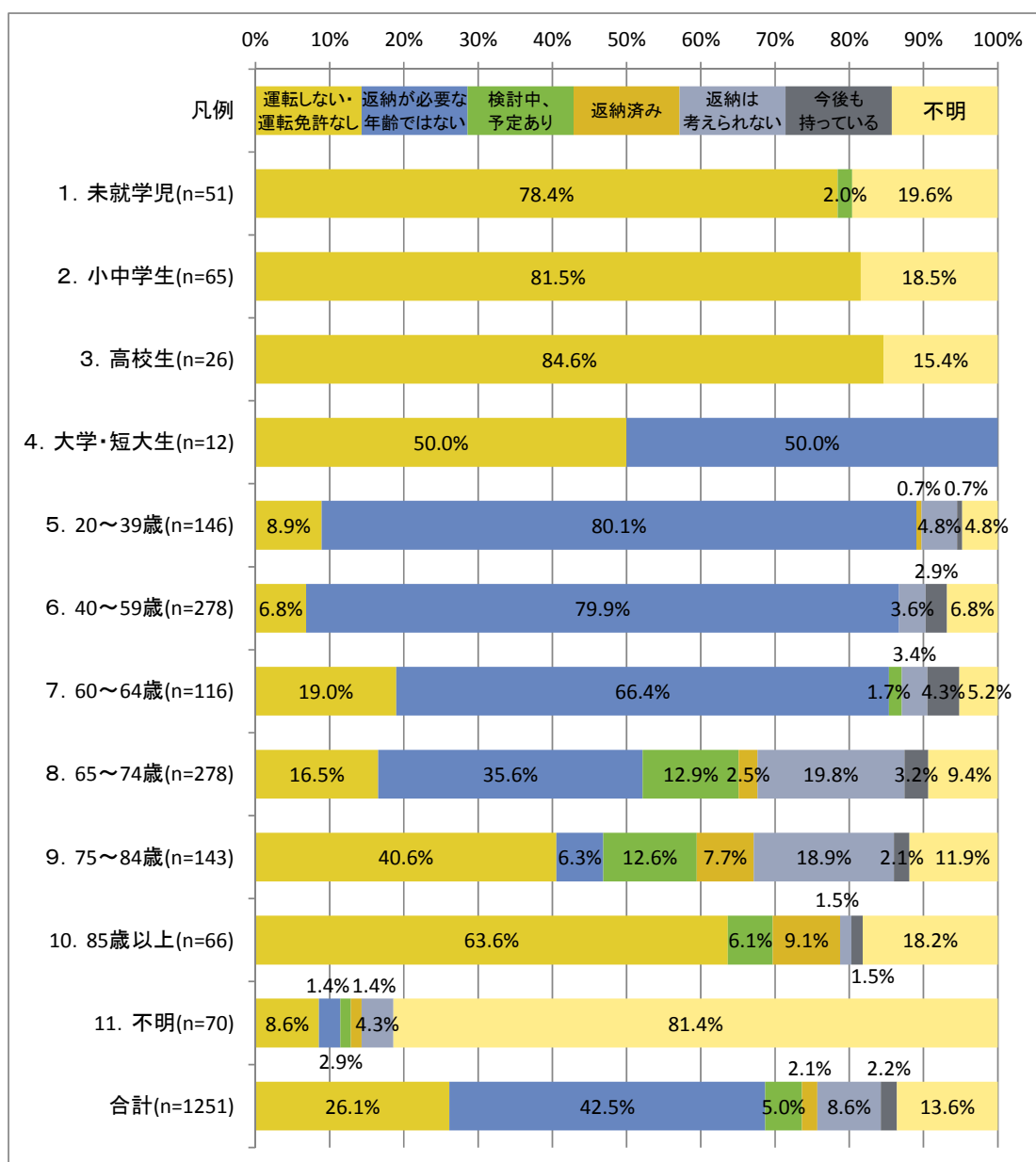


図 運転免許証の返納

⑪自宅から鉄道駅までの概ねの距離：問1Q5①

自宅から鉄道駅までの概ねの距離をみると、全体では「1,000m以上」が59.8%で最も多く、次いで「500m～1,000m未満」が20.6%となっています。

地域別では、「大川町」は鉄道駅まで「500m～1,000m未満」が56.0%と最も多く、「1,000m以上」は16.0%と駅から近い範囲に居住地が形成されている地域といえます。「黒川町1～16丁目」も「1,000m以上」は20.0%と他の行政区に比べて少なく、「300m未満」は22.7%と駅までの距離が近く、鉄道駅を利用しやすい地域となっています。

対して、「沢町」では「1,000m以上」が100%、「登町」で96.0%、「梅川町」で92.5%と大半を占めており、行政区によって鉄道駅の利便性に格差が生じています。

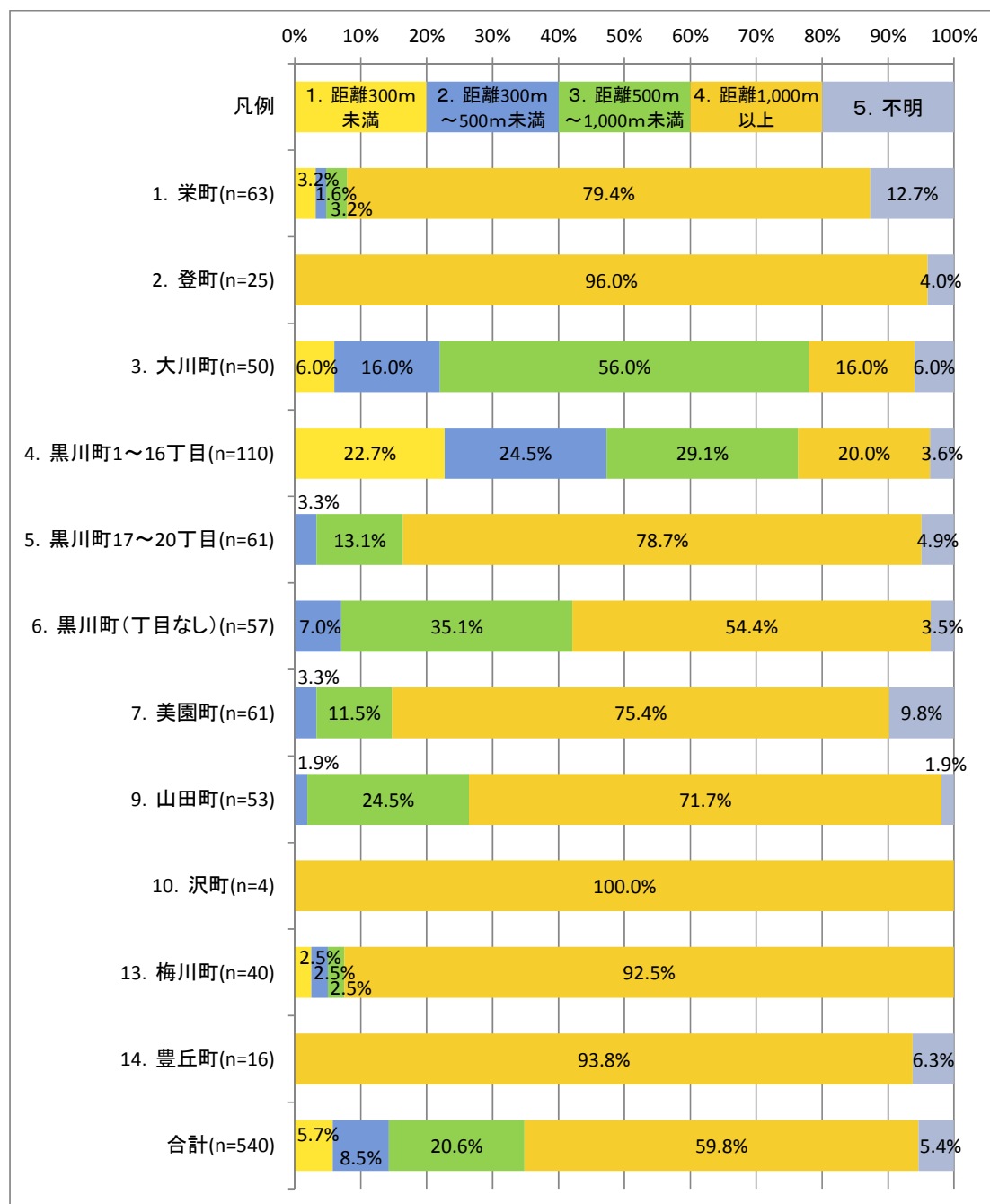


図 自宅から鉄道駅までの概ねの距離

⑫自宅からバス停までの概ねの距離：問1Q5②

自宅からバス停までの概ねの距離をみると、全体では「300m未満」が25.6%で最も多く、次いで「500m～1,000m未満」が25.0%となっています。

地域別では、「大川町」はバス停まで「300m未満」が52.0%と最も多く、「1,000m以上」は2.0%と最もバス停から近い範囲に居住地が形成されているといえます。「300m未満」は「黒川町1～16丁目」が44.5%、「黒川町17～20丁目」は34.4%、「栄町」は30.2%、「黒川町(丁目なし)」は22.8%及び「梅川町」は22.5%と、バス停までの距離が短い地域となっています。

対して、「沢町」では「1,000m以上」が100%、「登町」で64.0%と大半を占めており、行政区によってバス停の利便性に格差が生じています。しかし、鉄道駅に比べると自宅から近い位置にバス停が設置されている割合が高く、余市町における地域公共交通として主要な役割を担っているといえます。

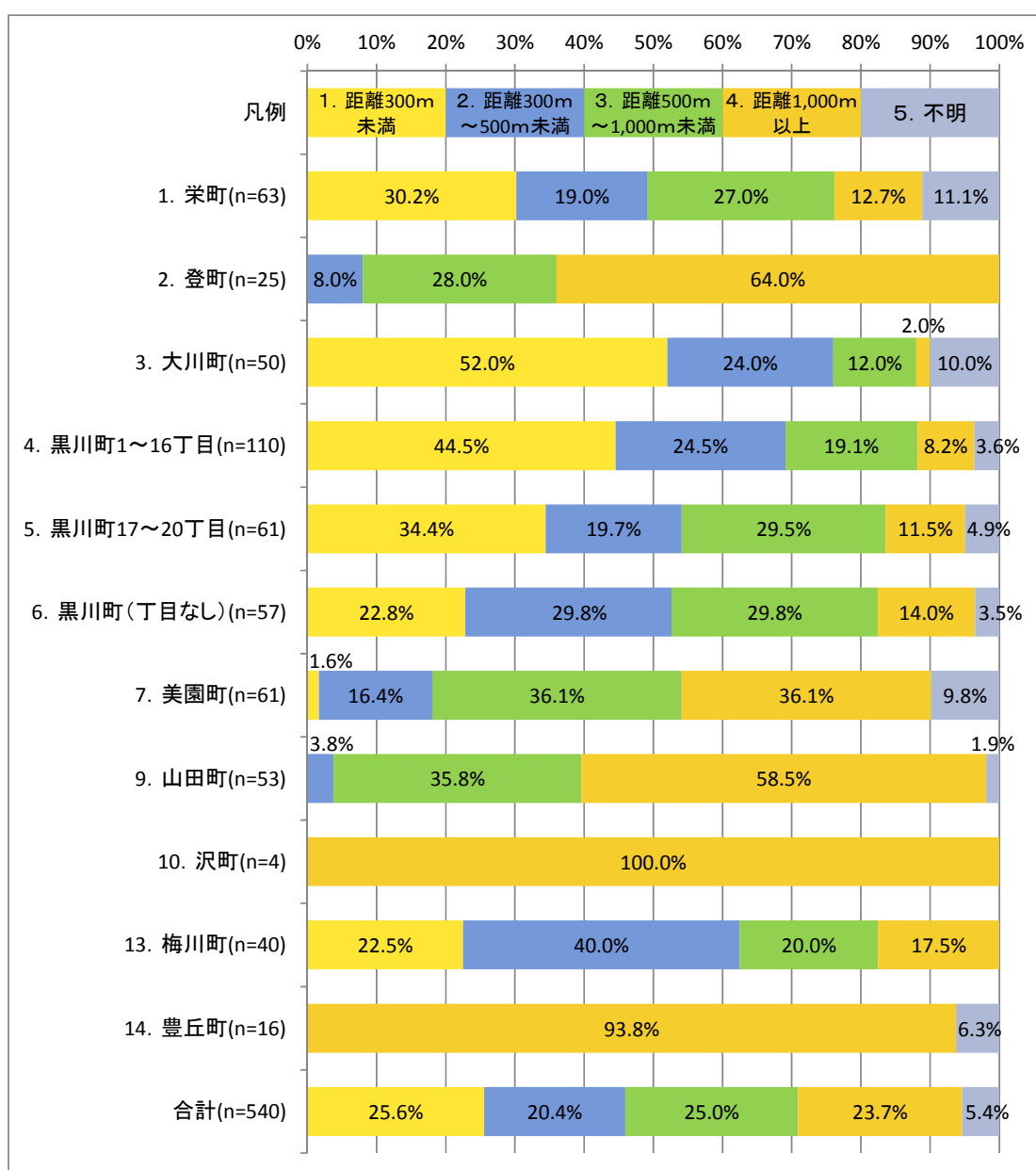


図 自宅からバス停までの概ねの距離

### ⑬ 鉄道駅及びバス停までの遠さ：問1Q6

鉄道駅やバス停留所まで遠さを感じているかをみると、全体では「不便ではない」が34.5%で最も多くなっていますが、「遠くて不便」も27.3%とほぼ同じ割合となっています。

地域別では、「大川町」は「不便ではない」が70.3%と最も多く、鉄道駅やバス停が近い位置にあることが影響していると考えられます。「黒川町1～16丁目」も「不便ではない」が44.3%と最も多く、同様の傾向がみられます。

対して、「遠くて不便」の割合が最も多い地域は「豊丘町」の78.3%となっており、「登町」も63.9%と鉄道駅やバス停が遠くにあるために不便を感じている状況にあります。「沢町」は鉄道駅やバス停ともに1,000m以上離れている地域ですが、「少し不便」が66.7%で最も多くなっており、豊丘町や登町よりも遠さを感じていない結果となっています。

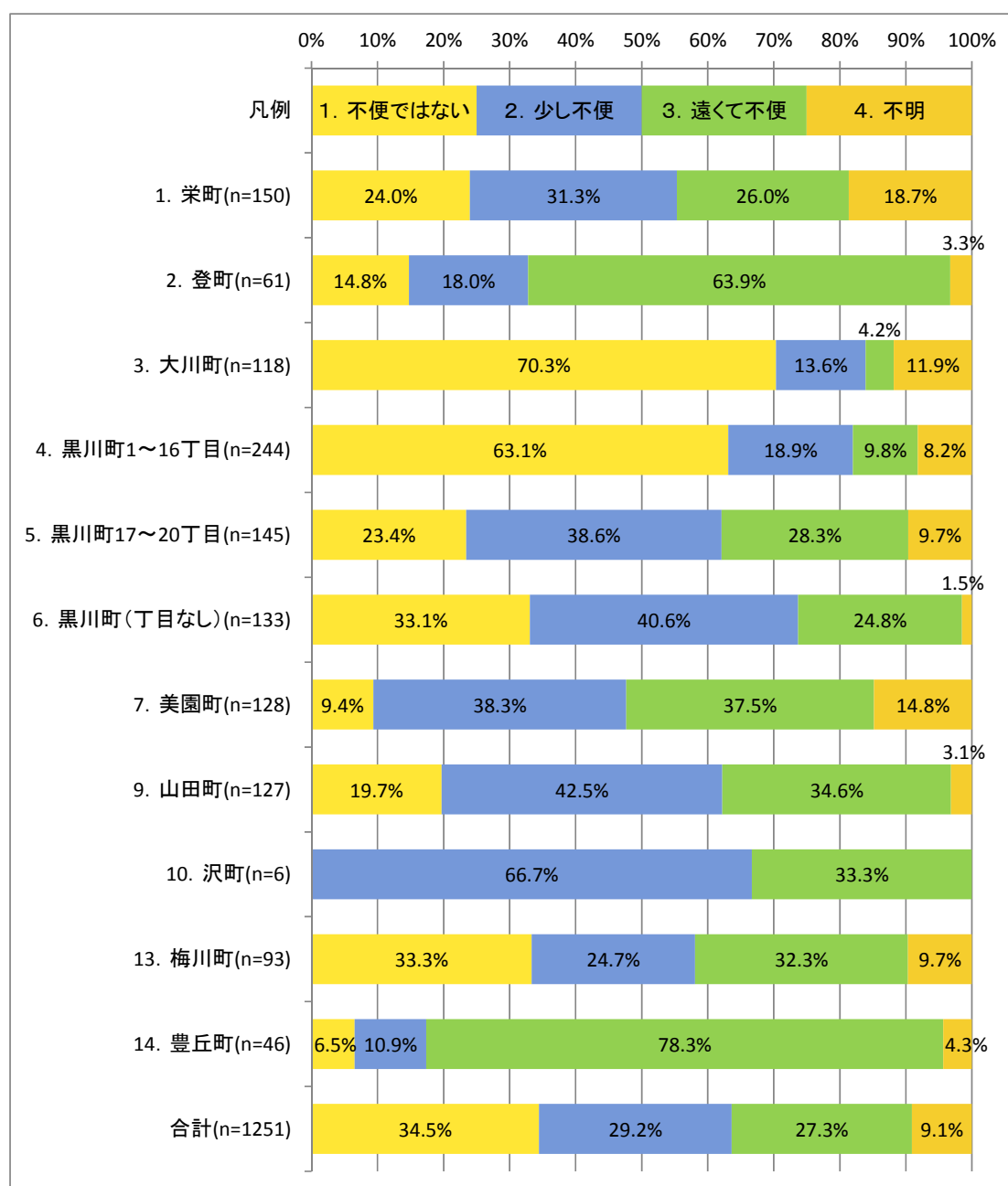


図 鉄道駅及びバス停までの遠さ

### (3) 公共交通利用実態

#### ①公共交通を利用した外出時間帯（平日）：問2Q7a

公共交通を利用している人の平日の外出時間をみると、出発時間帯では「6時」が156件で最も多く、次いで「8時」が112件、「7時」が103件となっています。出発時間帯のピークは、6時から10時までとなっています。

帰宅時間帯では、「17時」が69件で最も多く、次いで「16時」が66件、「18時」が63件となっています。帰宅時間帯のピークは、12時前後と15時から20時の2回に分かれています。

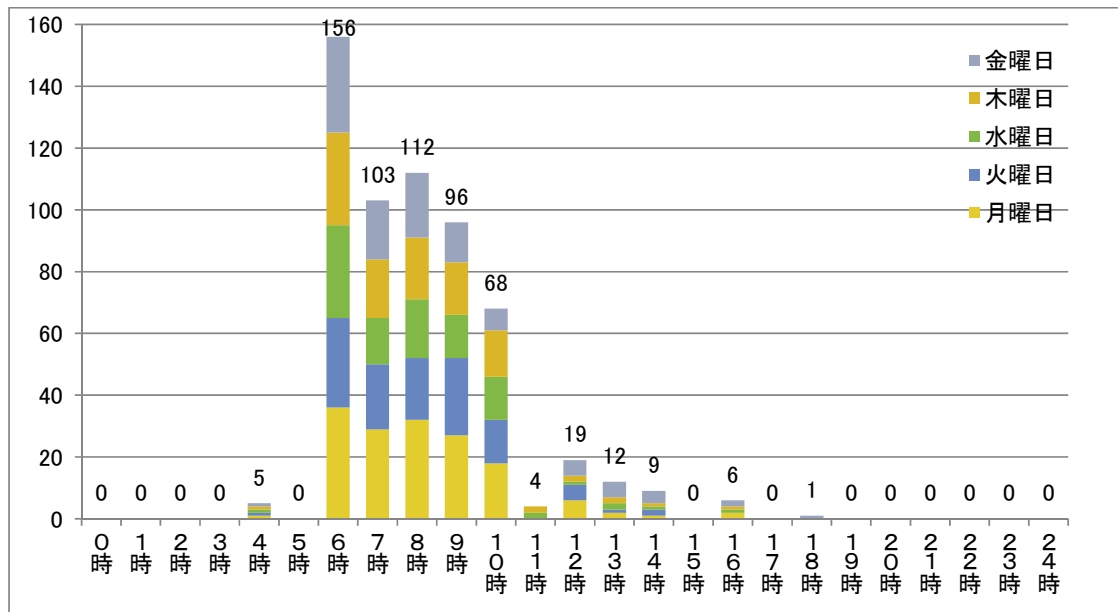


図 公共交通を利用した出発時間帯（平日）

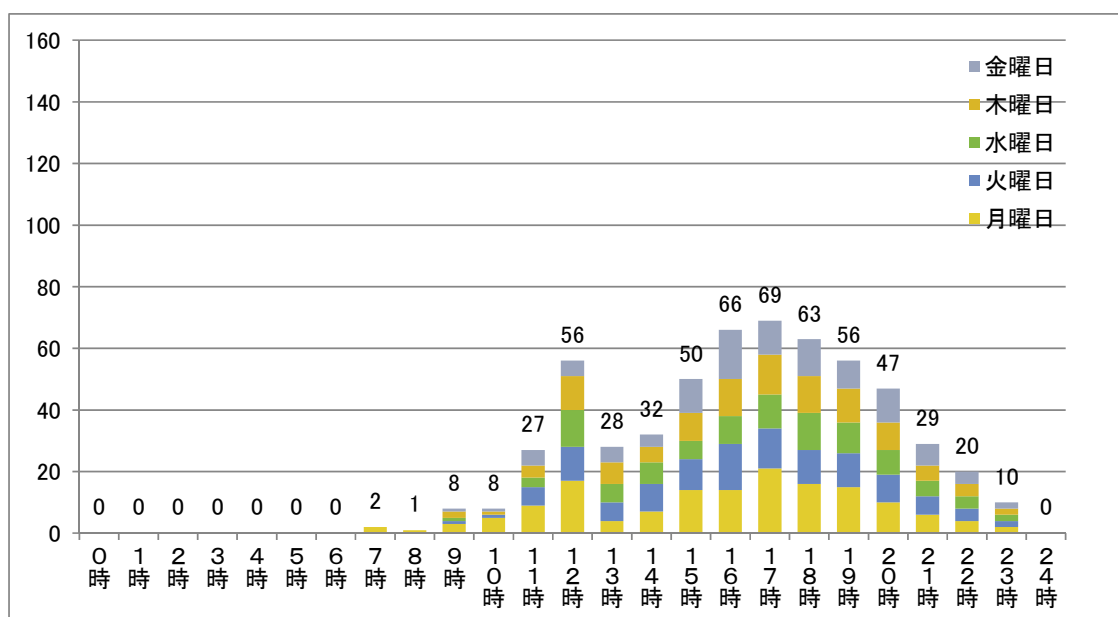


図 公共交通を利用した帰宅時間帯（平日）

②公共交通を利用した外出時間帯（土日）：問2Q7a

公共交通を利用している人の土日の外出時間をみると、出発時間帯では「9時」が39件で最も多く、次いで「10時」が28件、「8時」が25件となっています。出発時間帯のピークは、8時から10時までとなっています。

帰宅時間帯では、「18時」が30件で最も多く、次いで「17時」が17件、「12時」が16件となっています。帰宅時間帯のピークは、12時前後と15時から18時の2回に分かれています。

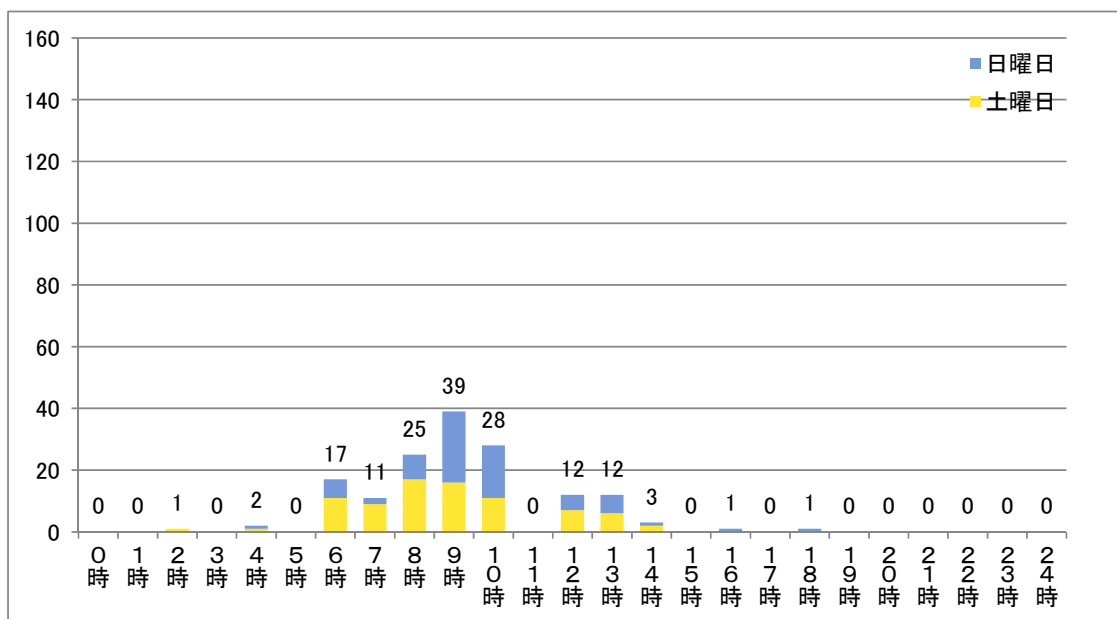


図 公共交通を利用した出発時間帯（土日）

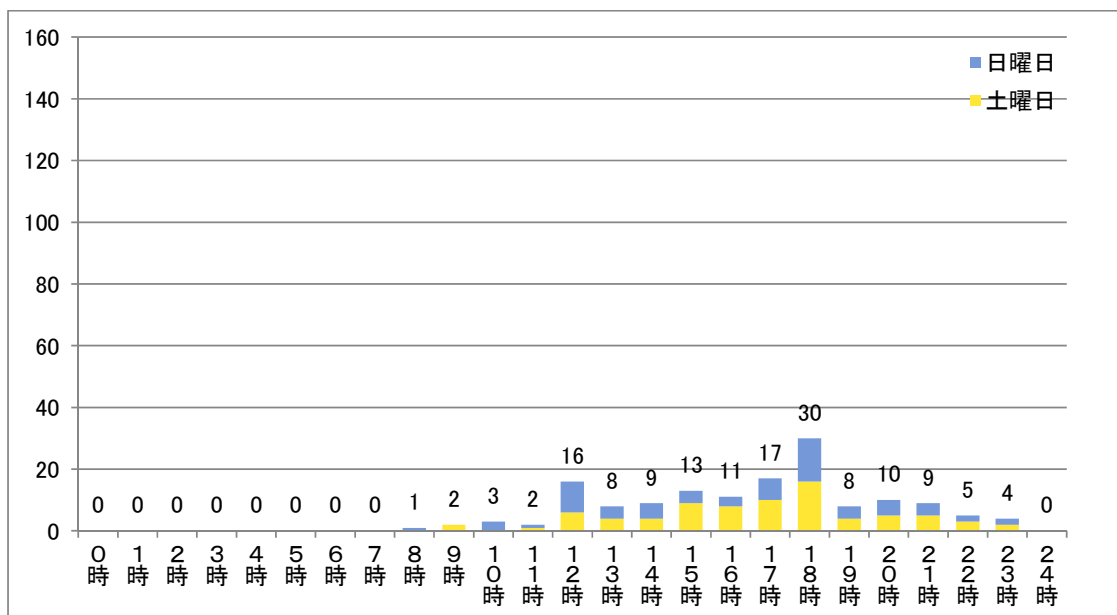


図 公共交通を利用した帰宅時間帯（土日）



### ③公共交通を利用した主な外出目的：問2Q7b

公共交通を利用している人の主な外出目的をみると、「小中学生」「高校生」「大学・短大生」は「通勤・通学」が9割以上と大半を占めています。「通勤・通学」は「20～39歳」が58.9%、「40～59歳」が62.8%となっており、社会人になると半数程度になっています。

「60～64歳」は「買物」が54.3%で最も多く、次いで「通院・治療」が25.7%となっています。65歳以上になると「通院・治療」での利用が最多となり、「65～74歳」が30.4%、「75～84歳」が42.2%、「85歳以上」が38.1%となっています。

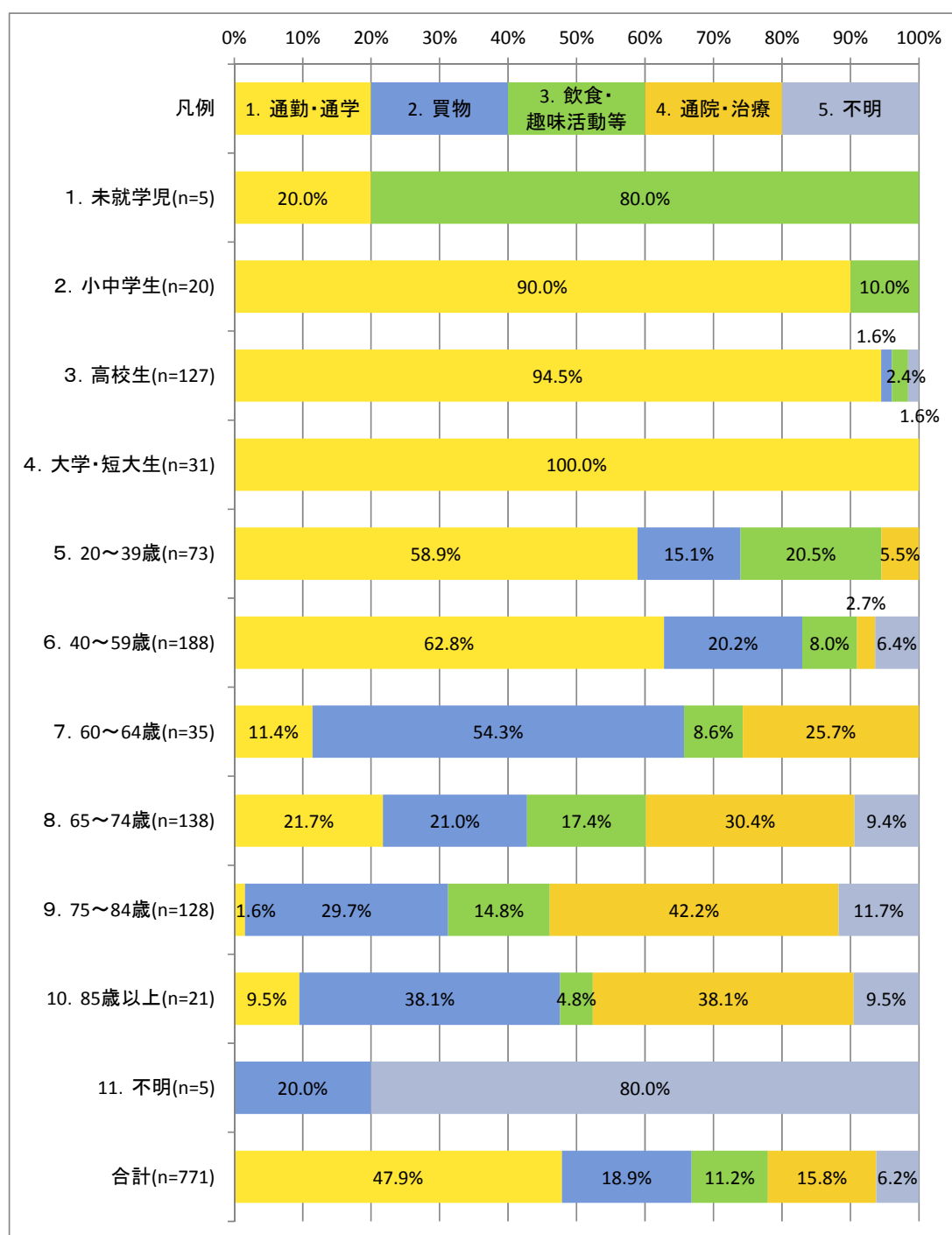


図 公共交通を利用した主な外出目的

#### ④公共交通を利用した主な行き先：問2Q7c

公共交通を利用している人の主な行き先をみると、「小中学生」は「余市町内」が65.0%で最も多くなっていますが、「高校生」は「小樽」が64.6%、「大学・短大生」では「小樽」と「札幌」が38.7%と、余市町内での利用を上回っています。「20～39歳」では、余市町内と小樽と札幌がほとんど同じ割合となっています。

40歳以上になると、余市町内の割合が最も多くなり、高齢になるに従って増加する傾向がみられます。余市町外への行き先は、小樽と札幌の2箇所が多く、どの年代も余市町外では小樽と札幌へ行くのに公共交通を利用する場合が大半となっています。

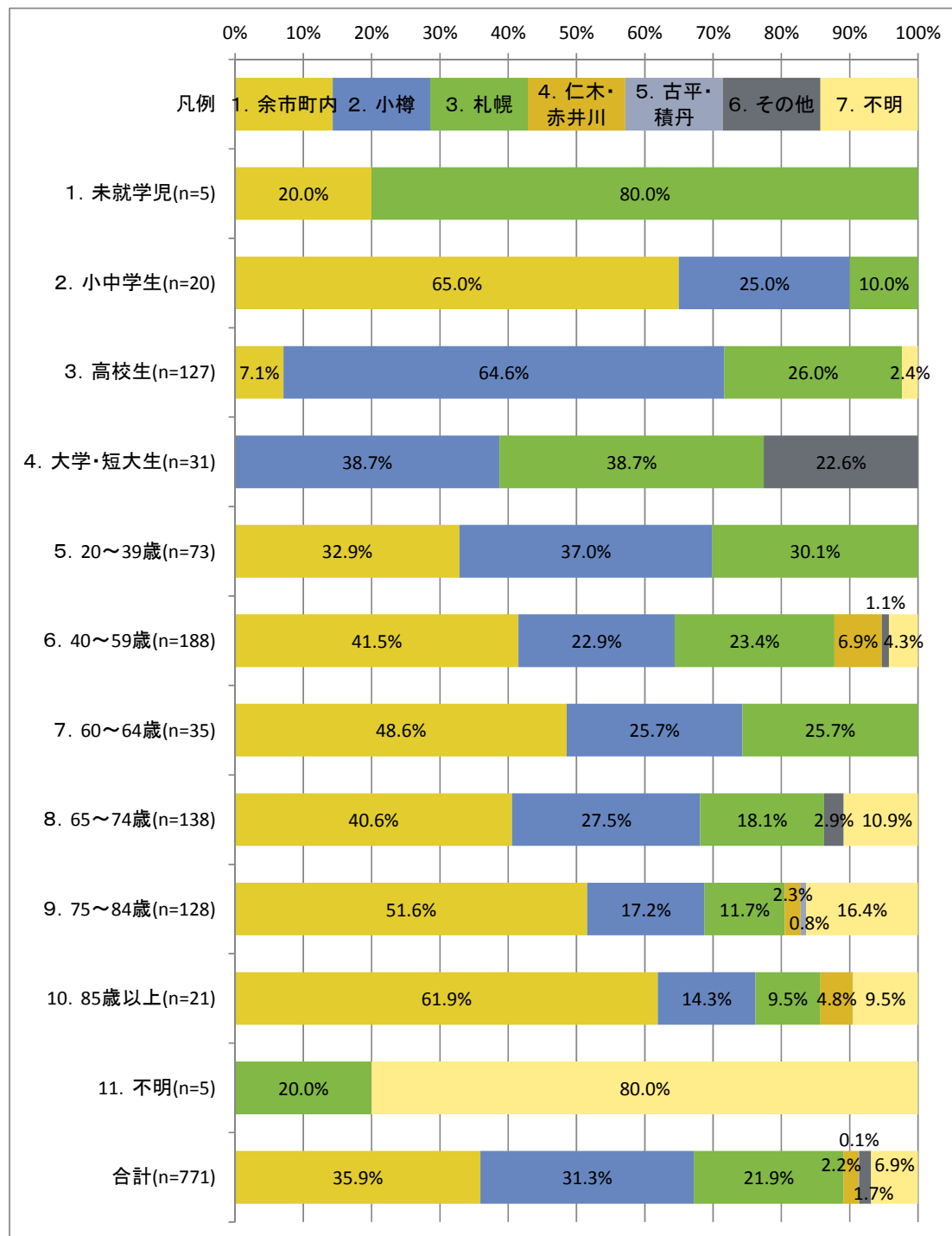


図 公共交通を利用した主な行き先

⑤公共交通利用者の地域間移動状況（拡大処理）：問2Q7

公共交通利用者の地域間移動状況を見ると、1日当たりの移動が最も多い区間は「黒川町2・小樽間」と「黒川町3・余市町内間」がそれぞれ29人となっています。大川町は「余市町内」が23人、「小樽」が19人、「札幌」が16人、黒川町1は「札幌」が26人、「小樽」が19人と、多方面に多くの人々が移動している状況となっています。

外出目的別の構成比をみると、「通勤・通学目的」が49.2%で最も多く、次いで「買物目的」が17.5%、「通院・治療目的」が15.7%となっています。

公共交通手段別の構成比をみると、「JR」が26.0%で最も多く、次いで「中央バス余市線」が22.5%、「中央バス高速バス」が12.5%となっており、3つの路線の利用が大半を占めている状況となっています。

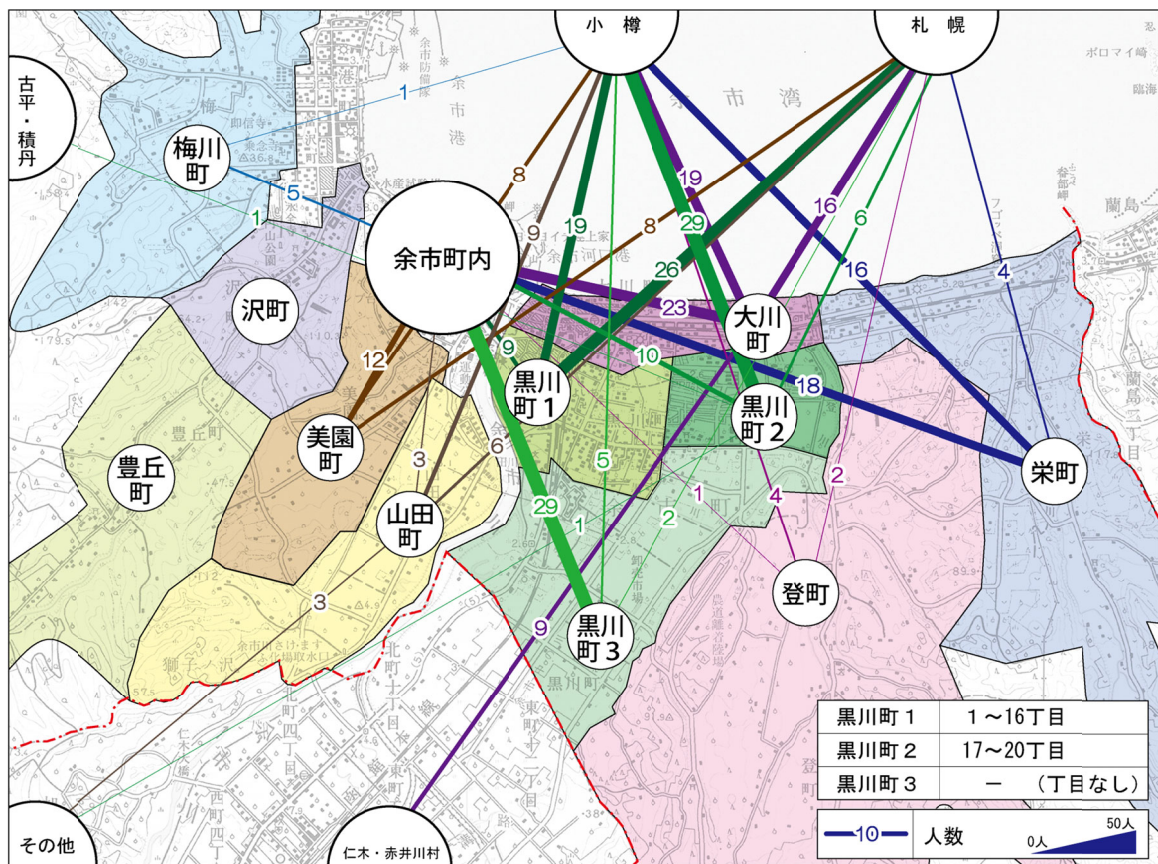


図 公共交通を利用した移動の状況（拡大処理）

- ・ 拡大処理：各地域別の抽出率により拡大処理し、地区全体の交通実態として把握
- ・ 1日平均：1週間の交通実態に対して、7日間で除して1日当たりの実態を把握

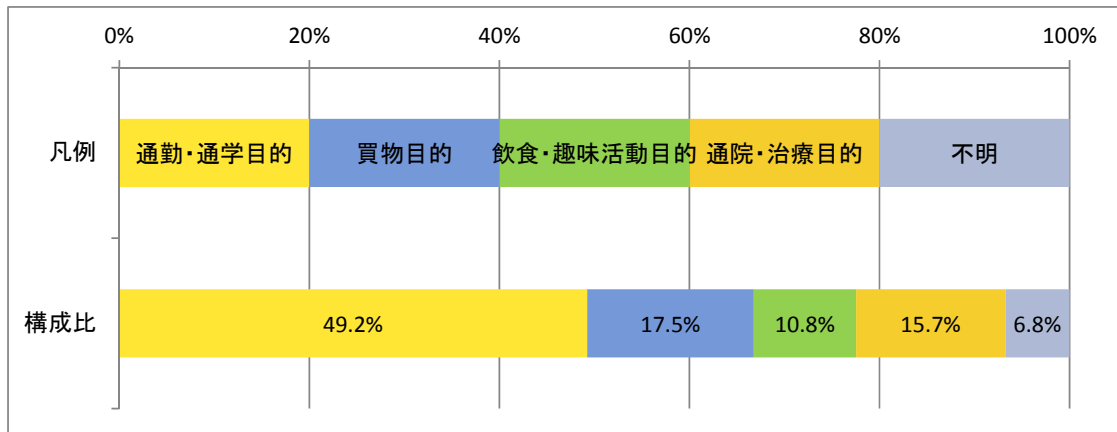


図 外出目的別構成比

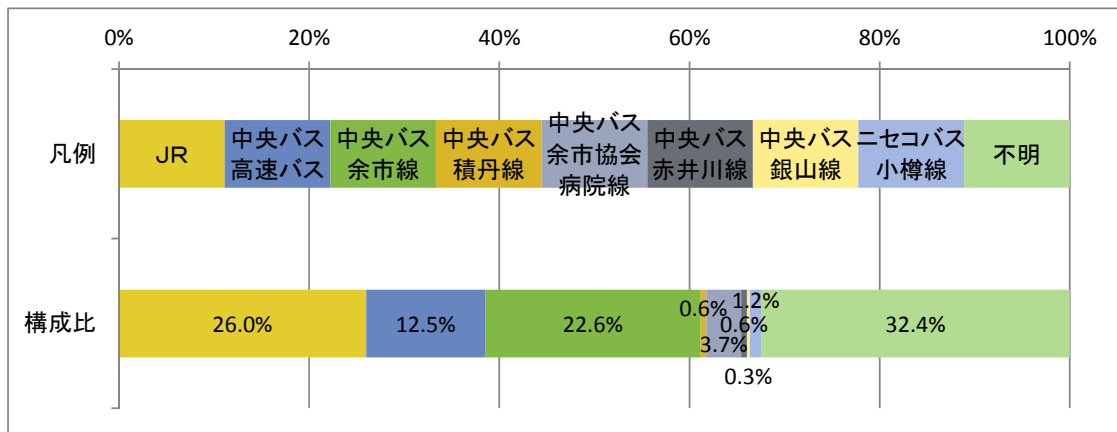


図 公共交通手段別構成比

#### (4) 公共交通の潜在需要

##### ①どのような公共交通があれば利用したいか：問3Q8①

5年以内に自宅等の近くで新たな公共交通が運行する場合に利用する意向がある人にとってどのような公共交通があれば利用するかを聞いたところ、全体では「町内全域に行ける公共交通」が41.5%で最も多くなっています。

地域別では、「町内全域に行ける公共交通」が多いのは、「沢町」が66.7%、「梅川町」が59.0%、「大川町」が55.6%となっています。「駅周辺に行ける公共交通」が多いのは、「豊丘町」が61.5%、「山田町」が45.8%、「登町」が45.5%となっています。

「市街地に行ける公共交通」が最も多い割合を占めている行政区はなく、行政区によって駅周辺への交通を望む場合と町内全域の交通を望む場合に分かれています。

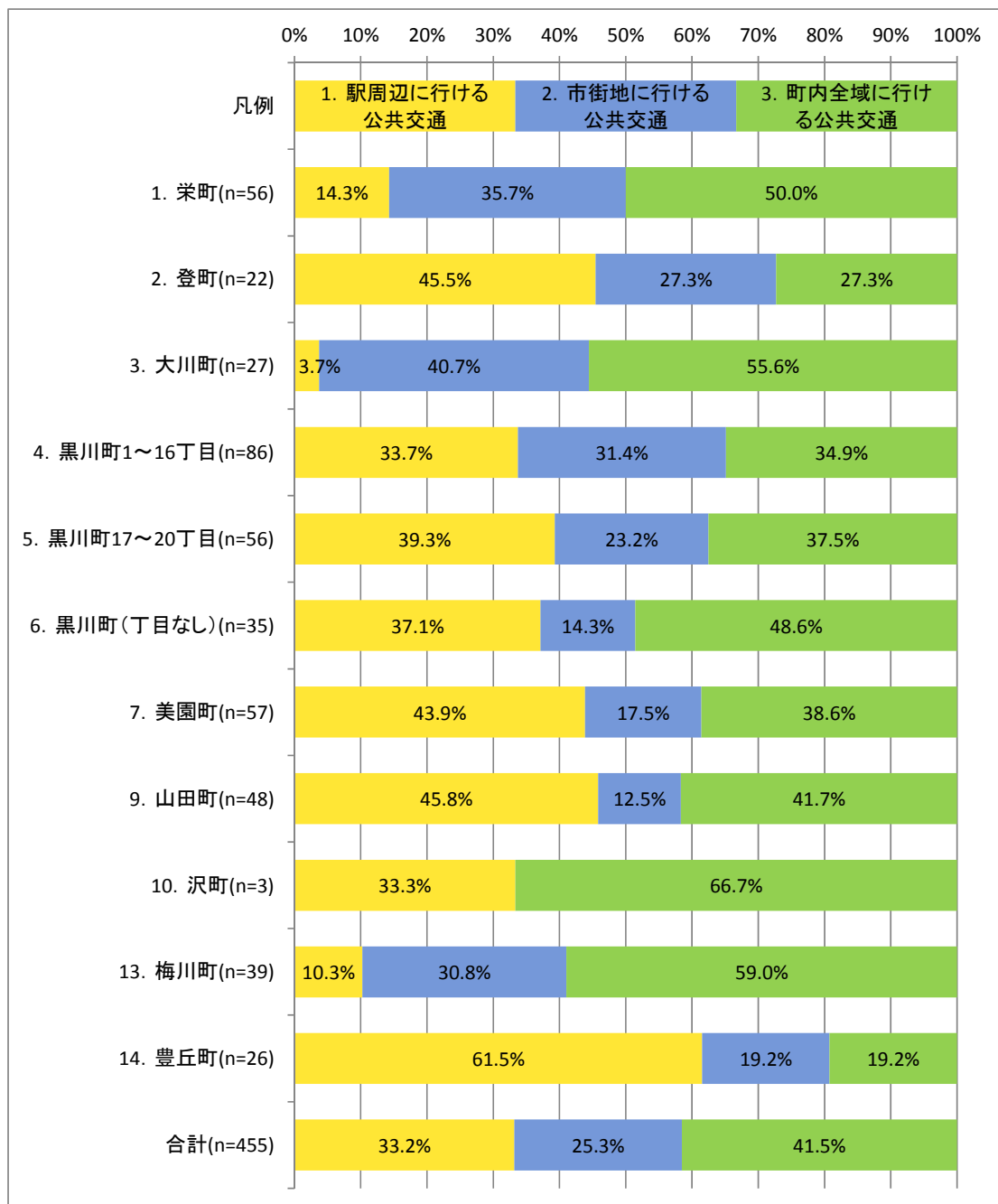


図 利用したい公共交通

②公共交通以外での外出時間帯（平日）：問3Q8②a

公共交通を利用していない人の平日の外出時間をみると、出発時間帯では「7時」が277件で最も多く、次いで「8時」が250件、「6時」と「7時」が117件となっています。出発時間帯のピークは、6時から10時までとなっています。

帰宅時間帯では、「18時」が209件で最も多く、次いで「17時」が158件、「15時」が119件となっています。帰宅時間帯のピークは、12時前後と15時から19時の2回に分かれています。

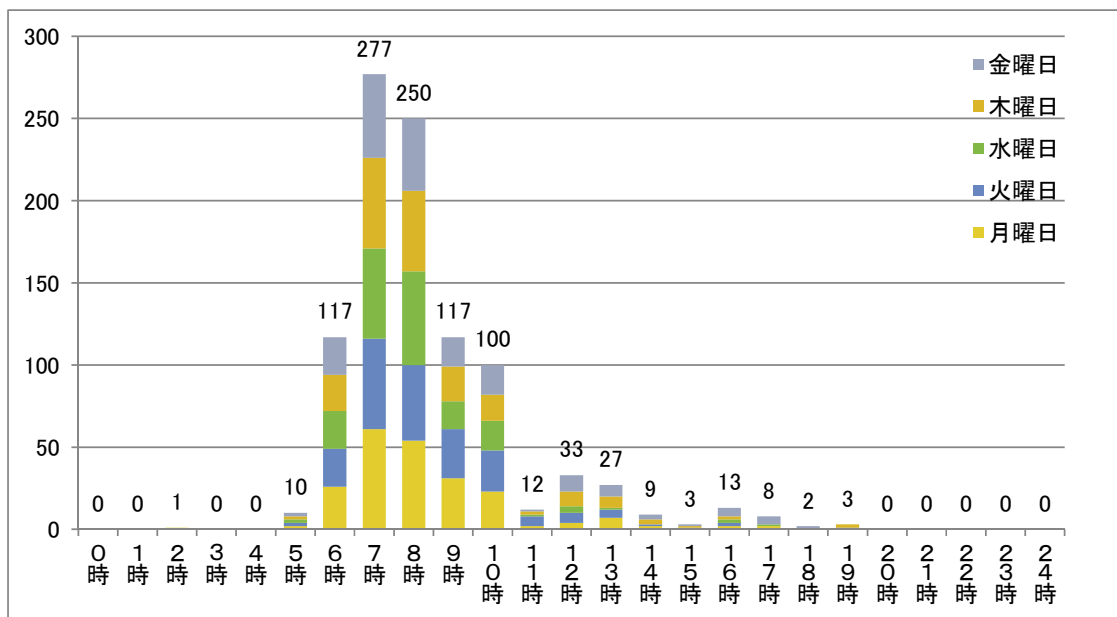


図 公共交通以外での出発時間帯（平日）

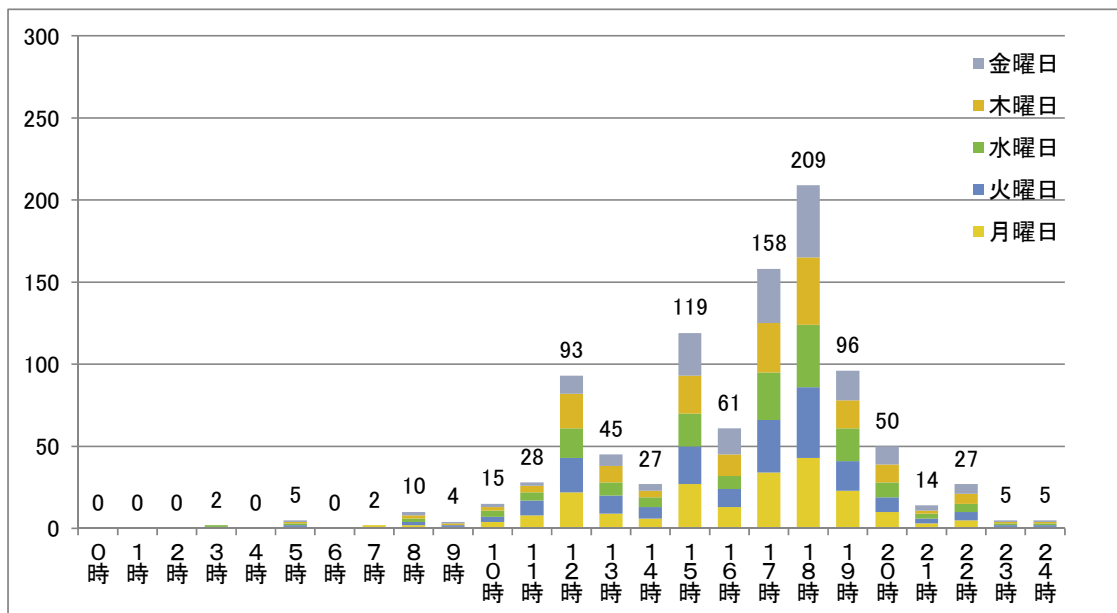


図 公共交通以外での帰宅時間帯（平日）

③公共交通以外での外出時間帯（土日）：問3Q8②a

公共交通を利用していない人の土日の外出時間をみると、出発時間帯では「10時」が62件で最も多く、次いで「9時」が60件、「8時」が57件となっています。出発時間帯のピークは、7時から10時までとなっています。

帰宅時間帯では、「17時」が57件で最も多く、次いで「18時」が42件、「12時」が36件となっています。帰宅時間帯のピークは、12時前後と15時から18時の2回に分かれています。

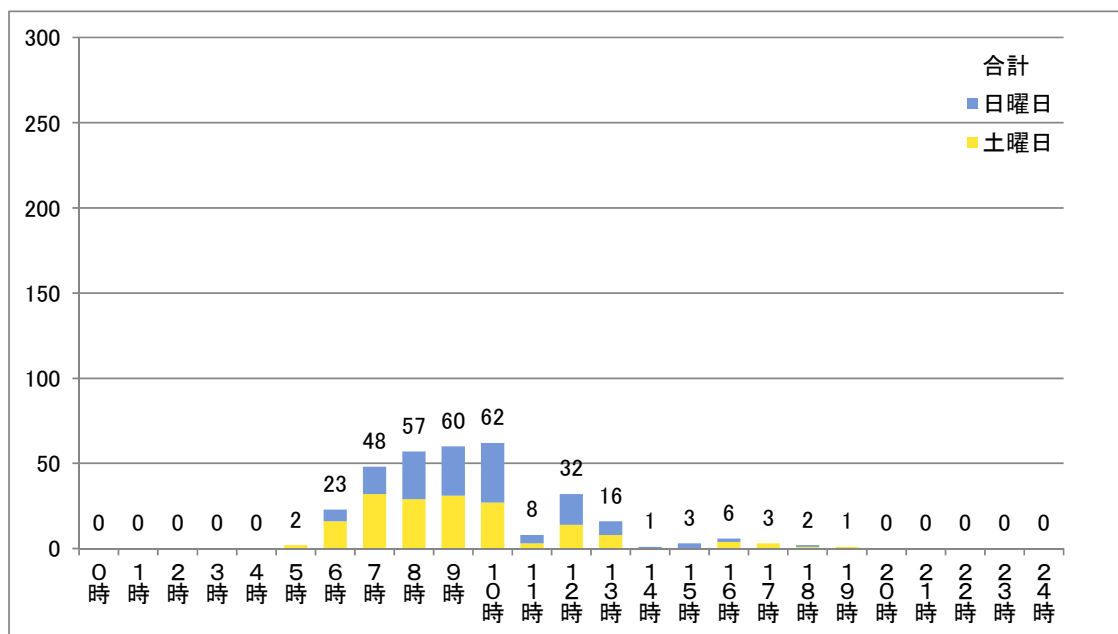


図 公共交通以外での出発時間帯（土日）

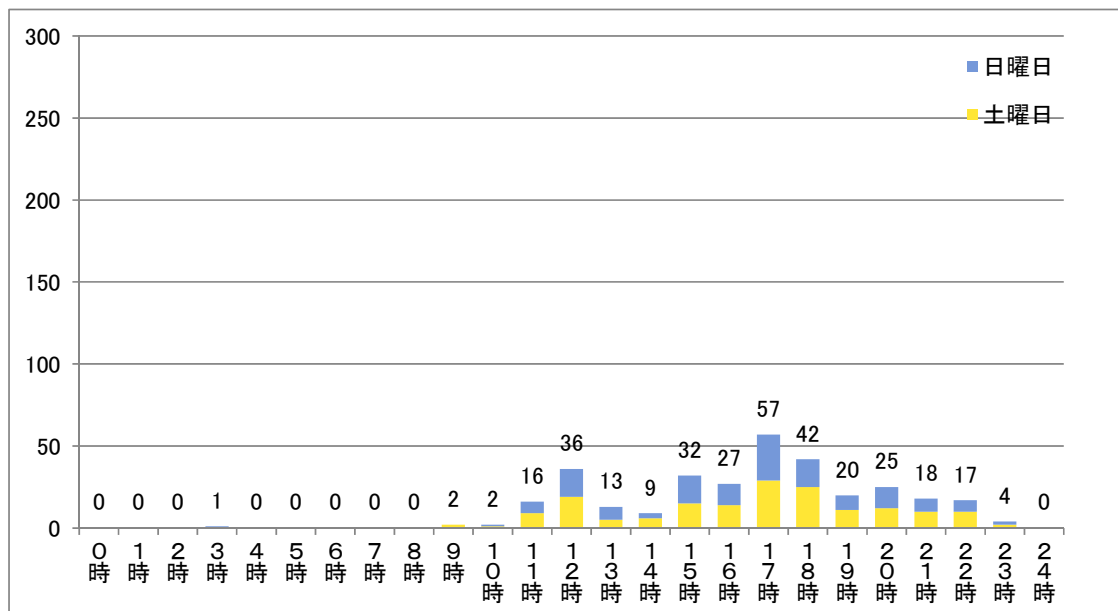


図 公共交通以外での帰宅時間帯（土日）

④公共交通以外での主な外出目的：問3Q8②b

公共交通を利用していない人の主な外出目的をみると、「小中学生」「高校生」「大学・短大生」は「通勤・通学」が9割以上と大半を占めています。「通勤・通学」は「20～39歳」も81.8%と多く、「40～59歳」は62.1%、「60～64歳」は62.0%と、65歳までの年齢ではどの層も最も多い割合となっています。

65歳以上になると「買物」での利用が多くなり、「65～74歳」が40.8%、「75～84歳」が36.7%となっています。「85歳以上」は、「通院・治療」が48.6%で最も多くなっています。

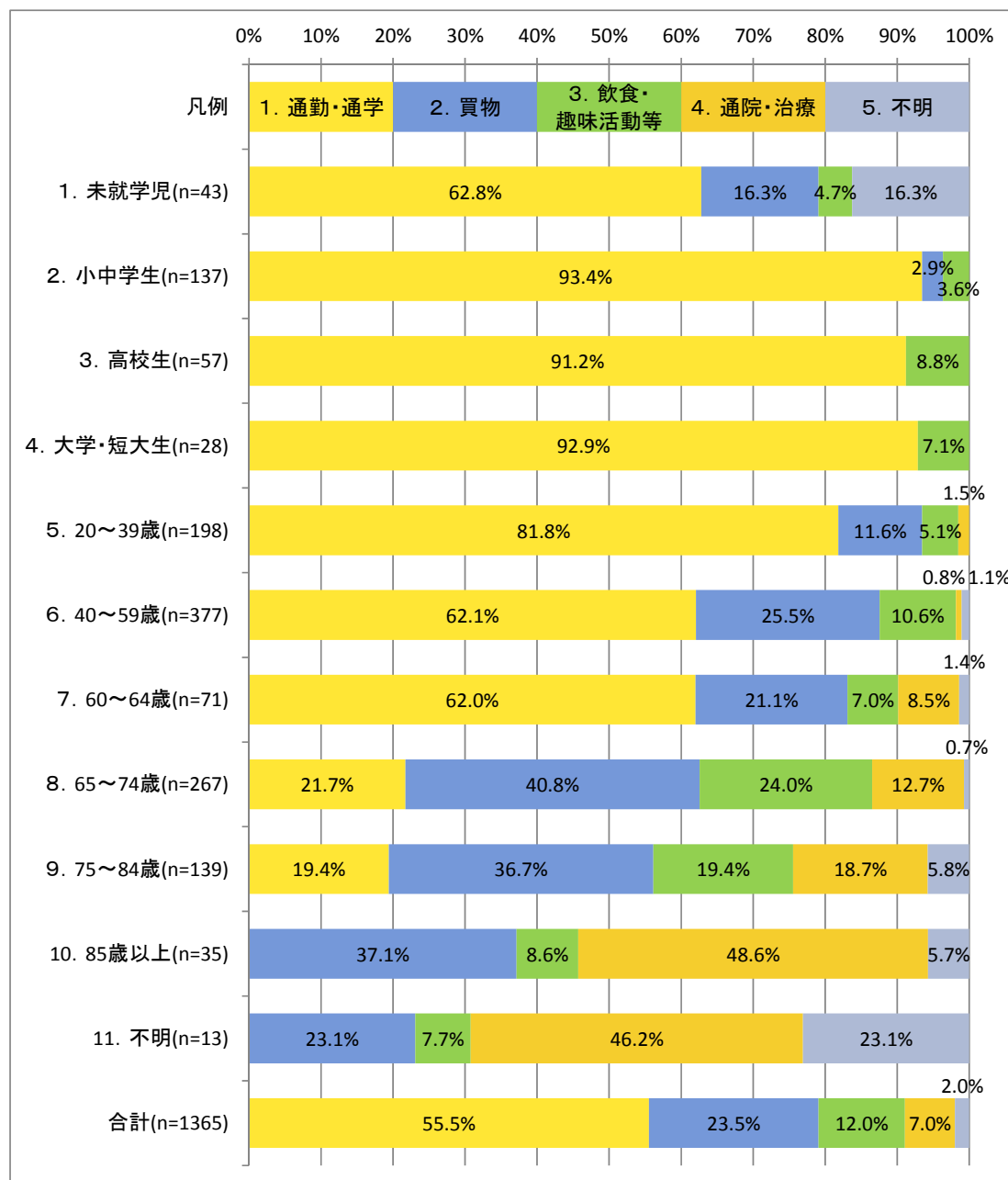


図 公共交通以外での主な外出目的



⑤公共交通以外での主な行き先：問3Q8②c

公共交通を利用していない人の主な行き先をみると、「小中学生」は「余市町内」が53.3%で最も多くなっていますが、「高校生」は「小樽」が54.4%、「大学・短大生」では「小樽」が50.0%と、余市町内での利用を上回っています。

20歳以上になると、余市町内の割合が最も多くなり、高齢になるに従って増加する傾向がみられます。余市町外への行き先は、小樽と札幌の2箇所が多くなっています。

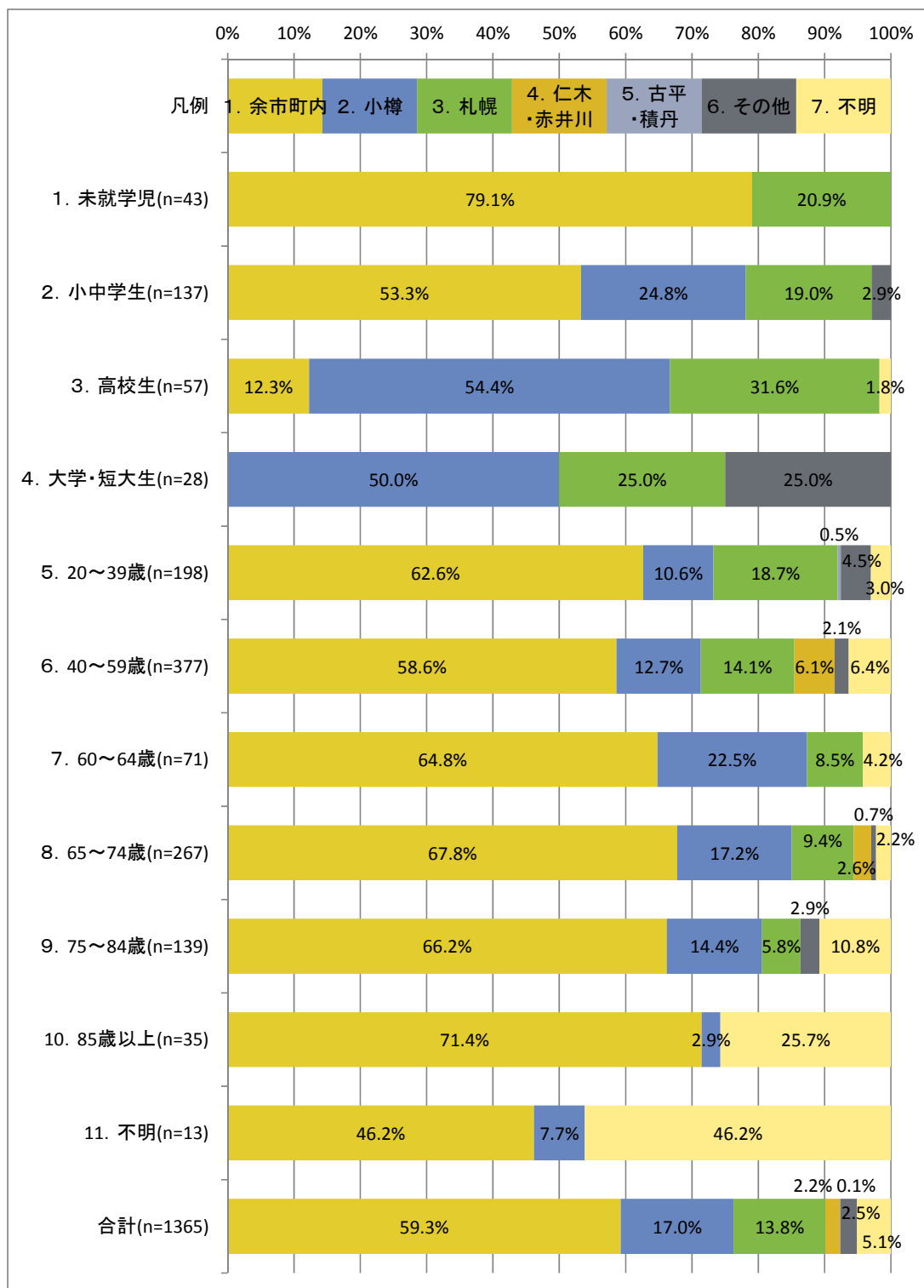


図 公共交通以外での主な行き先

⑥公共交通潜在需要の地域間移動状況（拡大処理）：問3Q8

「運転免許証の返納」で「返納が必要な年齢ではない」を回答の方を除く地域間移動状況をみると、1日当たりの移動が最も多い区間は「黒川町2・余市町内間」で37人となっています。次いで多かったのは、「黒川町1・余市町内間」が33人、「大川町・余市町内間」が18人となっており、全て余市町内での移動となっています。

外出目的別の構成比をみると、「通勤・通学目的」が51.8%で最も多く、次いで「買物目的」が23.0%、「飲食・趣味活動目的」が12.3%となっています。

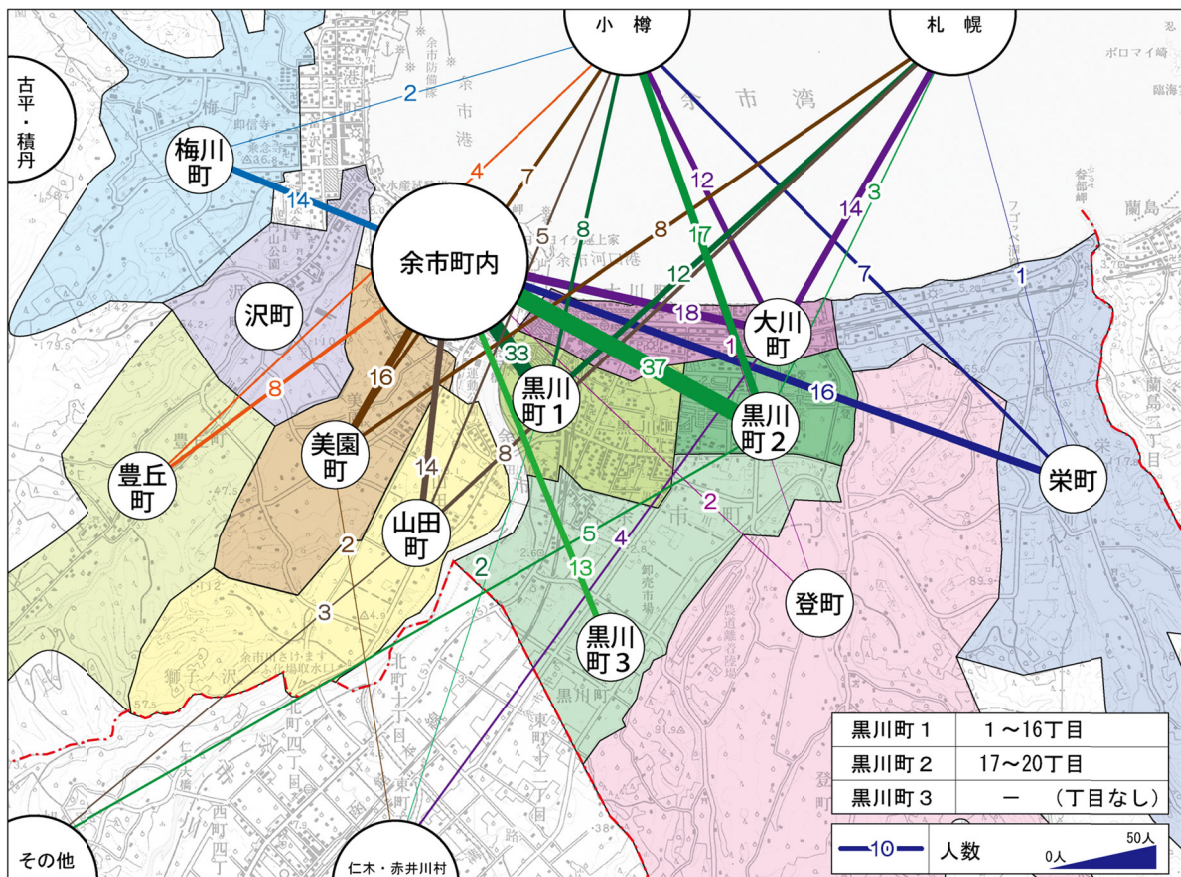


図 公共交通潜在需要の移動状況（拡大処理）

- ・拡大処理：各地域別の抽出率により拡大処理し、地区全体の交通実態として把握
- ・1日平均：1週間の交通実態に対して、7日間で除して1日当たりの実態を把握
- ・「運転免許証の返納」で「2. 返納が必要な年齢ではない」を回答の方を除く

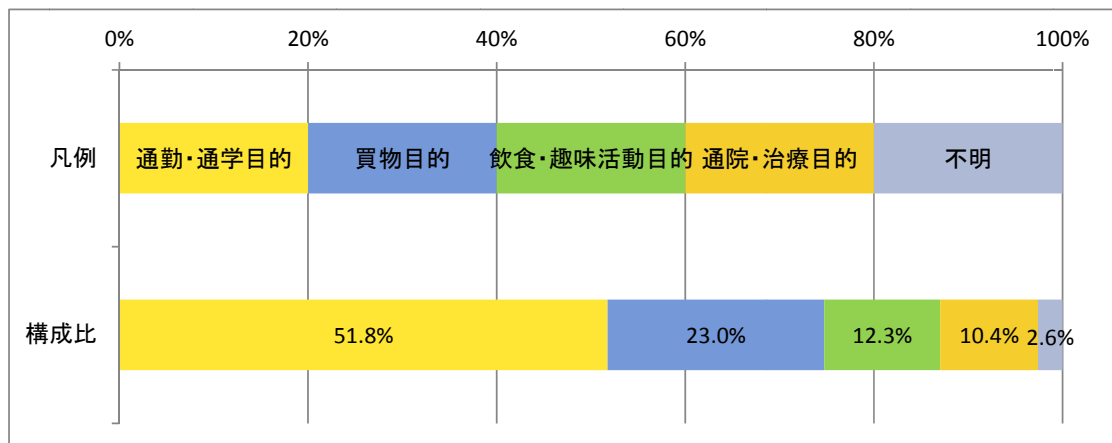


図 公共交通潜在需要の外出目的別構成比（拡大処理）

(参考) 想定される公共交通利用者数 (拡大処理)

想定される公共交通利用者数は、「(3) 公共交通利用実態：問2」での公共交通利用者と「(4) 公共交通の潜在需要：問3」を合算して算定します。

以下に地域間移動状況、外出目的別状況、想定される公共交通利用者の個人属性などを整理すると次の通りとなります。

地域間移動状況は、1日当たりの移動が最も多い区間は「黒川町2・余市町内間」で48人となっています。次いで「黒川町2・小樽」が45人、「大川町・余市町内間」と「黒川3・余市町内」が41人となっており、全て余市町内での移動となっています。

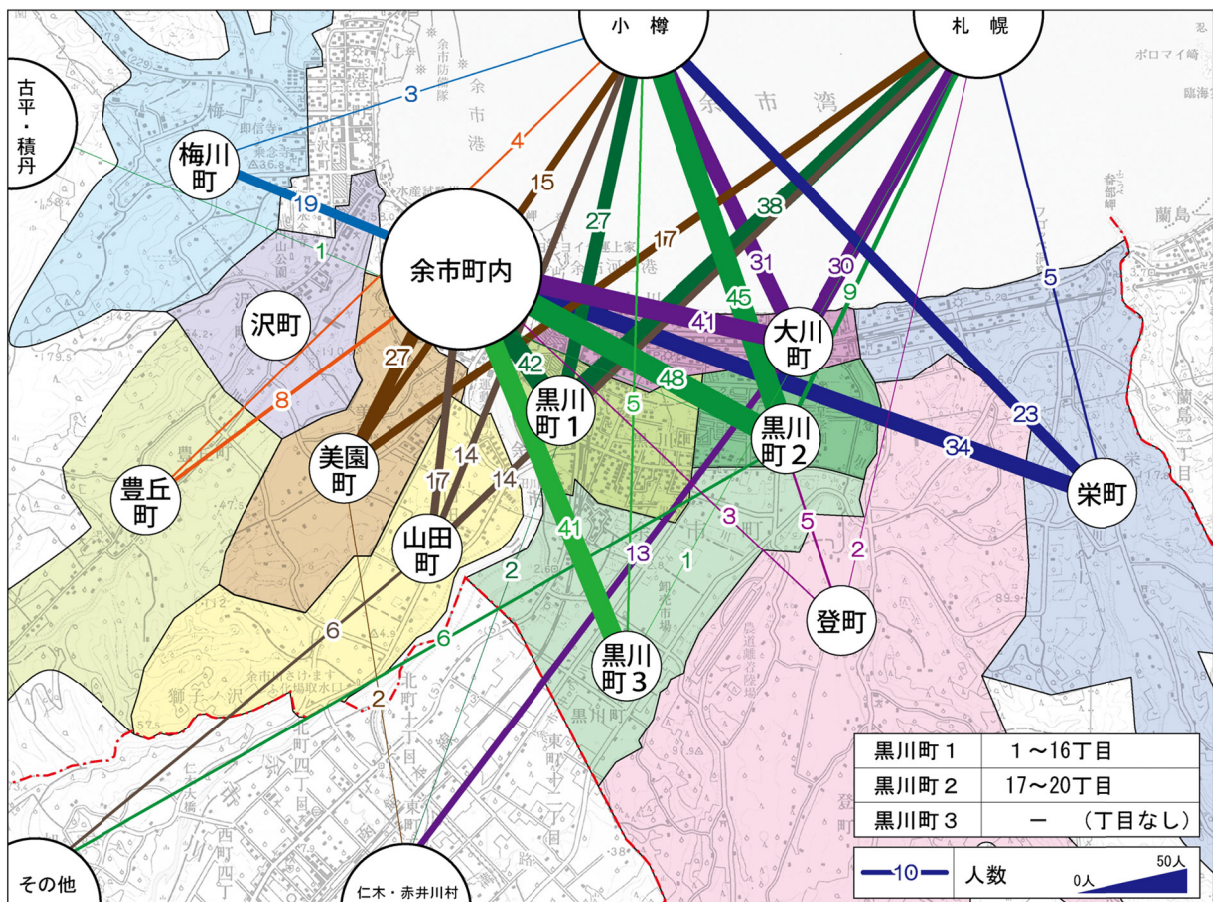


図 想定される公共交通利用者の移動状況 (拡大処理)

公共交通の利用が想定される方について外出目的別に構成比が高い地域をみると、「通勤・通学目的」は「登町」、「買物目的」は「梅川町」、「飲食・趣味」は「美園町」及び「通院・治療」は「豊丘町」となっています。

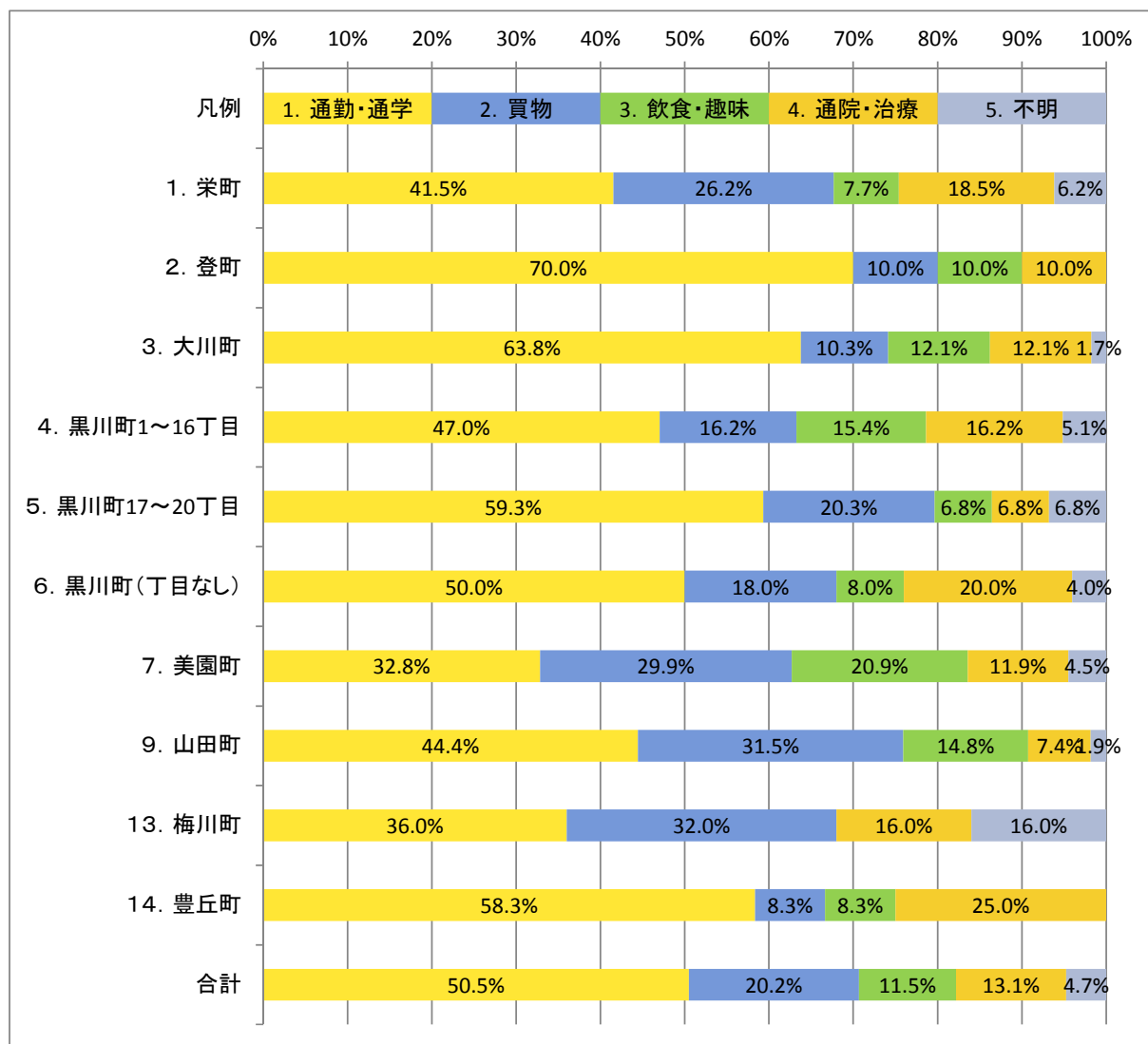


図 想定される公共交通利用者の地域別外出目的（拡大処理）



公共交通の利用が想定される方について学生、高齢者年齢階層の構成比が高い地域をみると、「小中学生」は「黒川2」、「高校生」は「登町」と「山田町」、「65～64歳」は「黒川町」及び「65～74歳」と「75歳以上」が「梅川町」となっています。

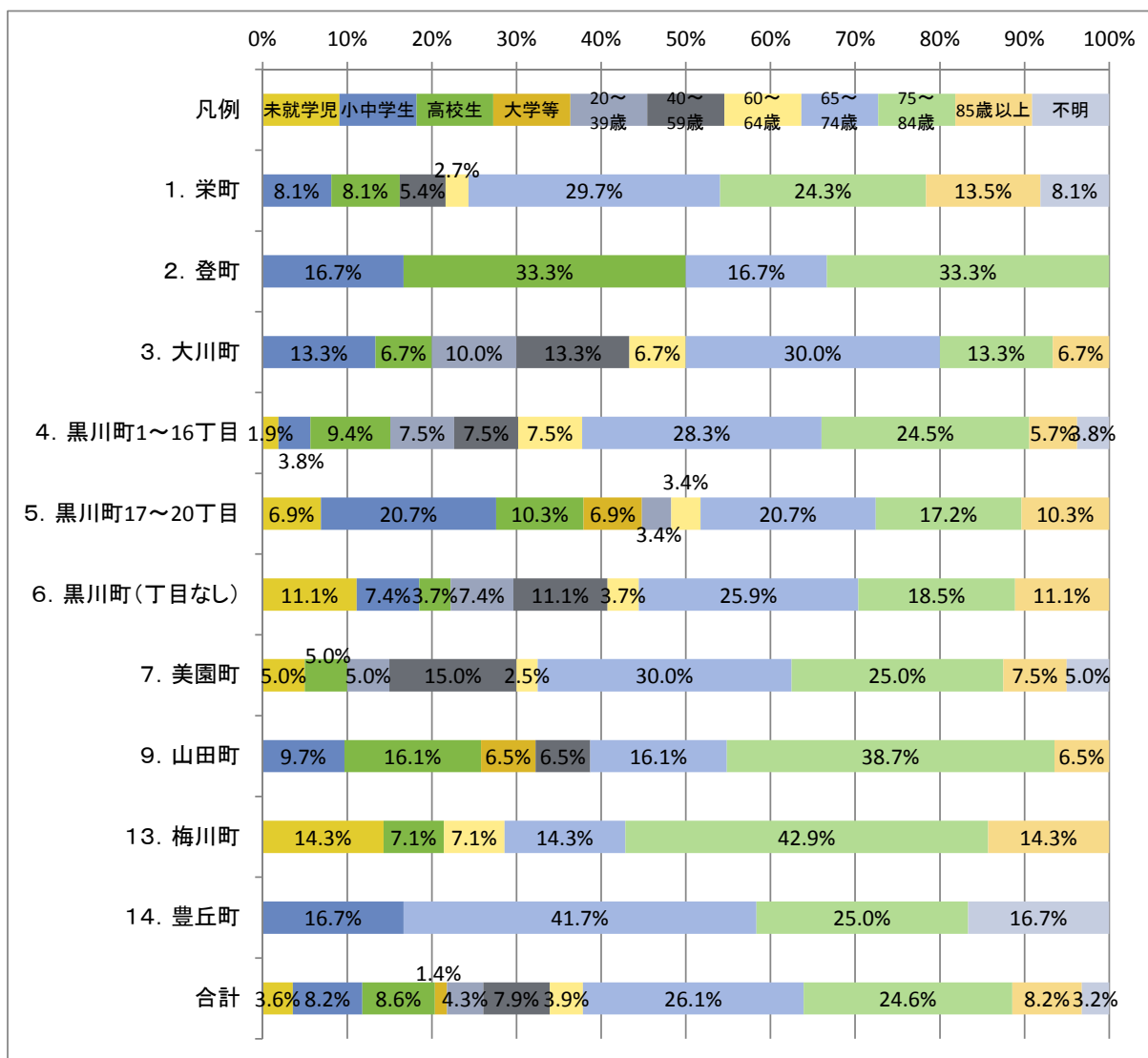


図 想定される公共交通利用者の地域別年齢階層

注) 属性を見るものであるため拡大処理は行っていない

公共交通の利用が想定される方について、自動車運転免許証を持っていない構成比が最も高い地域は「登町」で、次いで「黒川町2」、「黒川町」及び「黒川町1」の順となっています。

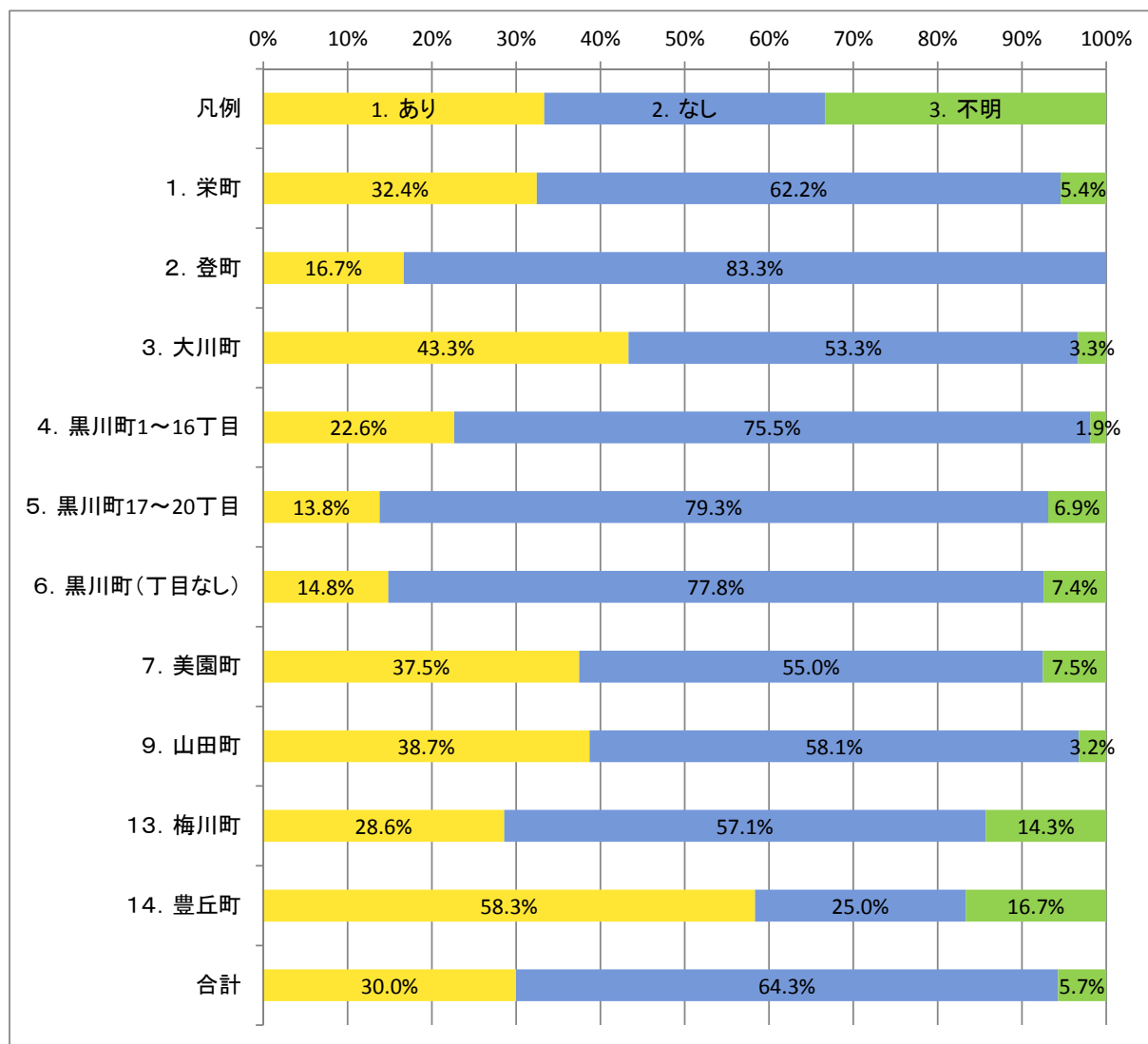


図 想定される公共交通利用者の地域別自動車運転免許証保有の有無

注) 属性を見るものであるため拡大処理は行っていない

公共交通の利用が想定される方について自家用車の使用状況別に構成比が高い地域をみると、「自ら所有する車を使用」と「家族の所有する車を使用」は「豊丘町」、「家族運転の車に乗車」は「黒川2」及び「車は使用しない」は「登町」となっています。

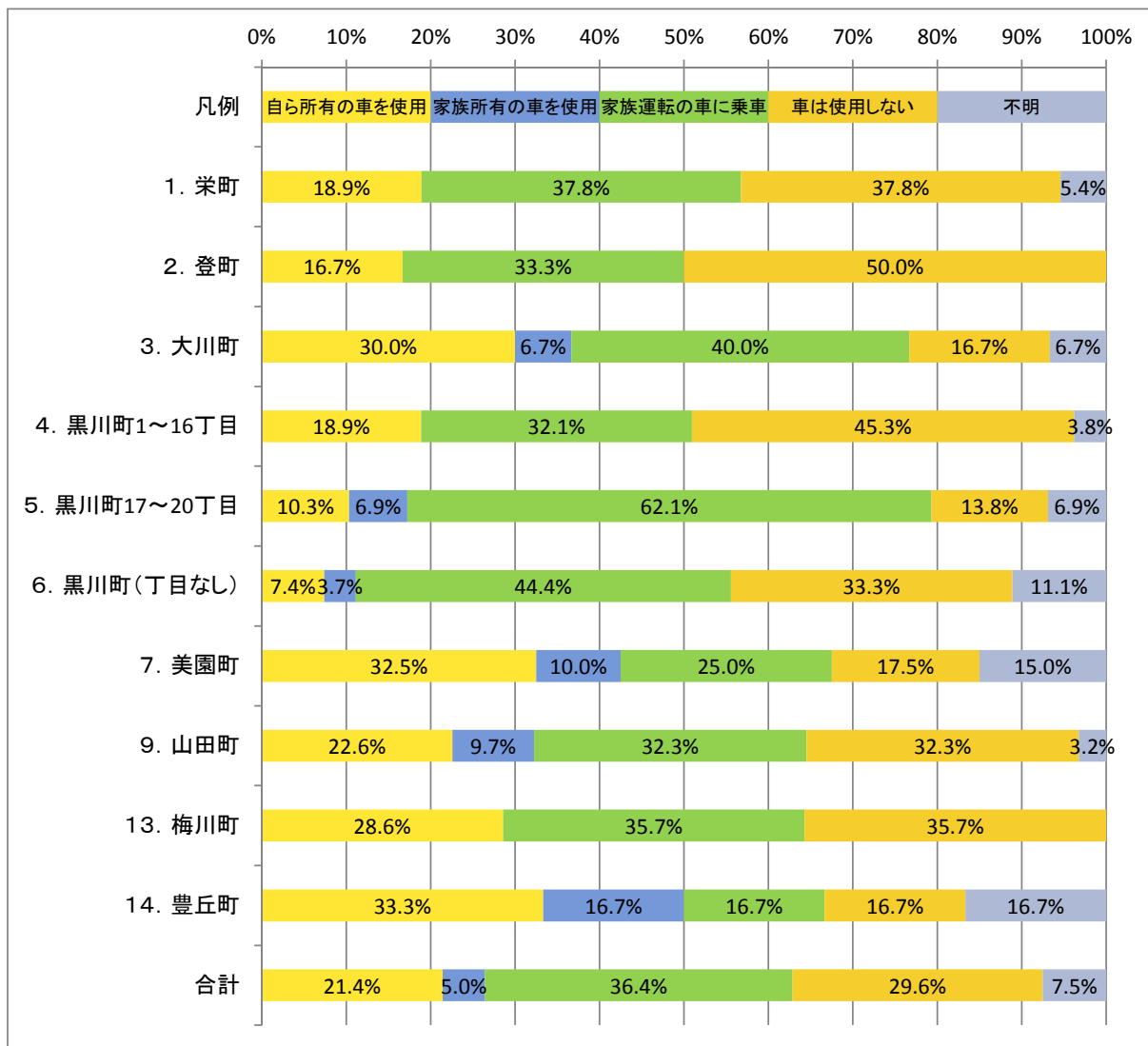


図 想定される公共交通利用者の地域別自家用車の使用状況

注) 属性を見るものであるため拡大処理は行っていない

公共交通の利用が想定される方について利用したい公共交通別に構成比が高い地域をみると、「乗合タクシーなど」は「豊丘町」、「美園町」及び「登町」、「コミュニティバスなど」は「登町」、「美園町」及び「栄町」、「路線バス」は「大川町」、「黒川町2」及び「山田町」となっています。

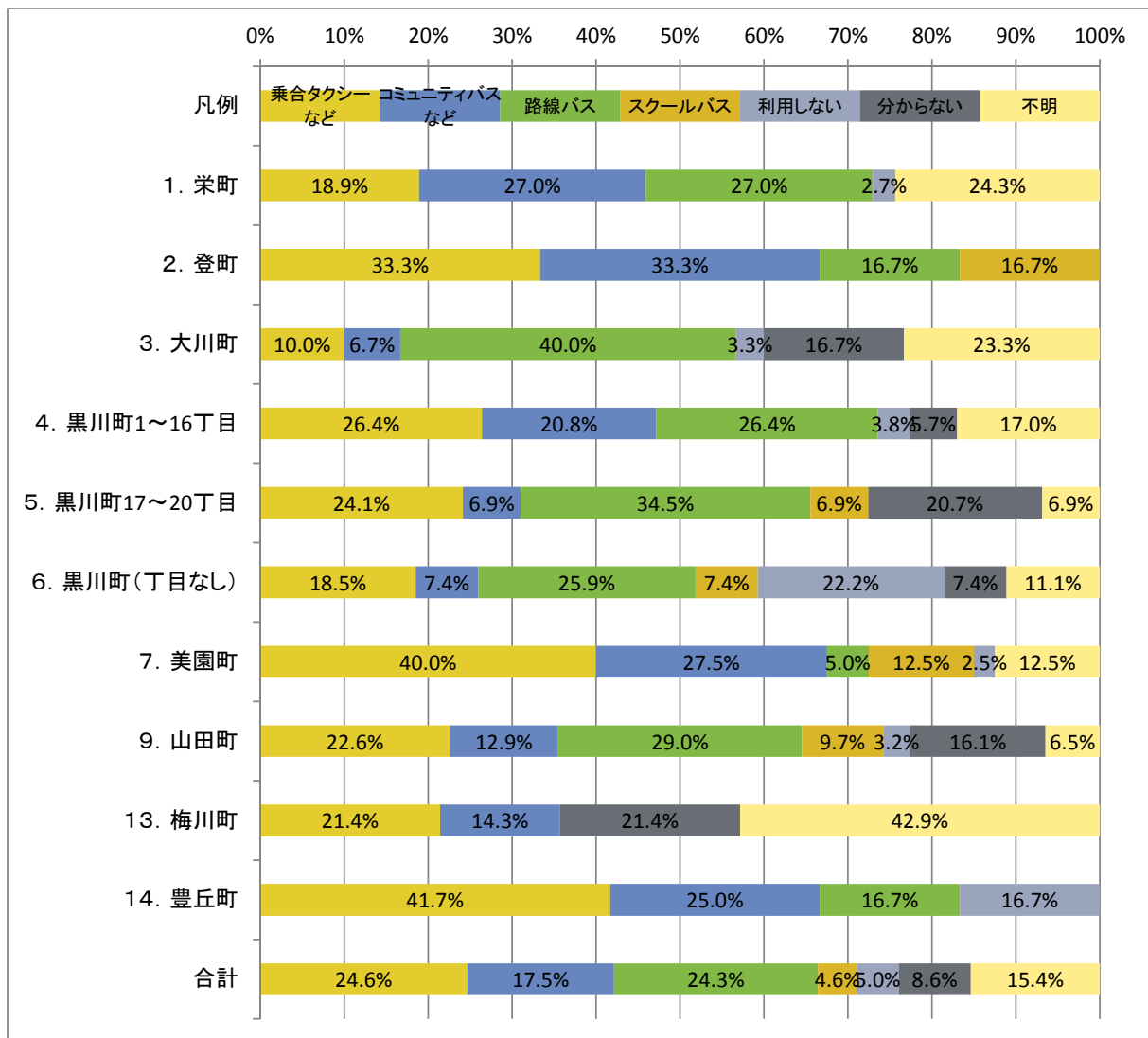


図 想定される公共交通利用者の地域別利用したい公共交通

注) 属性を見るものであるため拡大処理は行っていない



## (5) 今後の公共交通のあり方

### ①路線バスへの不満及び改善点：問4Q9①

路線バスの不満及び改善点をみると、全体では「自宅からバス停留所まで遠い」が398件で最も多く、次いで「乗りたい時間にバスが運行していない」が261件、「行きたい施設にバスで行くことができない」が179件となっています。

地域別では、「自宅からバス停留所まで遠い」が多いのは「沢町」で83.3%、「豊丘町」で80.4%、「美園町」で63.3%となっており、8行政区で最も多い割合となっています。残りの3行政区では「乗りたい時間にバスがない」が最も多くなっており、「大川町」が20.3%、「黒川町1～16丁目」が24.6%、「黒川町(町名なし)」が25.6%となっています。

その他の回答では、「行きたい施設に行けない」は「沢町」が33.3%、「運行内容がわからない」は「黒川町(町名なし)」が16.5%、「停留所が快適でない」は「沢町」が16.7%、「大川町」が15.3%と多くなっています。

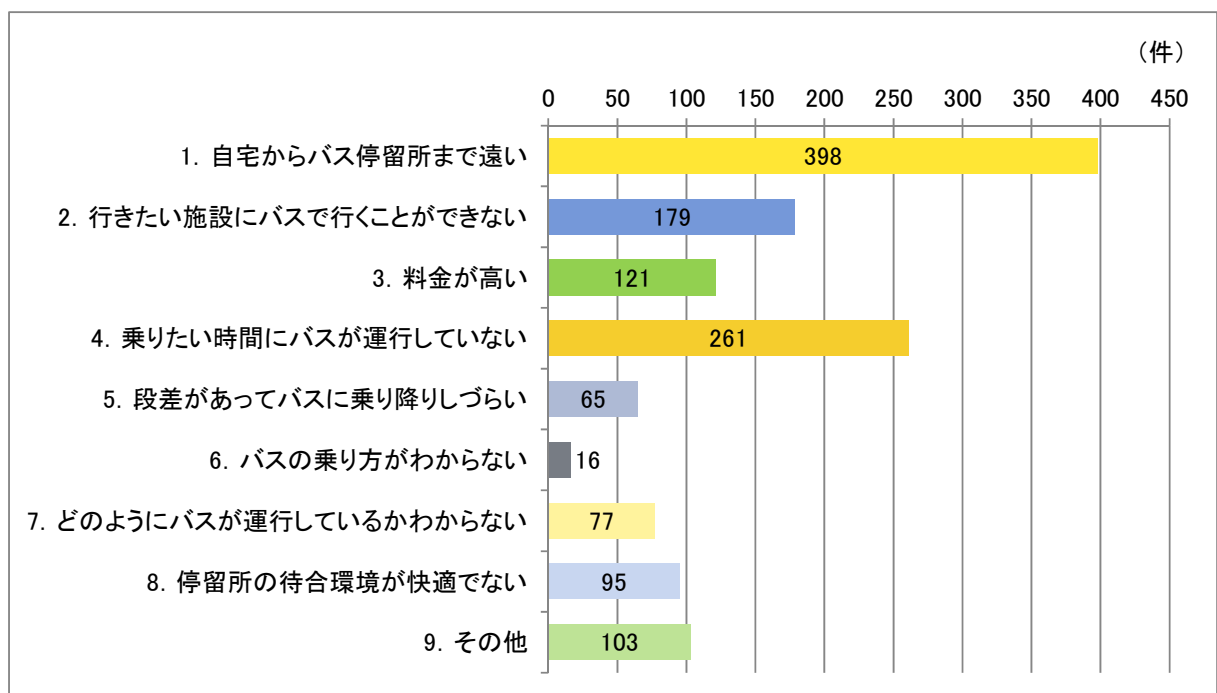


図 路線バスへの不満及び改善点

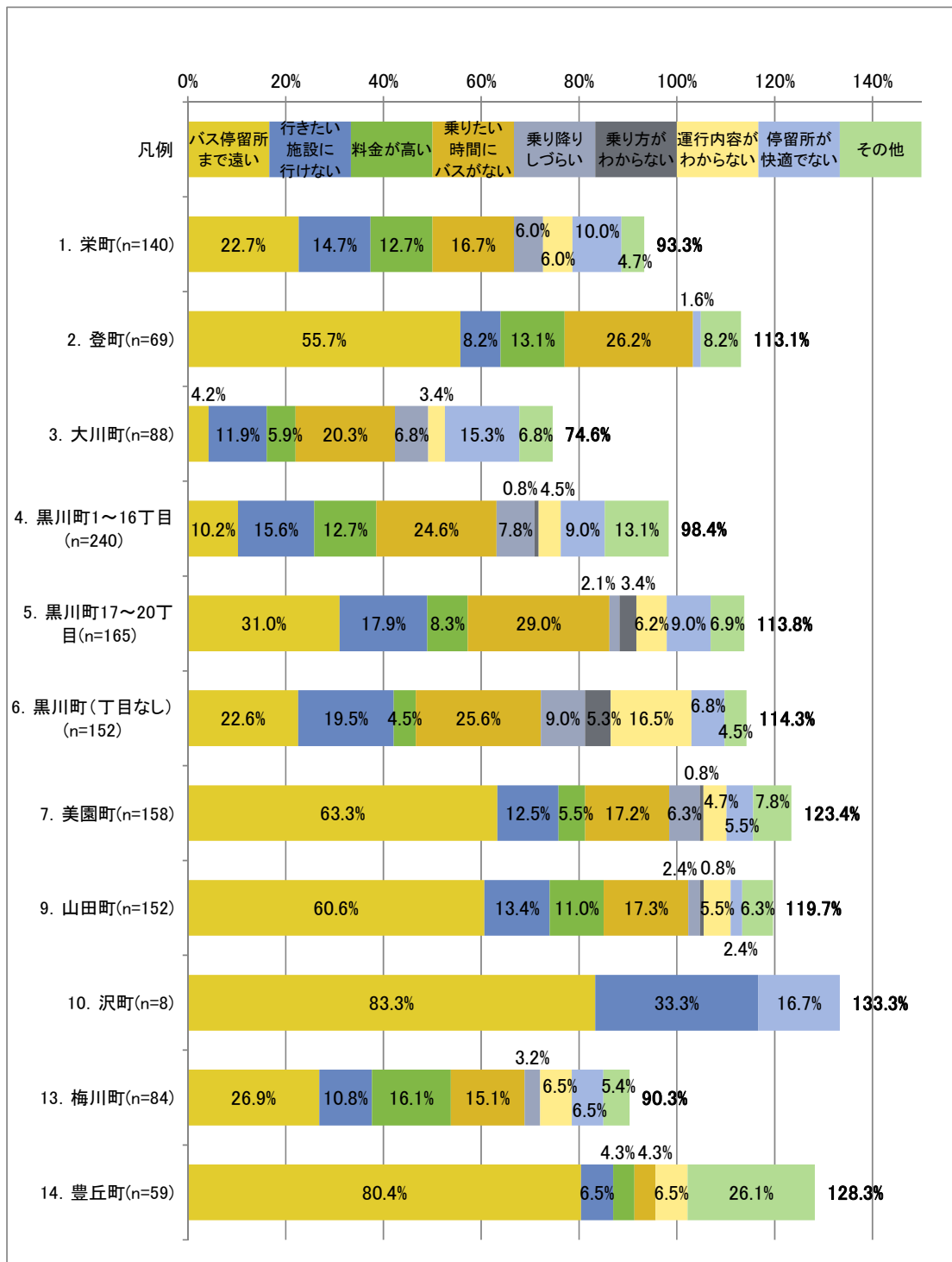


図 地域別での路線バスへの不満及び改善点

## ②路線バスの停留所を置いてほしい施設：問4Q9②

路線バスの停留所を置いてほしい施設をみると、全体では「大型店・金融機関・その他の施設」が41.7%で最も多く、次いで「行政サービス施設・学校・教育施設・鉄道駅」が26.1%、「医療・福祉施設」が16.0%となっています。

施設ごとの詳細をみると、「行政サービス施設・学校・教育施設・鉄道駅」では「JR余市駅」が159件、「余市町役場」が118件で多くなっています。「子育て支援施設」は、どの施設も回答がなく、「コミュニティ施設」では「総合体育館」が77件、「医療・福祉施設」では「余市協会病院」が92件で最も多くなっています。

「大型店・金融機関・その他施設」では「イオン余市店」が202件となっており、全体で最も多くの回答が得られています。「コープさっぽろ余市店」も116件と多く、商業施設では大型店の人気が高くなっています。

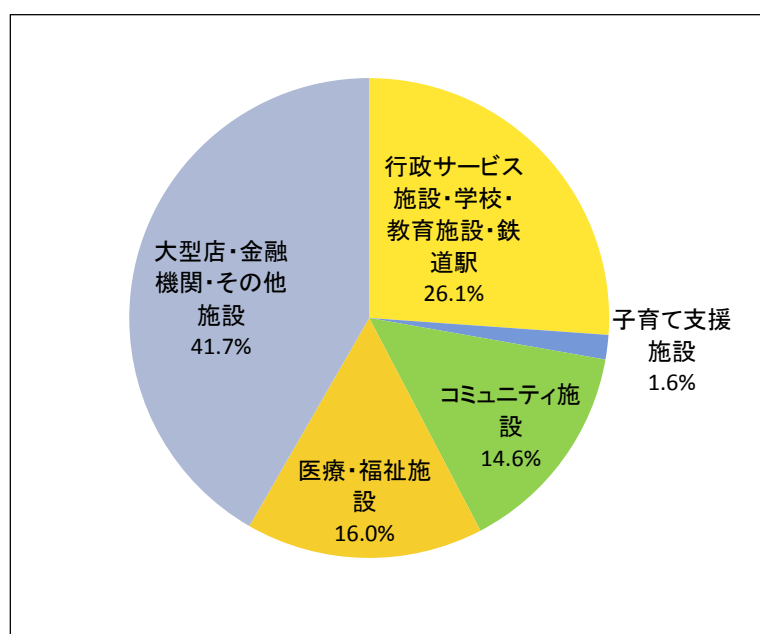


図 停留所を置いてほしい施設

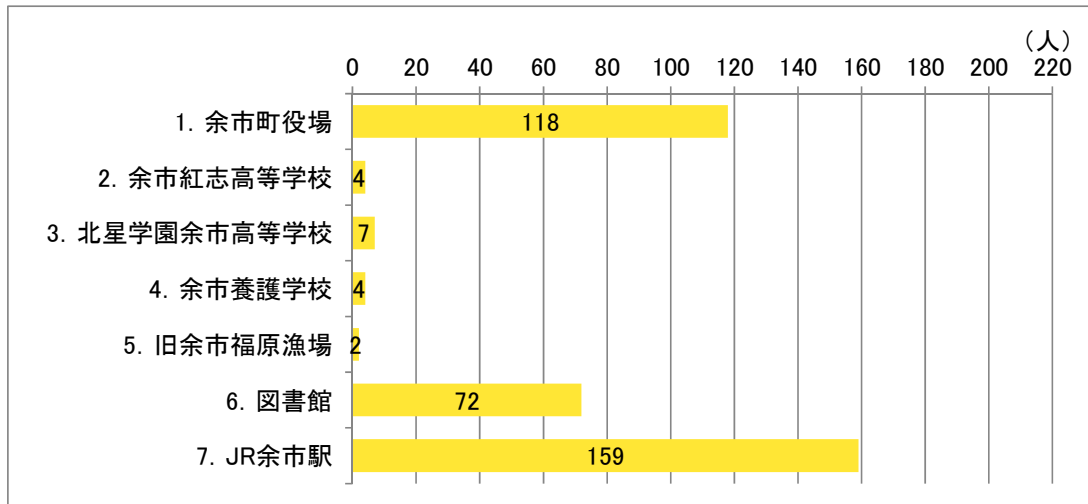


図 行政サービス施設・学校・教育施設・鉄道駅

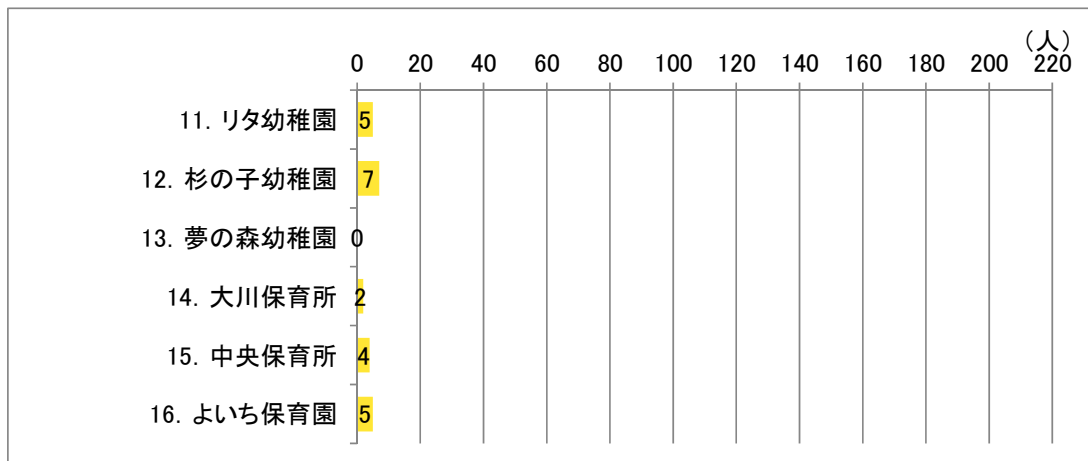


図 子育て支援施設

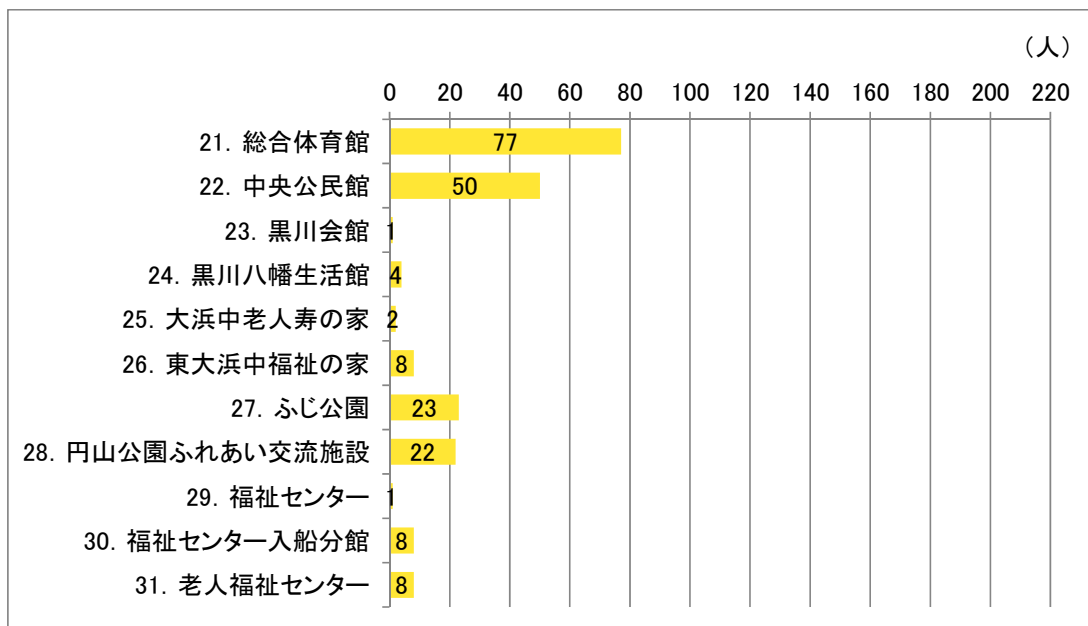


図 コミュニティ施設

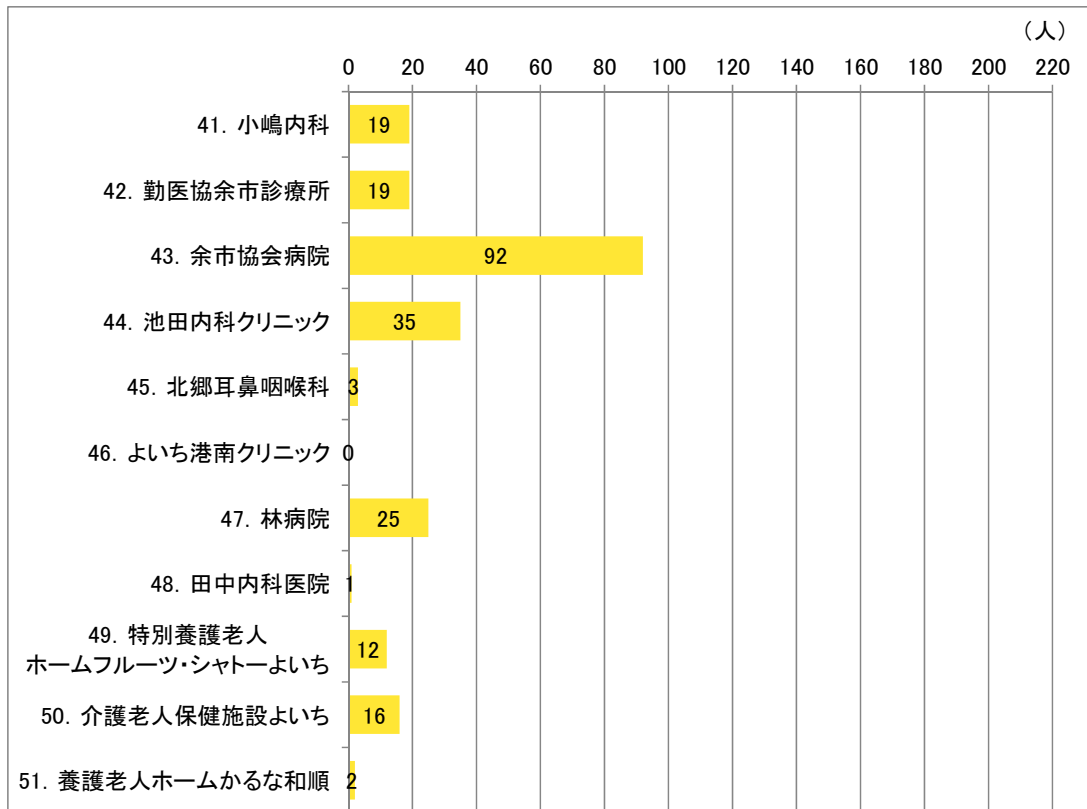


図 医療・福祉施設

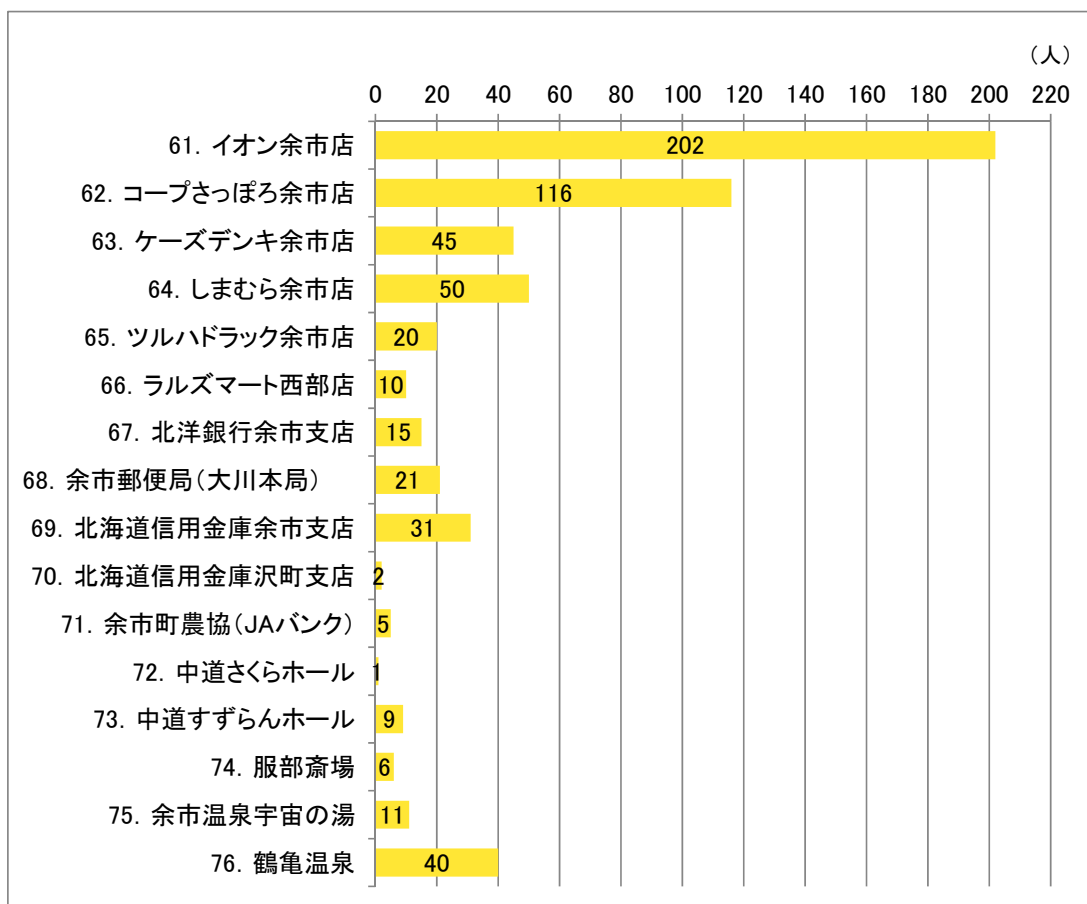


図 大型店・金融機関・その他施設

### ③利用したい公共交通：問4Q10

利用したい公共交通をみると、全体では「今より利便性が高い路線バス」が234、「多少運賃が高くても自宅や目的となる施設まで行けるもの（乗合タクシー）」が228となっており、2つが多く選ばれています。

地域別では、「利便性が高い路線バス」は「沢町」で33.3%、「大川町」で26.3%と多くなっています。「乗合タクシー」は「登町」で34.4%、「豊丘町」で30.4%、「美園町」で24.2%と多くなっています。「コミュニティバス」は「沢町」で33.3%、「栄町」で26.0%と多くなっています。

年代別では、「利便性が高い路線バス」は「学生」、「20～39歳」、「40～59歳」で最も多く選ばれています。「乗合タクシー」は、「75～84歳」が31.5%、「85歳以上」が40.9%と多くなっており、高齢者に多く選ばれています。「コミュニティバス」は「60～64歳」で24.1%と最も多くなっており、世代によって違いがみられます。

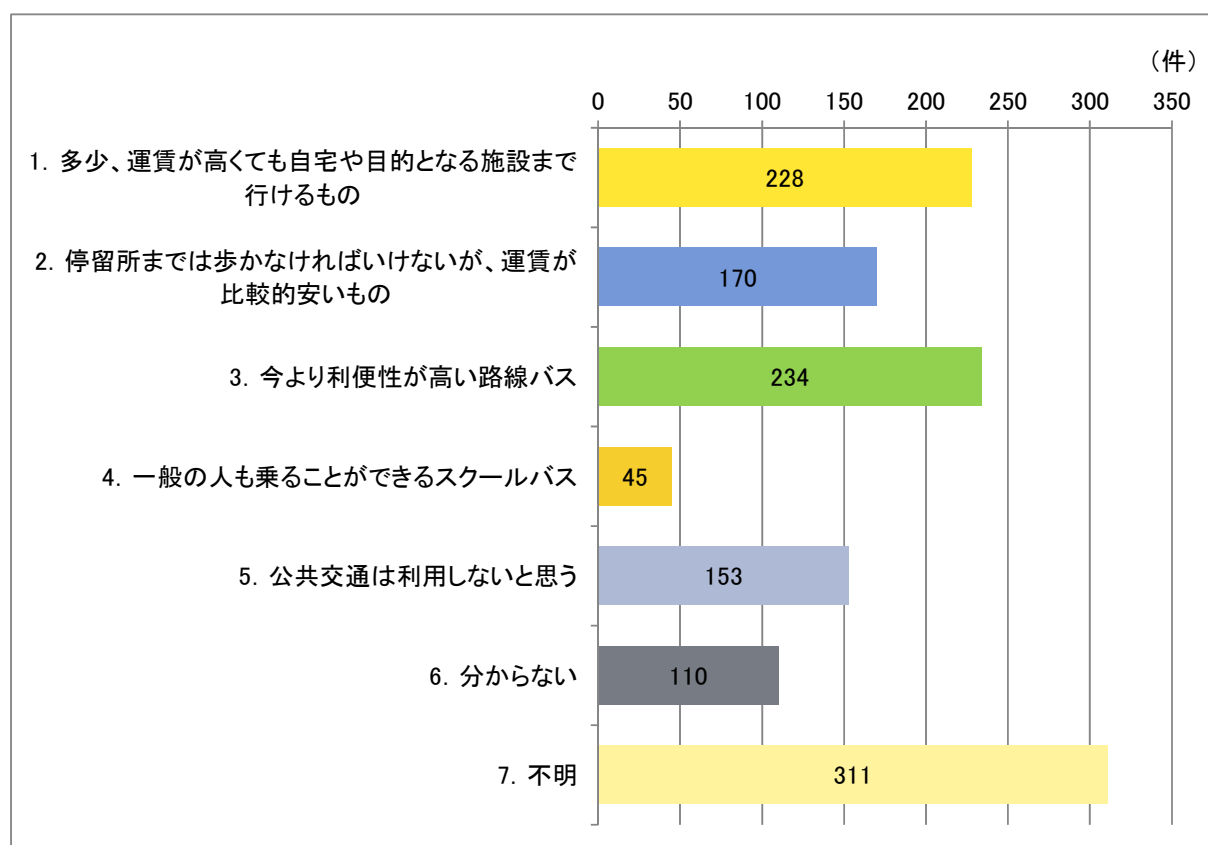


図 利用したい公共交通

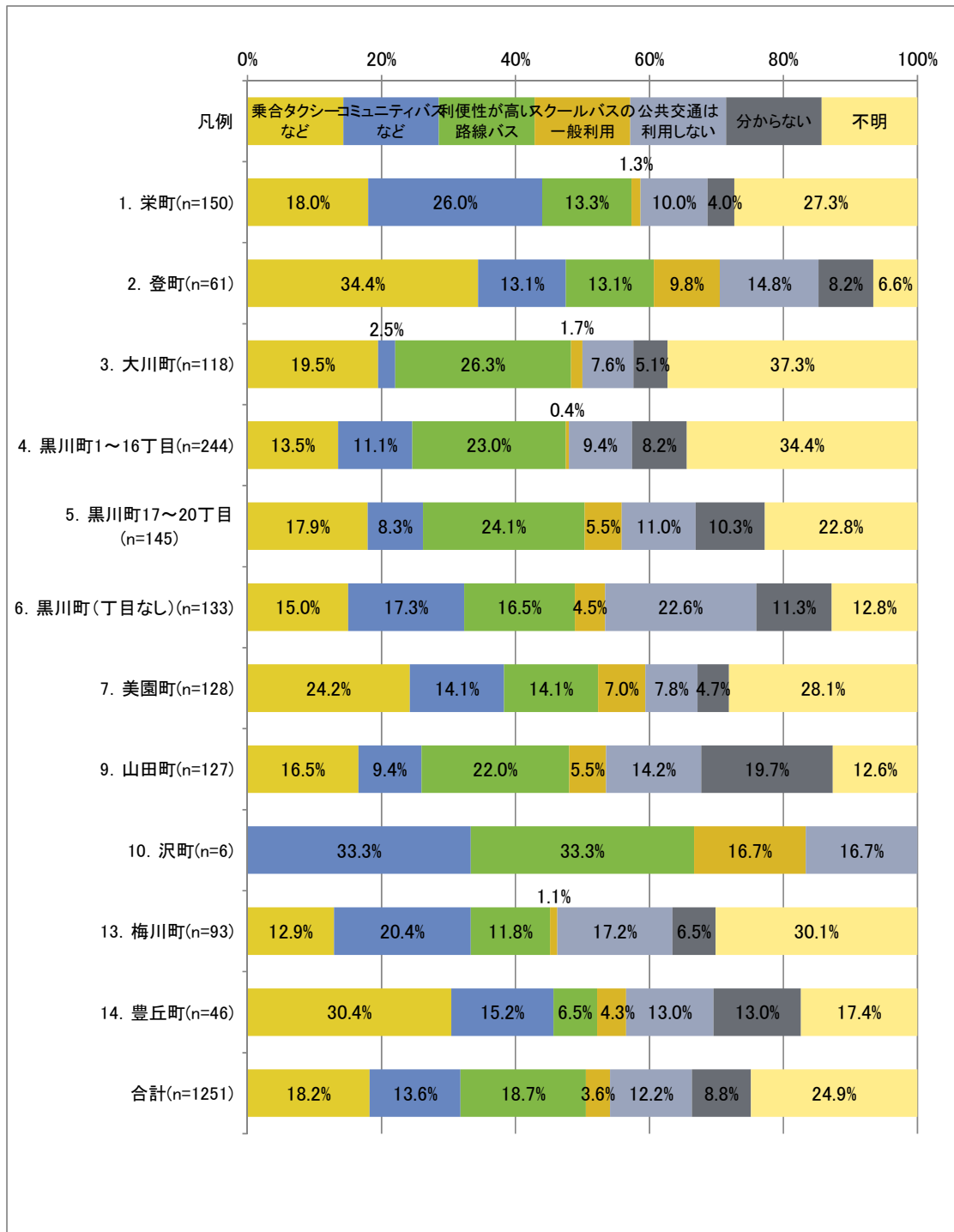


図 地域別での利用したい公共交通

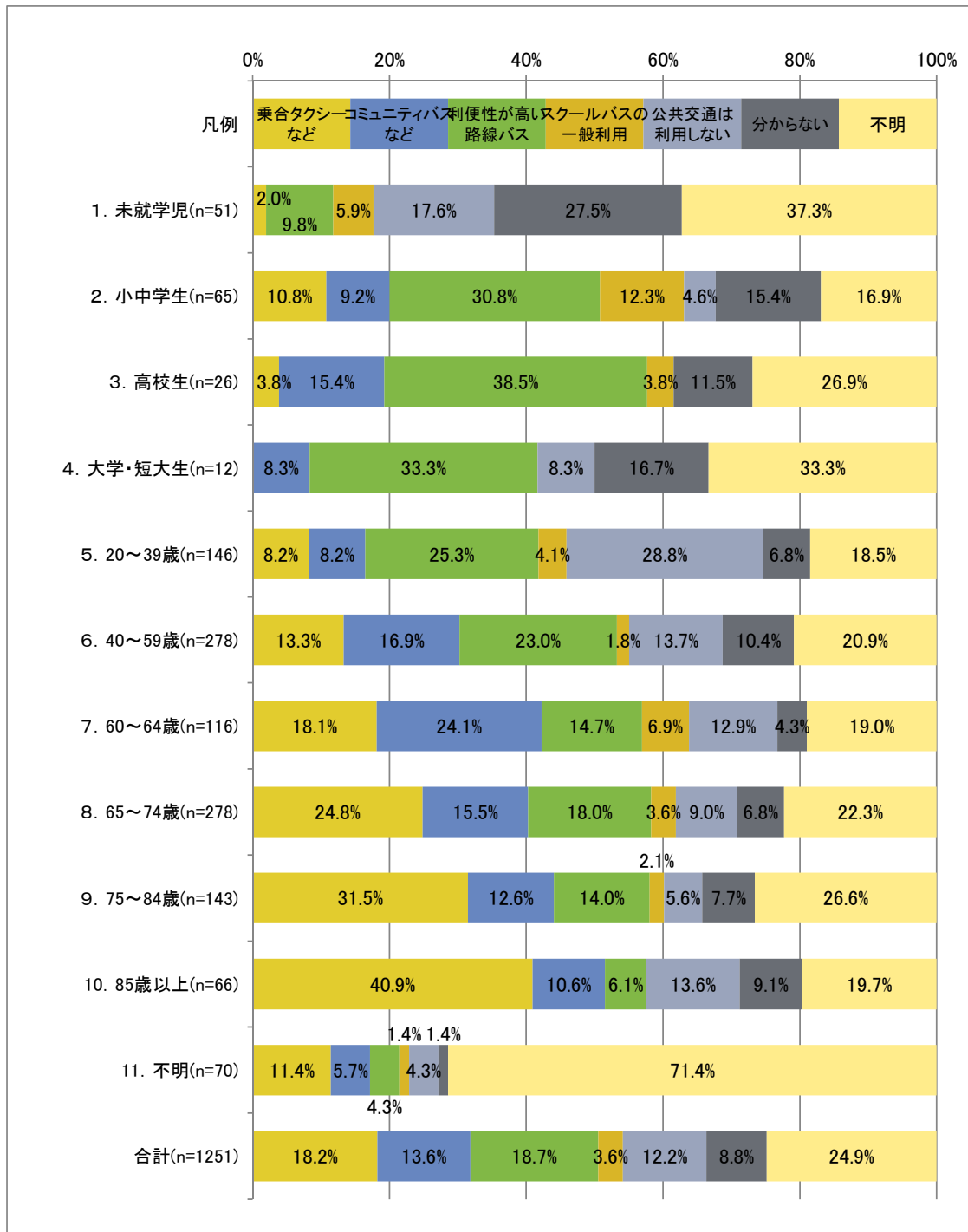


図 年代別での利用したい公共交通



④その他路線バスなど公共交通についての意見：問4Q11

種 別	項 目	内 容	件数	
1. JR	○JRの充実・存続	・札幌・小樽方面の増便	5件	
		・イベント列車の運行	1件	
		・最終便を遅くする(23時)	2件	
		・鉄道駅の設置	1件	
	○余市駅駅舎のバリアフリー化	・エレベーターの設置	1件	
2. 高速バス・ 幹線バス	○余市駅前広場の改善	・一方通行の解消	1件	
		・駐車場の無料化	1件	
	○高速道路を通る高速バスの運行	・全ての路線バスのアクセス	1件	
		○札幌方面の公共交通の充実	・通学、通院、買物、旅行利用	2件
		・自家用車より早くて安い	1件	
○小樽方面の公共交通の充実		・小樽への通学バスへの助成	4件	
○倶知安方面の公共交通の充実		・通学利用	1件	
○高速よいち号や高速いわない号の大浜中への停車		1件		
3. 地域公共 交通	○きめ細かい公共交通サービスの提供	・中心部から離れた地域	1件	
	○公共交通の削減はやむを得ない	・人口減少への対処	1件	
	○公共交通の充実	・高齢化への対応	5件	
	○通勤利用に対応した公共交通の運行		1件	
	○公共交通空白地域の解消	・買物難民の解消	2件	
		・行政による財政的な支援	1件	
		・徒歩10分程度でバス停留所にアクセス	5件	
	○西部地区への公共交通の運行		1件	
	○中部地区への公共交通の運行	・コミュニティバスの運行	1件	
		・運行しても利用者は少ない	1件	
		・1日3便は運行	1件	
	○東部地区への公共交通の運行	・登町、栄町を連絡する路線バスの運行	3件	
	○コミュニティバスの運行	・買い物、通院、行政サービス施設利用	4件	
		・きめ細かなルート設定	1件	
・地域の見守りとなるバス運行		1件		
・観光への併用		1件		
・高齢者向けの交通サービス		5件		
・町内を循環するコミュニティバスの運行		2件		
○乗合タクシーの運行		・利用者数によって運賃が変動する デマンド交通を運行	2件	
・自宅近くまで来てくれる	2件			
・夜間の乗合タクシー	1件			
○スクールバスの運行		1件		
○郊外地域における巡回バスの運行	・小型バスによる周遊	3件		

種 別	項 目	内 容	件数	
	○路線バス運行便数の充実	・ 1 時間に 2 便以上の運行 ・ 余市協会病院線の増便 ・ 時間帯限定の増便 ・ 15 分おきの町内運行	1 件 2 件 1 件 1 件	
	○バス始発時刻・最終時刻の改善	・ 始発時刻を早く最終時刻を遅くする ・ 通勤・通学に合わせた増便	7 件 2 件	
	○JR との接続	・ 余市協会病院線 ・ JR の運行とリンク ・ 通勤・通学の時間に合う便を増やす	1 件 2 件 2 件	
	○運転免許の返納が可能となる公共交通の運行	・ 買い物利用を考えた運行	1 件	
	○体の不自由な方も利用可能な公共交通の運行	・ 杖をつく方	1 件	
	○公共交通割引制度	・ 高齢者や運転免許返納者	1 件	
	○低床バスなど運行車両の改善	・ 座席数の改善	1 件	
	○停留所時刻表表示の改善	・ 時刻表の文字を大きくする	1 件	
	○バス運行車両の小型化			
	○バス停留所位置の改善	・ 大川十字街の上下線の停留所 ・ 保育所・幼稚園（働く女性のため） ・ 高速バスの停留所（全ての停留所に停車） ・ 路線バスの小型化と便数の維持・増便 ・ バスを降りた後の大型店へのアクセス距離を短くする ・ 停留所の増加 ・ バスの停車位置 ・ 駅・役場付近の停留所	1 件 1 件 2 件 4 件 1 件 2 件 2 件 1 件	
	○バス待合環境の改善	・ 待合所の設置	5 件	
	○バスマップの作成		1 件	
	○バス運賃	・ バス運賃の増額対策 ・ 年金生活に見合った料金の補助 ・ 時間帯・土日祝の運賃の減額 ・ 運賃の減額	1 件 1 件 1 件 1 件	
	○町内の公共交通の充実	・ 町内循環バスの運行	2 件	
	4. その他		・ 自動運転 ・ 冬のみ公共交通を運行 ・ 試験運行の実施 ・ IC カードチャージ金額の上限の見直し ・ 介護事業所のケア輸送義務化 ・ 運転手サービスの改善 ・ バス停までの除排雪の充実 ・ タクシーの高齢者割引制度 ・ バスの現在地とスマホの連携 ・ フリー乗降制の提案	1 件 1 件 1 件 1 件 1 件 1 件 1 件 1 件 1 件 2 件

## 2. バス乗降調査

### (1) 余市協会病院線バス乗降調査 1

#### ①利用者数

「余市協会病院線」の梅川車庫前から協会病院前までの区間を対象に、9月11日(火)に乗降調査を実施しました。利用者数は、「往路」が43人、「復路」が49人となっており、合計で92人の利用が確認できました。

表 バス利用人数

バス路線	利用者数
往路	43
復路	49
合計	92

#### ②時間別利用者数

##### 【「往路」時間別利用者数】

「往路」は、8:20発の第1便から16:30発の第6便までの計6便を調査し、全便合計で43人が利用しています。

時間帯別にみると、午前中は9:35発の14人が最多となっており、8:20発も10人と利用が多くなっています。午後は12:55発の10人が最多となっており、以降は徐々に利用者数が少なくなっています。

往路は8:20発と9:35発の第2便までの利用がピークとなっており、この時間帯を中心に利用しやすい形態としていくことが必要です。

##### 【「復路」時間別利用者数】

「復路」は、8:50発の第1便から17:00発の第6便までの計6便を調査し、全便合計で49人が利用しています。往路の利用者数の合計は43人となっており、往路と復路での利用者数にはほとんど違いがありません。

時間帯別にみると、午前中は11:20発の14人が最多となっており、10:05発も13人と利用が多くなっています。午後は15:00発の12人が最多となっており、往路で利用が多い便の次の便に利用が集中しています。

復路は10:05発と11:20発の第2便・第3便の利用がピークとなっており、この時間帯を中心に利用しやすい形態としていくことが必要です。

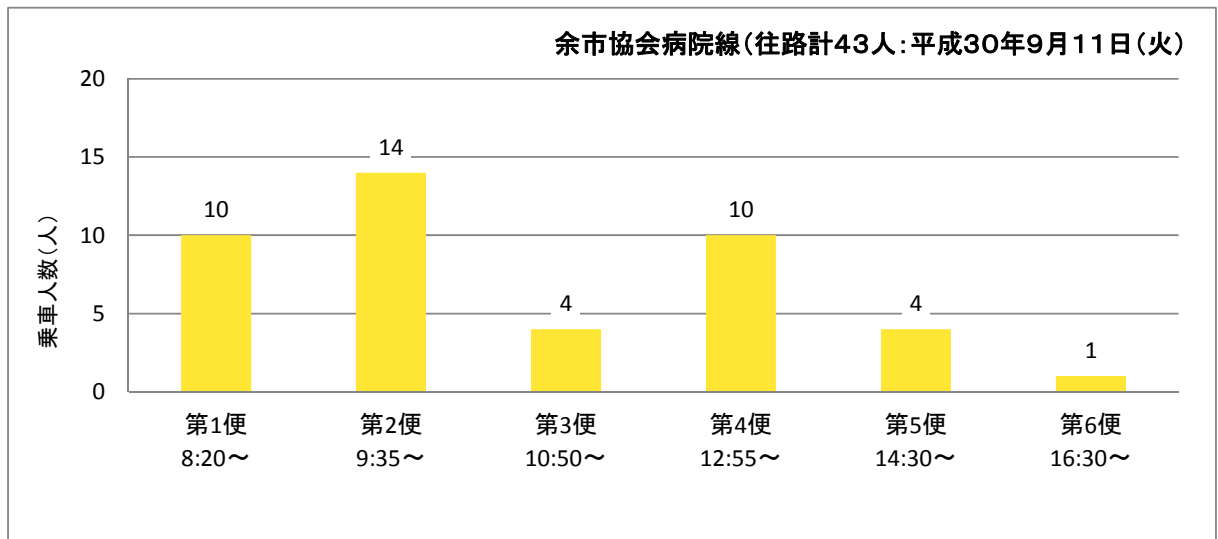


図 余市協会病院線往路の時間別利用者数

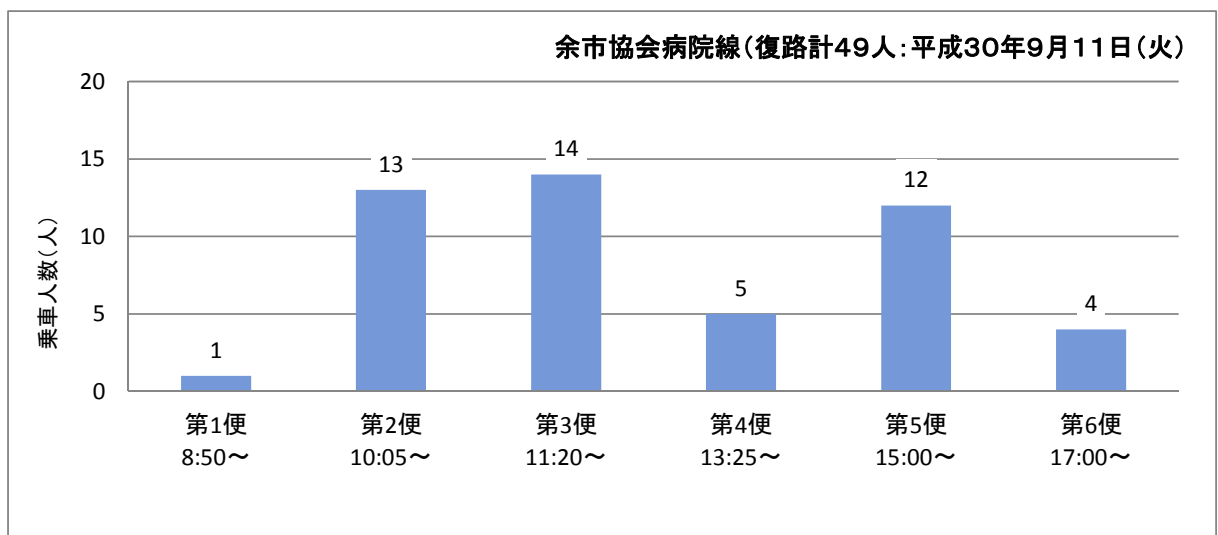


図 余市協会病院線復路の時間別利用者数

### ③年齢別利用者数

バス利用者の年齢階層を調査員の見た目で集計すると以下のとおりになります。なお、年齢階層は、「子供」「小・中学生」「高校生」及び「高齢者」と、これ以外の一般の方を「大人」として区分しました。

利用者の年齢階層は、「大人」による利用は、第2便の9:35発が55.6%、第4便の12:55発が60.0%で最も多くなっています。残りの4便は全て「高齢者」の利用が大半を占め、いずれも8割程度となっています。

14:30発の第5便では「高校生」の利用が12.5%ありますが、それ以外は「子供」「小・中学生」「高校生」の利用はなく、登下校での利用はほとんどない状況です。

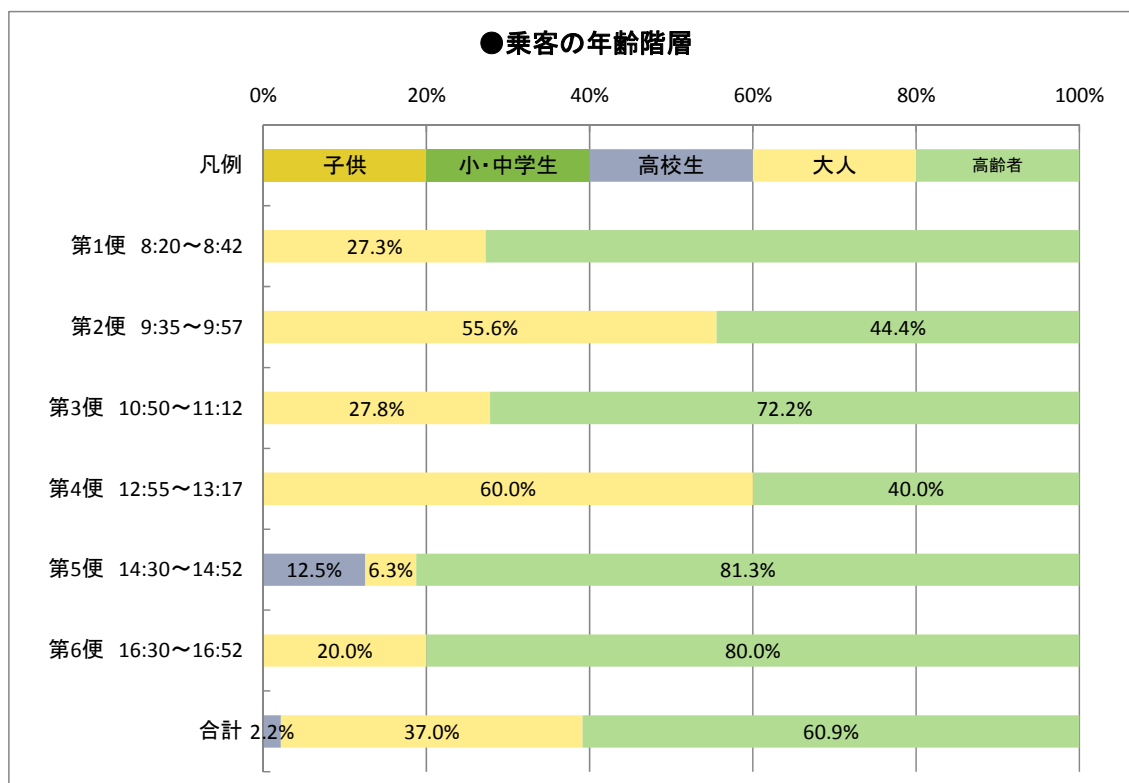


図 便別の利用年齢階層

#### ④男女別利用者数

利用者の性別は、全ての便で「女性」の割合が多く、合計では76.7%を占めています。

16：30 発の第6便では「女性」の利用が100%となっており、残りの5便も8割程度を女性が占める状況となっています。

「男性」の利用が最も多いのは、9：35 発の第2便で22.2%となっており、全体的に男性の利用が少ない状況となっています。

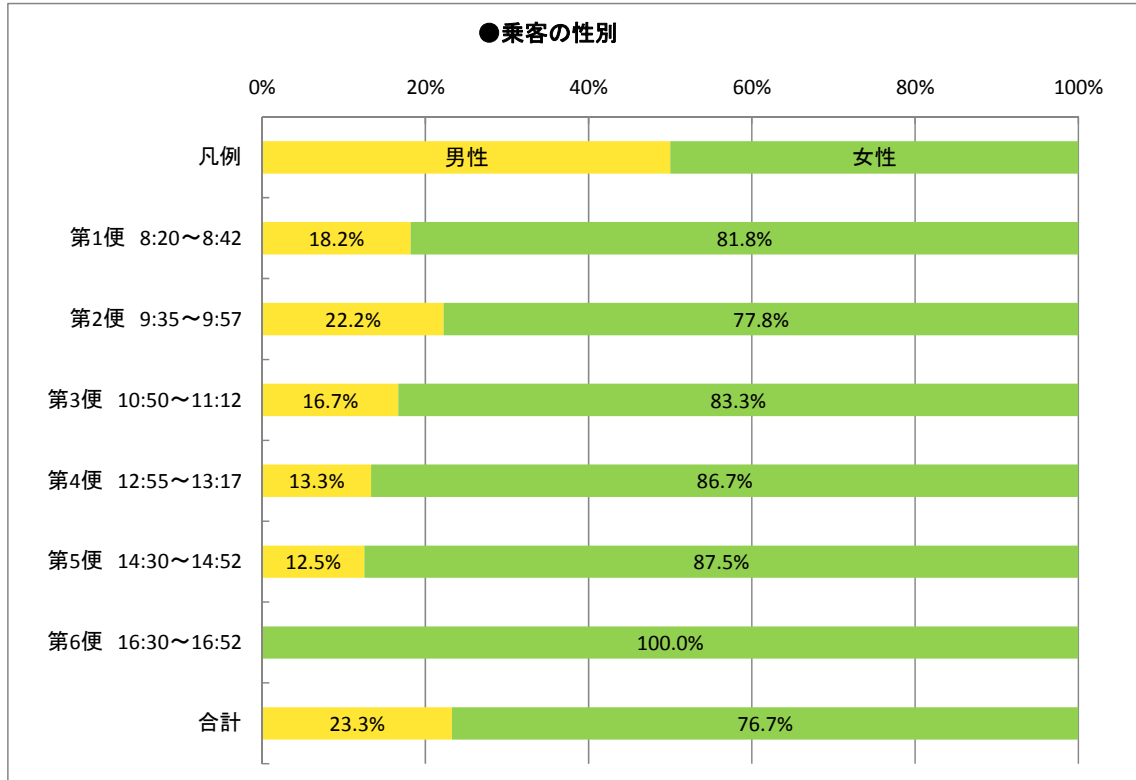


図 便別の性別

#### ⑤停留所間移動の状況

停留所間移動の状況は、「5. 水産試験場」と「14. 黒川 12 丁目」の地域間が 8 人で最も多く、次いで「3. 富沢 8 丁目」と「9. 余市駅前十字街」、「9. 余市駅前十字街」と「21. 余市協会病院」、「10. 余市駅前」と「21. 余市協会病院」、「14. 黒川 12 丁目」と「21. 余市協会病院」の 4 地域間が 5 人となっています。

バス路線を改めて検討する場合は、停留所間利用の多い区間を基本とした路線設定についての検討が必要です。また、利用が少ない地域についてバス利用率を高めていく方法を検討することが必要です。

#### ⑥区間人数及び停留所乗降人数

往路は、「10. 余市駅前」から「14. 黒川 12 丁目」間の乗車密度が 5.0 以上となっています。復路は「7. 余市役場前」から「9. 余市駅前十字街」間、「11. 大川十字街」から「13. 大川 8 丁目」間の乗車密度が 5.0 以上となっています。

バス停留所の利用人数では、往路では「21. 余市協会病院」が 22 人で最も多く、次いで「14. 黒川 12 丁目」が 9 人となっています。「16. 西黒川」は、バス停留所で唯一利用がない状況となっています。復路では、「14. 黒川 12 丁目」が 17 人で最も多く、次いで「21. 余市協会病院」が 16 人となっています。「1. 余市梅川車庫前」「2. 余市富沢町」「8. 余市宇宙記念館前」「12. 大川 6 丁目」「16. 西黒川」の 5 つのバス停留所は、利用がない状況となっています。

平成 30 年 9 月 11 日 (火)

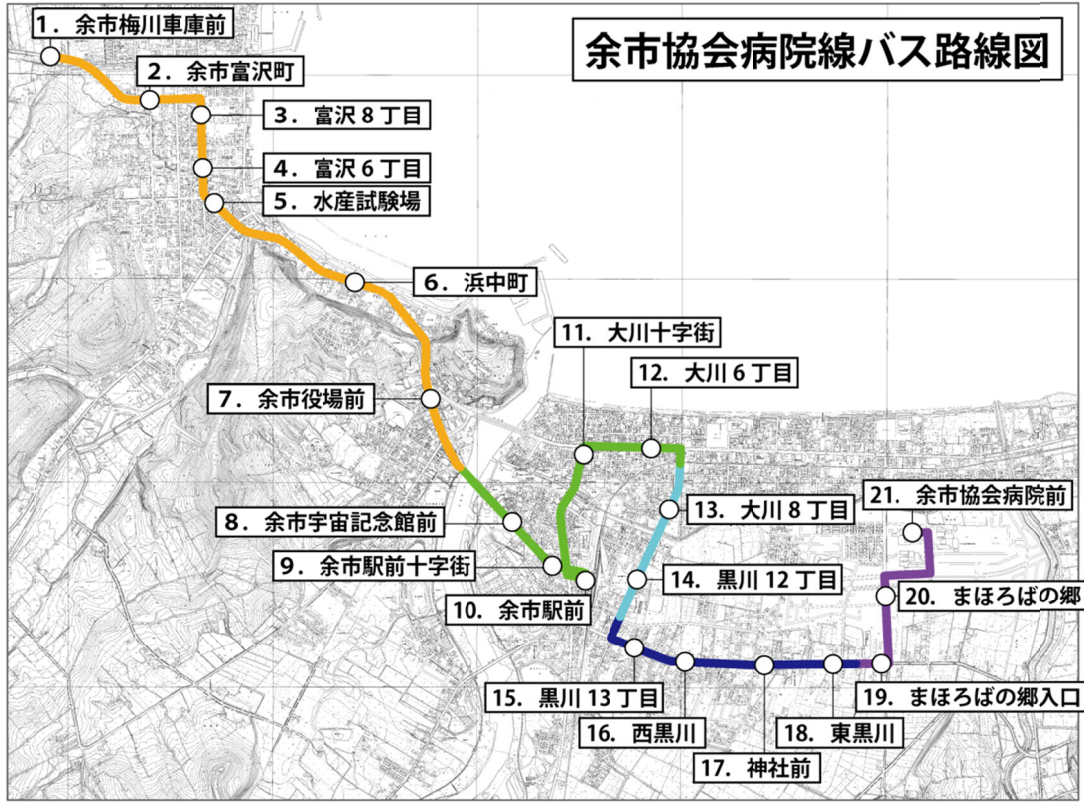
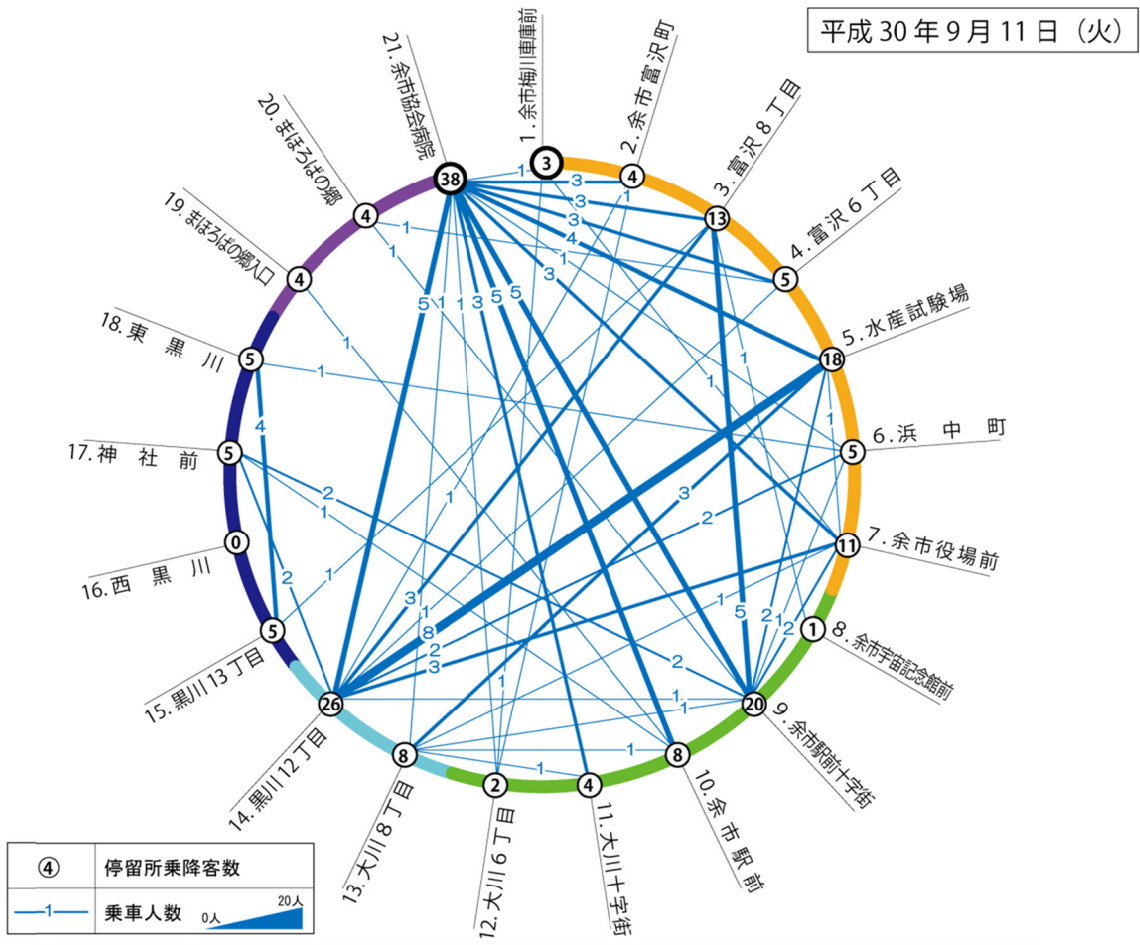


図 停留所間移動の状況



平成 30 年 9 月 11 日 (火)

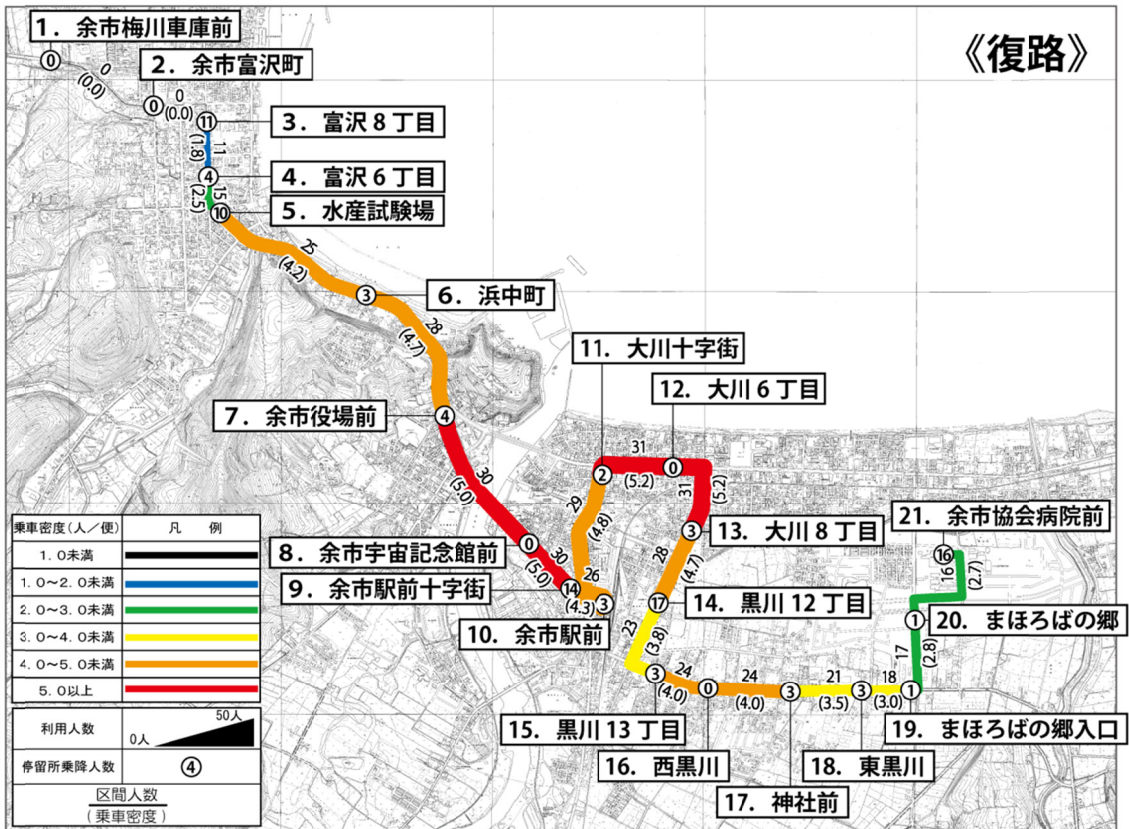
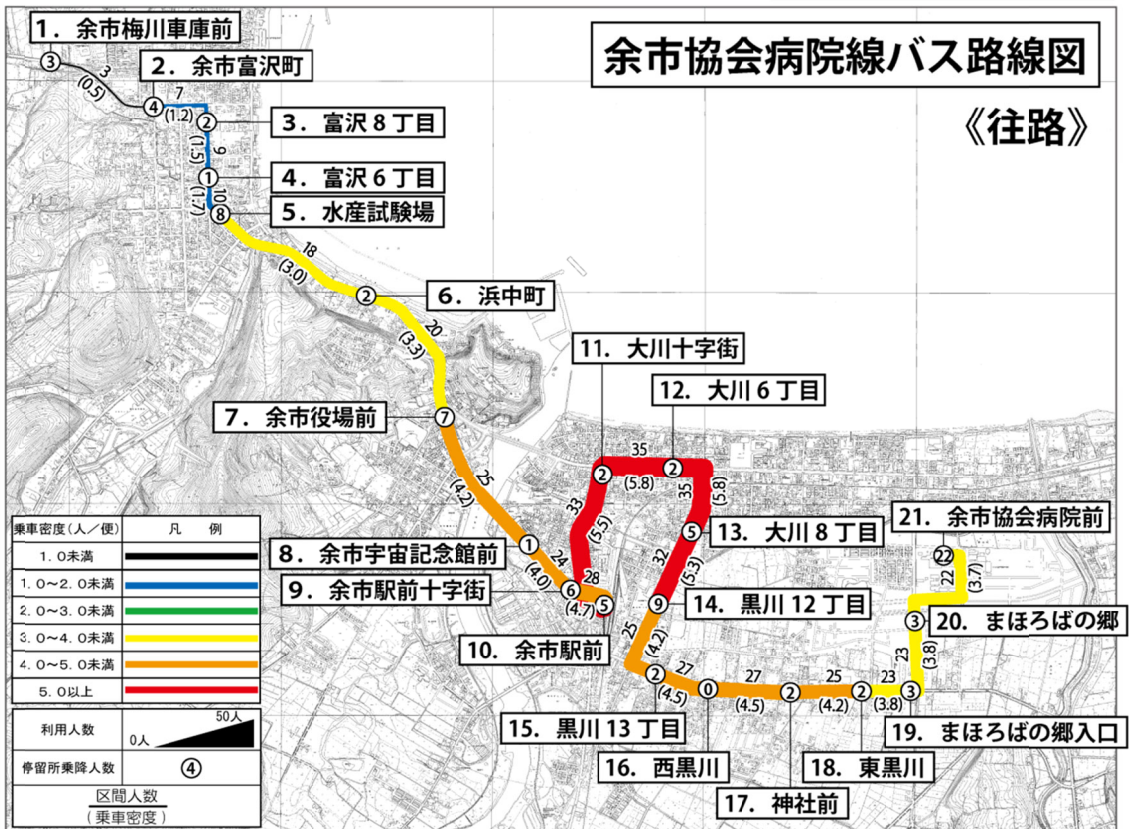


図 区間人数及び停留所乗降人数

## (2) 余市協会病院線バス乗降調査 2

### ①利用者数

「余市協会病院線」の梅川車庫前から協会病院前までの区間を対象に、9月20日（木）に乗降調査を実施しました。利用者数は、「往路」が61人、「復路」が53人となっており、合計で114人の利用が確認できました。

114人に対し9月11日に実施した乗降調査での利用人数が22人少ない理由は、北海道胆振東部地震に伴う停電による影響の可能性があります。

表 バス利用人数

バス路線	利用者数
往路	61
復路	53
合計	114

### ②時間別利用者数

#### 【「往路」時間別利用者数】

「往路」は、8：20発の第1便から16：30発の第6便までの計6便を調査し、全便合計で61人が利用しています。

時間帯別にみると、午前中は9：35発の20人が最多となっており、8：20発も15人と利用が多くなっています。午後は14：30発の8人が最多となっており、以降は利用者数が少なくなっています。

往路は8：20発と9：35発の第2便までの利用がピークとなっており、この時間帯を中心に利用しやすい形態としていくことが必要です。

#### 【「復路」時間別利用者数】

「復路」は、8：50発の第1便から17：00発の第6便までの計6便を調査し、全便合計で53人が利用しています。往路の利用者数の合計は61人となっており、往路と復路での利用者数にはほとんど違いがありません。

時間帯別にみると、午前中は11：20発の16人が最多となっており、10：05発も8人と利用が多くなっています。午後は15：00発と17：00発の9人が最多となっており、遅い時間帯でも利用者数が変わらないことが特徴となっています。

復路は11：20発の第3便の利用がピークとなっており、この時間帯を中心に利用しやすい形態としていくことが必要です。

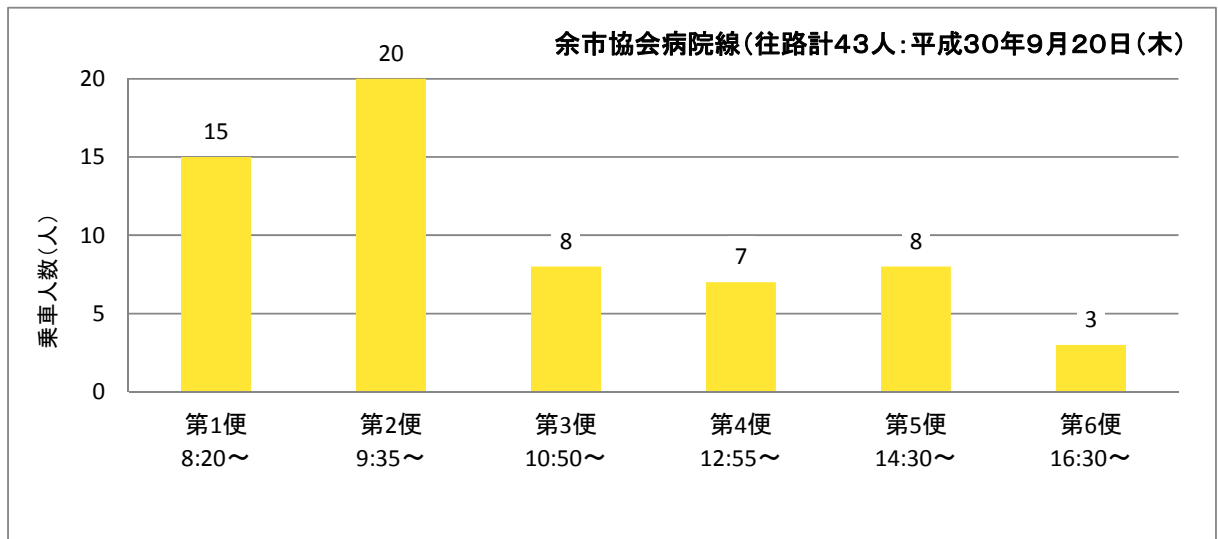


図 余市協会病院線往路の時間別利用者数

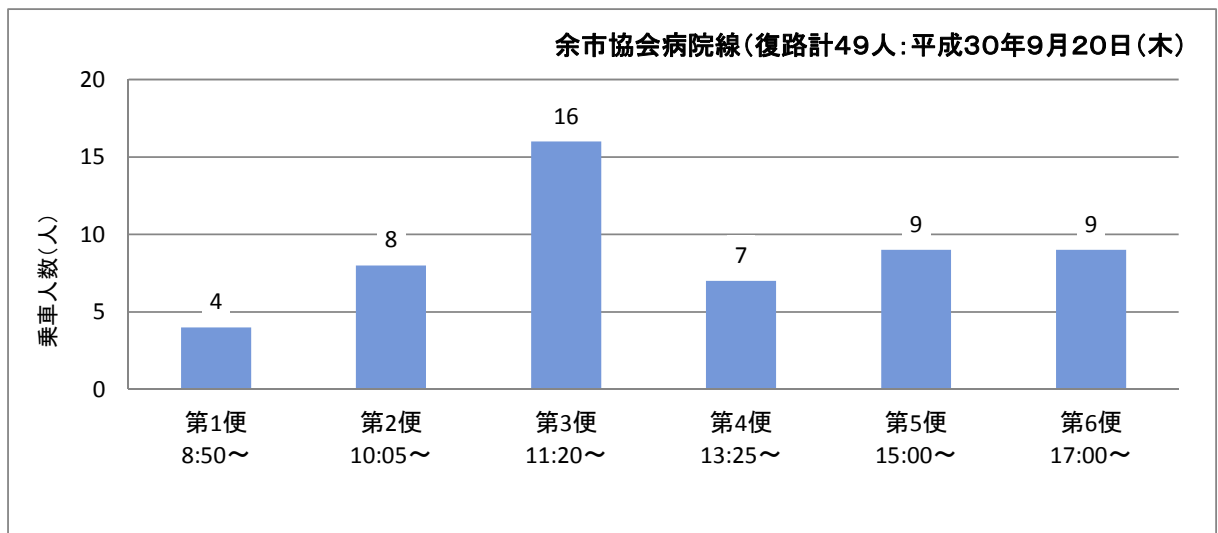


図 余市協会病院線復路の時間別利用者数

### ③年齢別利用者数

バス利用者の年齢階層を調査員の見た目集計すると以下のとおりになります。なお、年齢階層は、「子供」「小・中学生」「高校生」及び「高齢者」と、これ以外の一般の方を「大人」として区分しました。

利用者の年齢階層は、「大人」による利用は、第6便の16:30発が58.3%で最も多くなっています。残りの5便は全て「高齢者」の利用が大半を占め、特に第5便の14:30発では88.2%と大半を占めています。

「高校生」の利用は第1便の8:20発で5.3%、第3便の10:50発で4.2%、「子供」の利用は第5便の14:30発で5.9%ありますが、それ以外は「子供」「小・中学生」「高校生」の利用はなく、登下校での利用はほとんどない状況です。

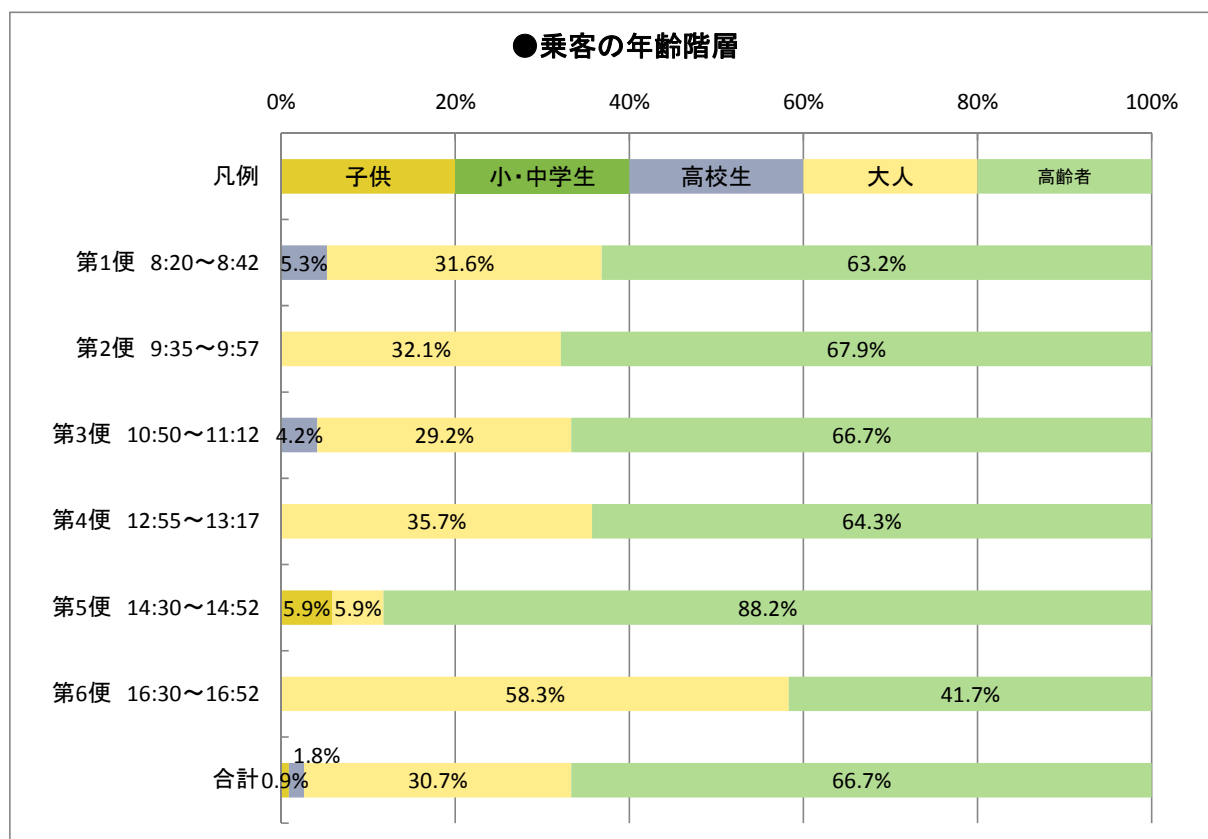


図 便別の利用年齢階層

#### ④男女別利用者数

利用者の性別は、全ての便で「女性」の割合が多く、合計では82.0%を占めています。

16：30発の第6便では「女性」の利用が100%となっており、残りの5便も7～9割程度を女性が占める状況となっています。

「男性」の利用が最も多いのは、8：20発の第1便で26.3%となっており、全体的に男性の利用が少ない状況となっています。

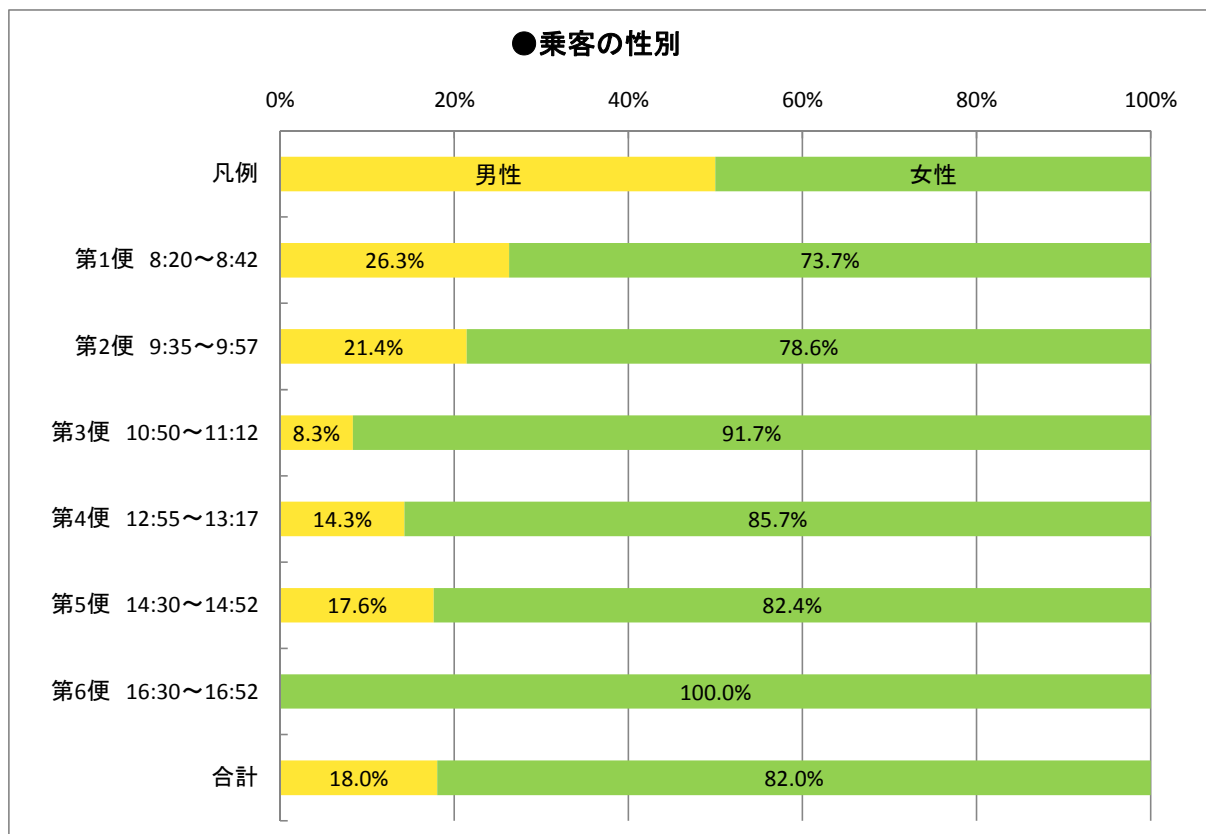


図 便別の性別

#### ⑤停留所間移動の状況

停留所間移動の状況は、「14. 黒川 12 丁目」と「21. 余市協会病院」の地域間が 11 人で最も多く、次いで「5. 水産試験場」と「14. 黒川 12 丁目」の地域間が 10 人、「10. 余市駅前」と「21. 余市協会病院」の地域間が 8 人となっています。

バス路線を改めて検討する場合は、地域間利用の多い区間を基本とした路線設定についての検討が必要です。また、利用が少ない地域についてバス利用率を高めていく方法を検討することが必要です。

#### ⑥区間人数及び停留所乗降人数

往路は、「7. 余市役場前」から「17. 神社前」間、「18. 東黒川」から「19. まほろばの郷入口」間の乗車密度が 5.0 以上となっています。復路は「5. 水産試験場」から「14. 黒川 12 丁目」間の乗車密度が 5.0 以上となっています。

バス停留所の利用人数では、往路では「21. 余市協会病院」が 28 人で最も多く、次いで「5. 水産試験場」と「14. 黒川 12 丁目」が 12 人となっています。「19. まほろばの郷入口」は、バス停留所で唯一利用がない状況となっています。復路では、「14. 黒川 12 丁目」が 26 人で最も多く、次いで「21. 余市協会病院」が 22 人となっています。「8. 余市宇宙記念館前」「17. 神社前」「19. まほろばの郷入口」の 3 つのバス停留所は、利用がない状況となっています。



平成 30 年 9 月 20 日 (木)

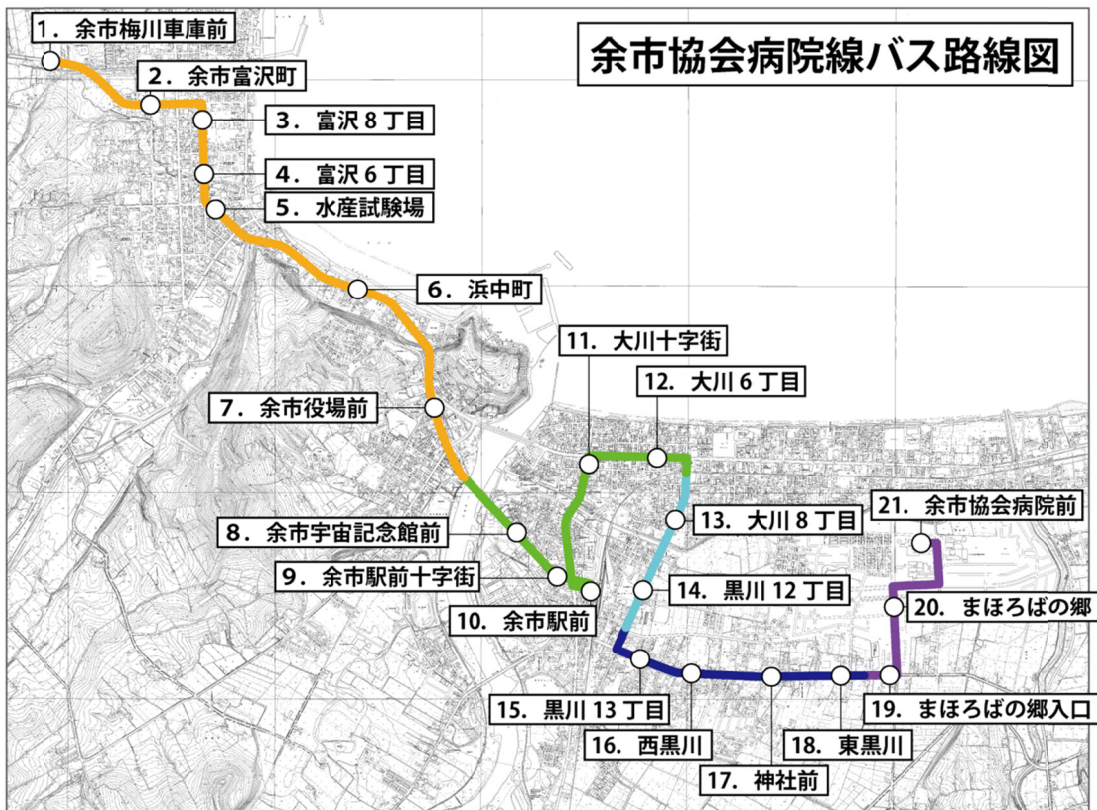
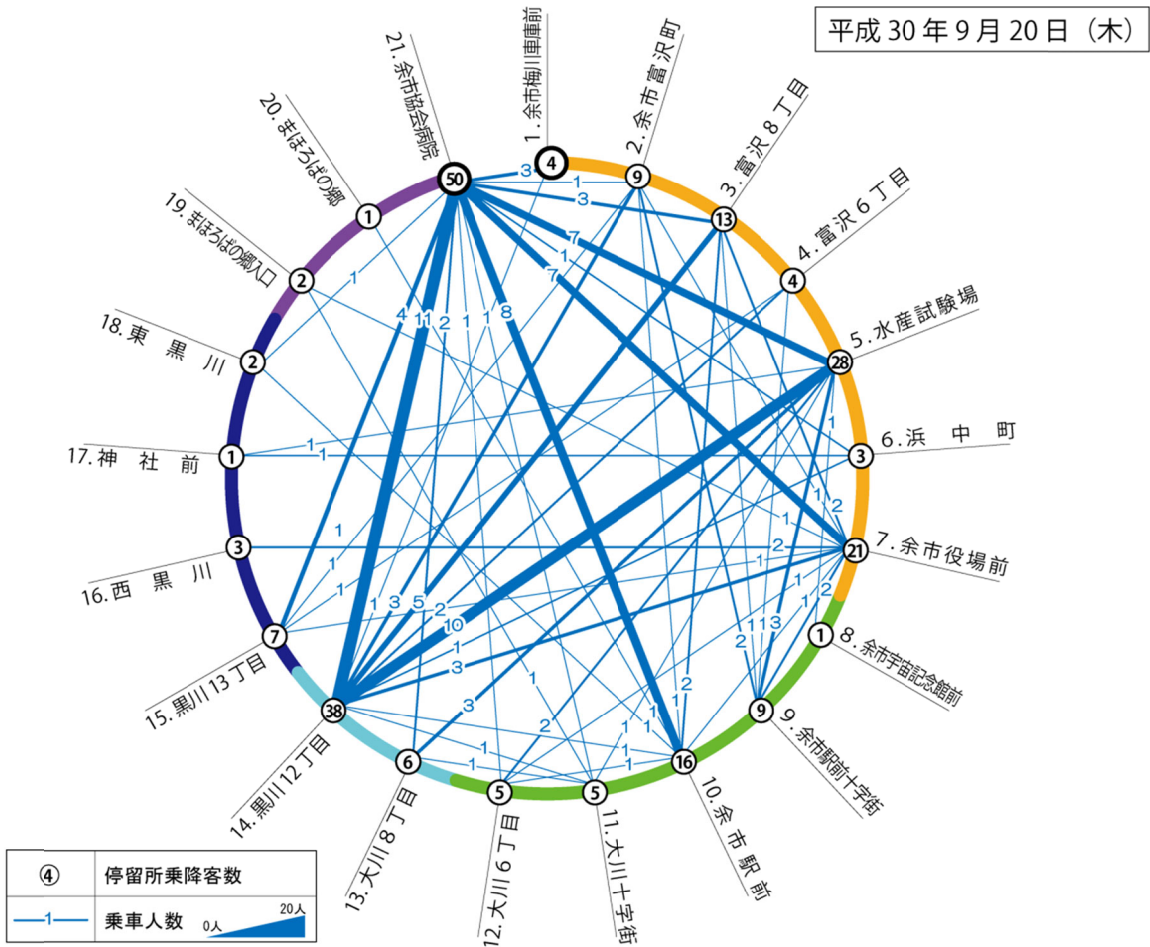


図 停留所間移動の状況

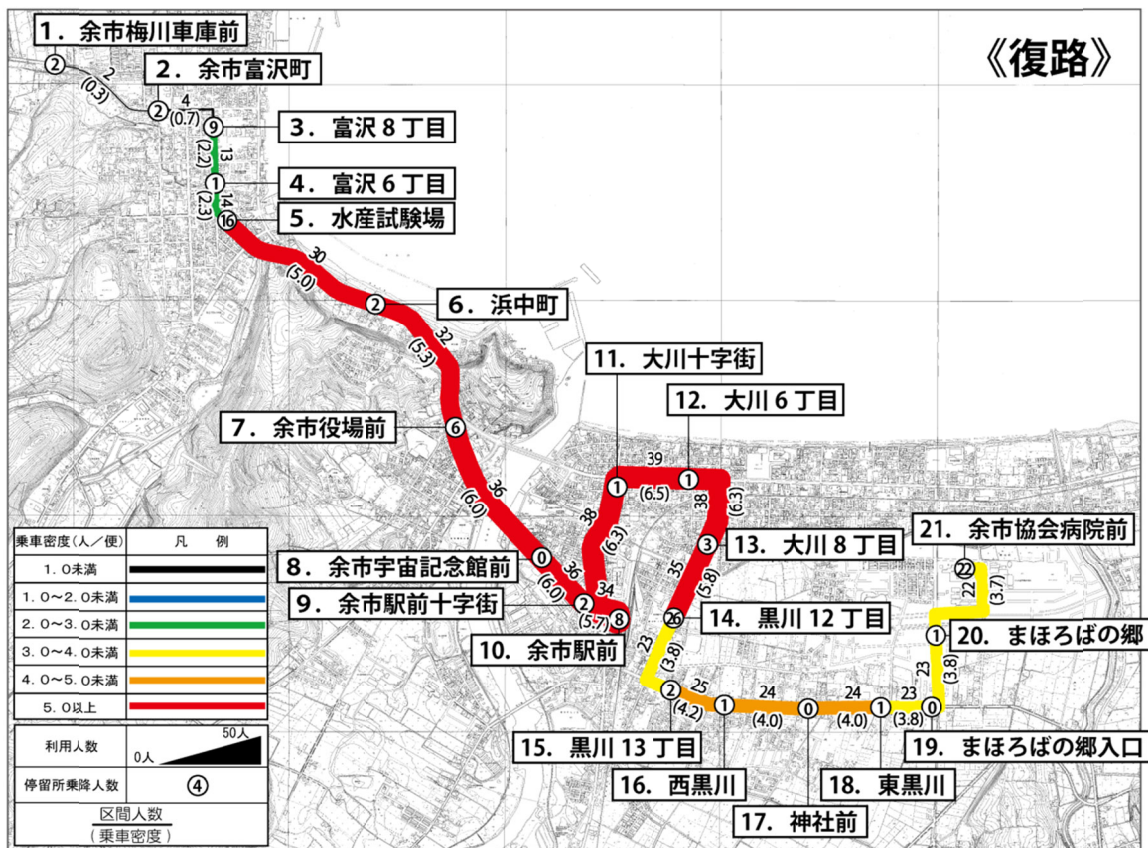
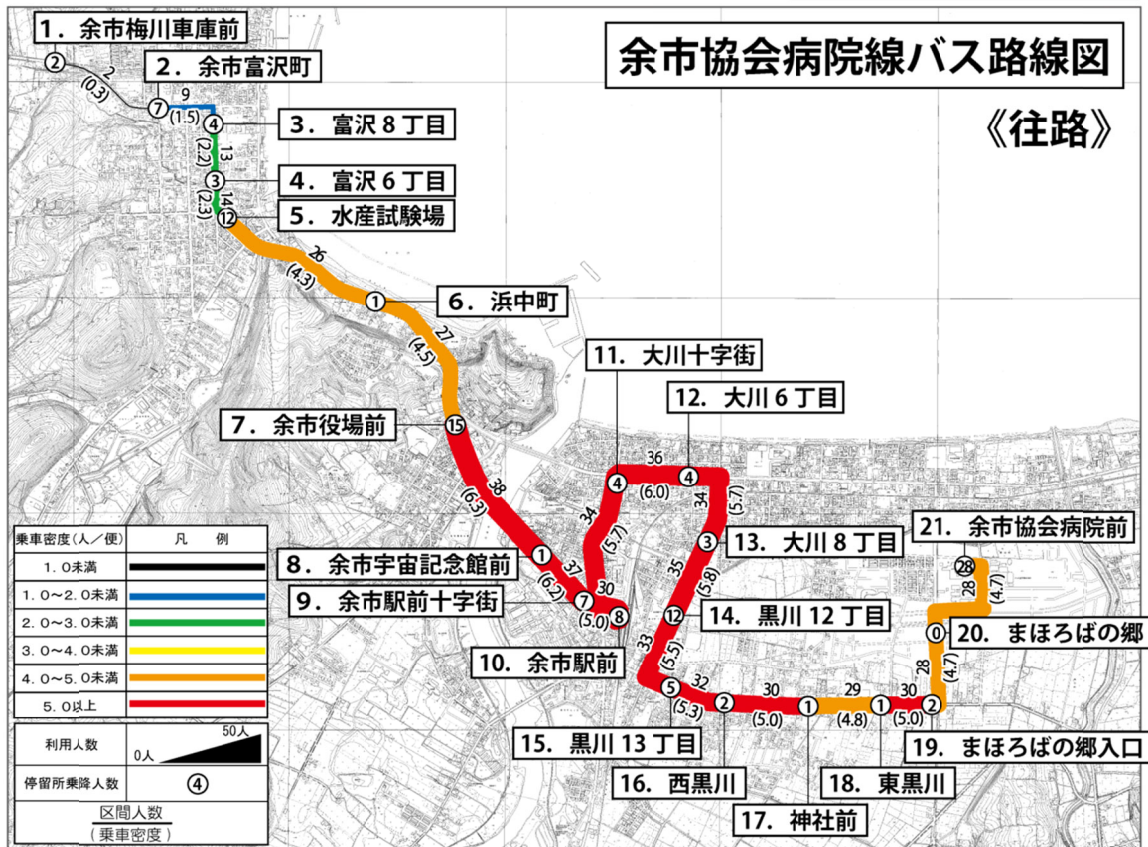


図 区間人数及び停留所乗降人数



### (3) 余市協会病院線意識調査

#### ①アンケート配布回収数

乗降者数調査とあわせて、「余市協会病院線」の梅川車庫前から協会病院前までの区間を対象に、アンケート調査を実施しました。利用者数は、9月11日（火）が92人、9月20日（木）が114人、合計で206人となっており、そのうち104人にアンケートを配布回収することができました。アンケートの回収率は、50.5%となっています。

表 アンケート配布回収結果

項目	利用者数	率
輸送人数	206	100.0%
アンケート人数	104	50.5%

#### ②お住まい

お住まいは、「黒川町」が22人で最も多く、続いて「富沢町」が21人、「大川町」が13人、「町外」が10人となっています。

表 お住まい

項目	件数	構成比
1. 栄町	1	1.0%
2. 登町	1	1.0%
3. 大川町	13	12.5%
4. 黒川町	22	21.2%
5. 入舟町	3	2.9%
6. 浜中町	4	3.8%
7. 美園町	3	2.9%
8. 朝日町	0	0.0%
9. 山田町	0	0.0%
10. 沢町	9	8.7%
11. 富沢町	21	20.2%
12. 港町	4	3.8%
13. 梅川町	8	7.7%
14. 豊丘町	0	0.0%
15. 白岩町	0	0.0%
16. 潮見町	0	0.0%
17. 豊浜町	0	0.0%
18. 町外	10	9.6%
不明	5	4.8%
合計	104	100.0%

### ③利用頻度

余市協会病院線の利用頻度は、合計では「週に数日」が 52.9%で最も多く、「月に数日」が 36.5%となっています。第5便は「週に数日」と「月に数日」がともに 46.7%で同じ割合になっていますが、その他の便は全て「週に数日」が最も多くなっています。第6便は 66.7%、第1便は 62.5%と、6割を超えています。「年に数日」は第2便で 20.0%、第1便で 12.5%となっていますが、合計では 7.7%とほとんどいない状況です。

「週に数日」の具体的な日数をみると、「2日」が 11、「3日」が 10 と多くなっています。「月に数日」は、「1日」が 24 で大半を占めています。

総じて、余市協会病院線の利用頻度は、「週に2～3日」が最も多いといえます。

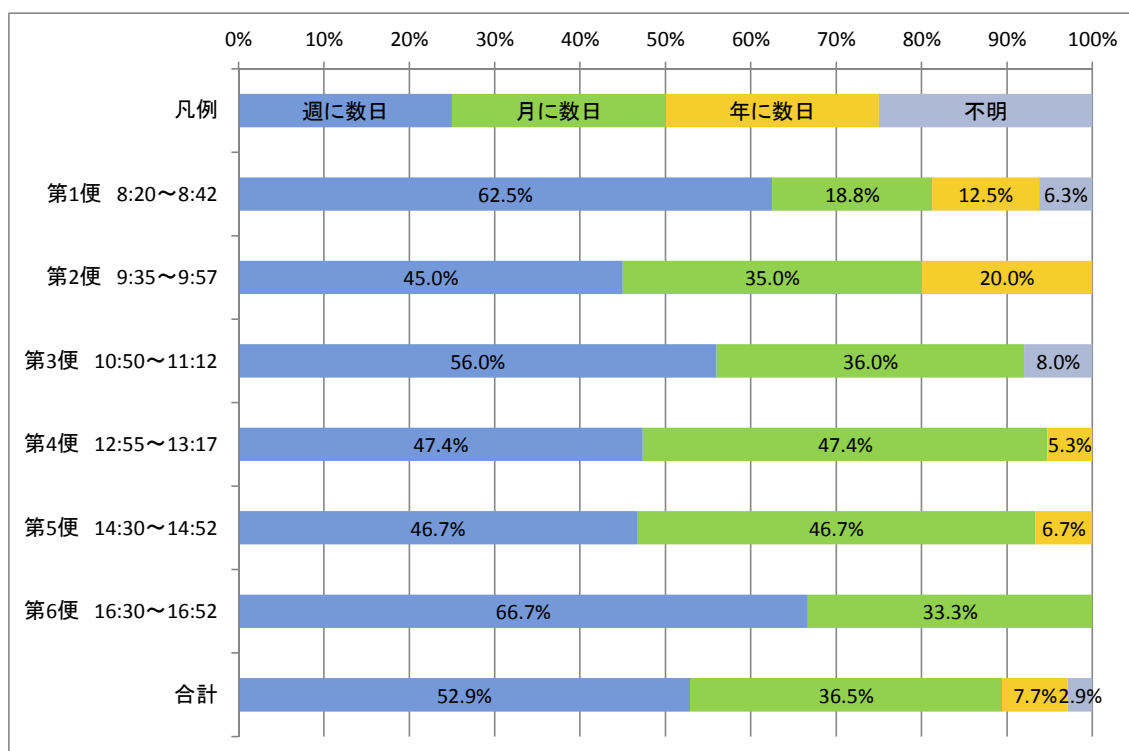


図 余市協会病院線の利用頻度

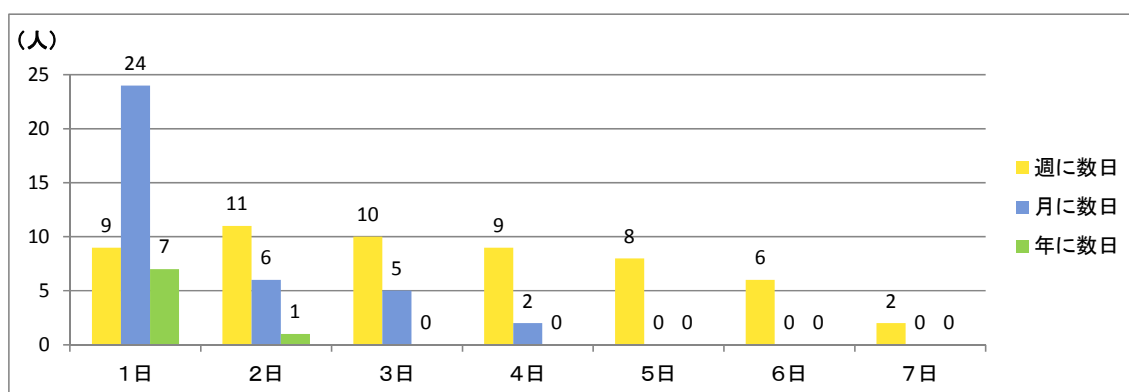


図 数日の具体的な日数

#### ④行き・帰りの利用割合

余市協会病院線の利用が行きと帰りのどちらだったのかをみると、合計では「行き」が59.6%、「帰り」が38.5%で、行きが多くなっています。

「行き」の利用が多いのは、第1便で100%となっており、第2便も65.0%と朝の時間帯となっています。「帰り」の利用が多いのは、第5便で66.7%、第6便で55.6%と夕方時間帯となっています。

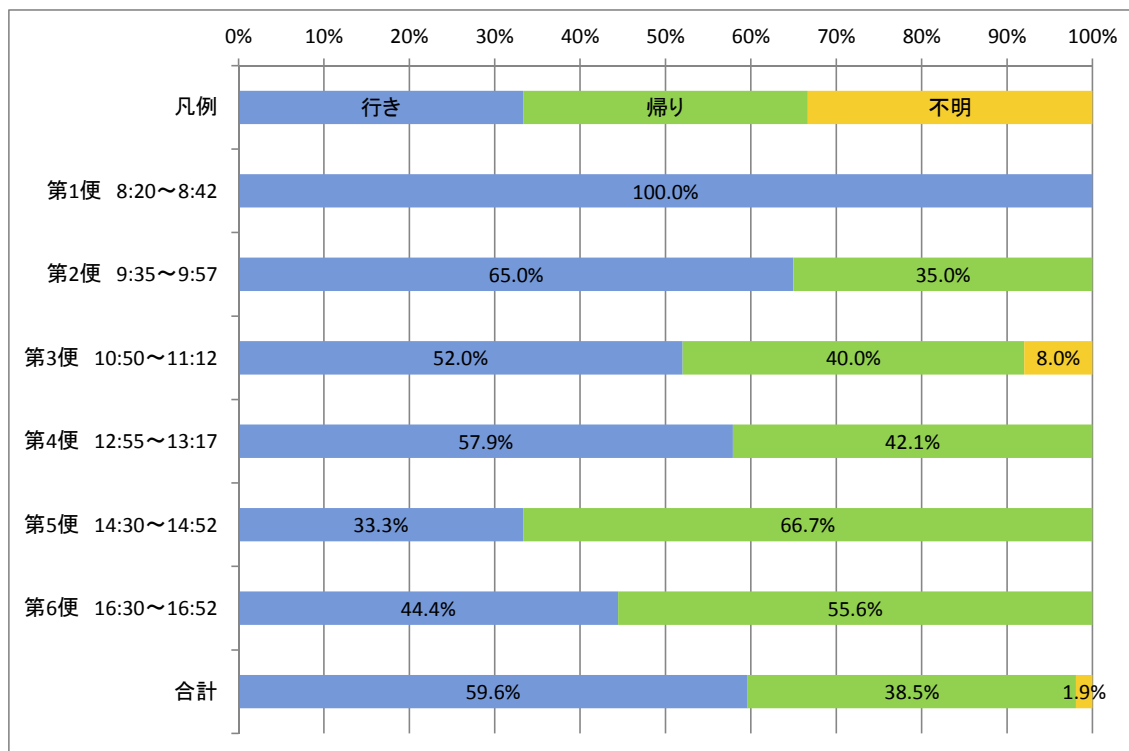


図 行き・帰りの利用割合

### ⑤外出目的

余市協会病院線利用者の外出目的をみると、合計では「通院・治療」が40.4%で最も多く、次いで「買物」が27.9%となっています。

「通院・治療」が最も多いのは、第2便で60.0%となっており、第3便は44.0%、第4便は47.4%、第5便は40.0%と、各便で最多となっています。

第1便では「通勤・通学」が43.8%で最も多く、第6便では「通勤・通学」と「買物」がそれぞれ44.4%で最も多くなっています。「飲食・趣味活動等」は、第5便で13.3%となっていますがその他の便では確認できず、ほとんど利用がない状況です。

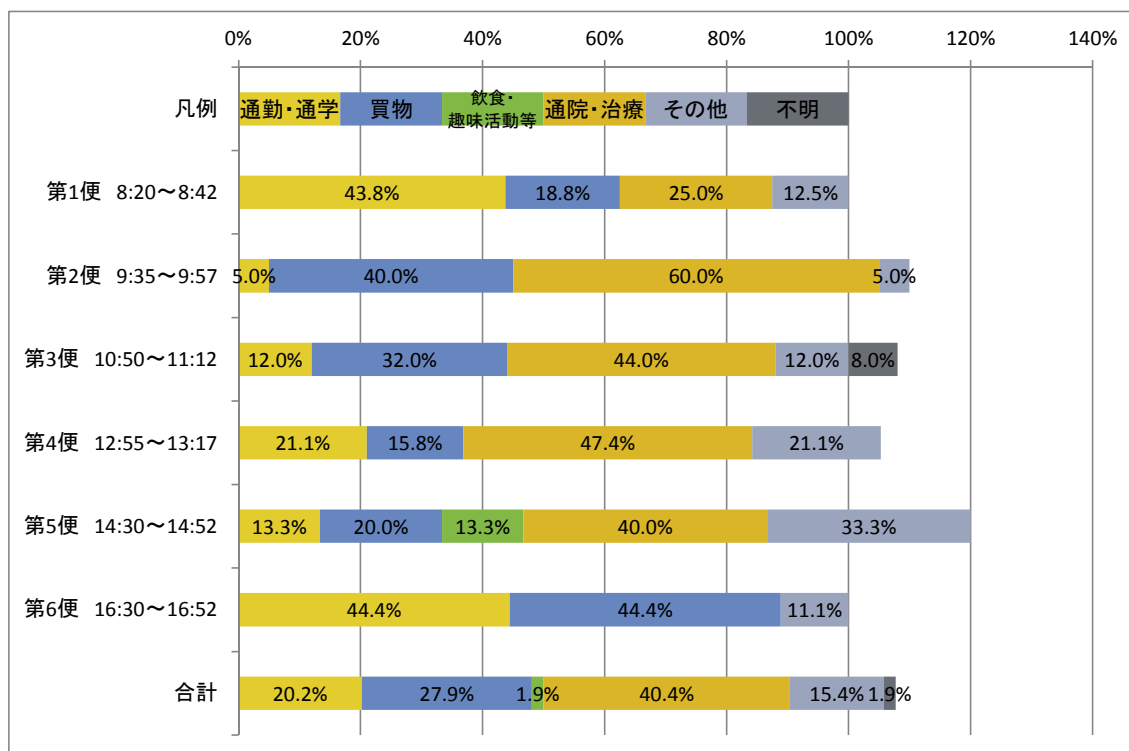


図 外出目的

## ⑥外出先

余市協会病院線を利用して行った施設をみると、「余市協会病院」が35人で最も多く、次いで「コープさっぽろ余市店」が19人、「イオン余市店」が9人、「フルーツ・シャトーよいち」が6人となっています。通院・治療で行くのが余市協会病院とフルーツ・シャトーよいち、買物で行くのがコープさっぽろ余市店とイオン余市店であることが整理できます。

「その他」は30人となっており、内容としては「会社」が8と通勤で利用する割合が多くなっています。

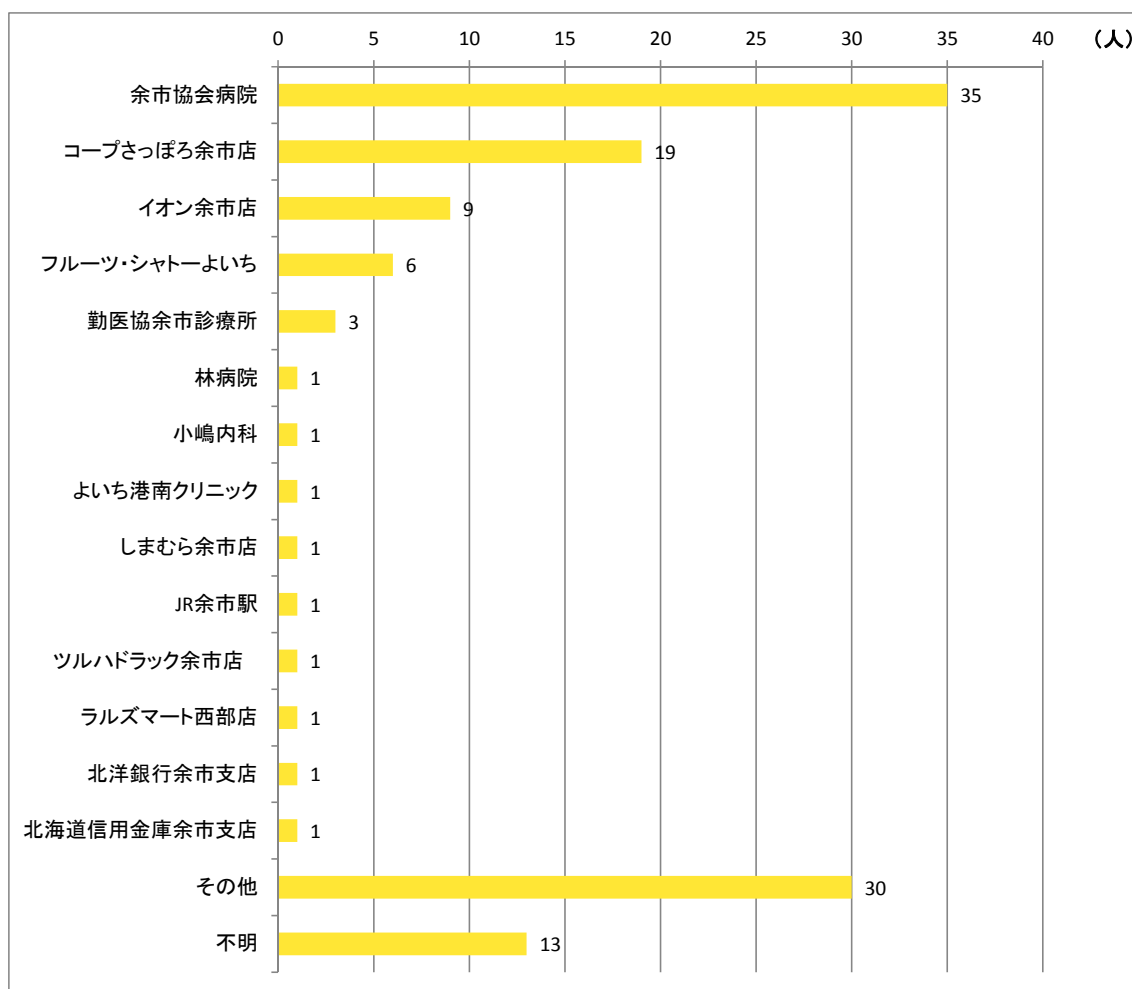


図 外出先

### ⑦余市協会病院線の評価

余市協会病院線の評価をみると、「改善を希望する」が54.8%で最も多く、「現状維持を希望する」の37.5%を上回っています。

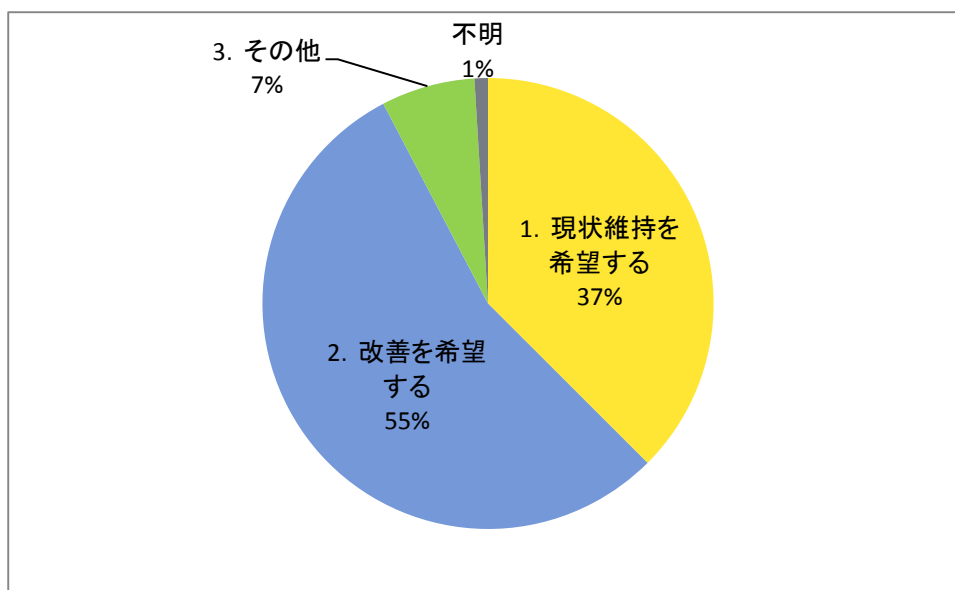


図 余市協会病院線の評価

### ⑧余市協会病院線の改善内容

改善を希望すると回答した方にどのようなことを改善すべきか聞いたところ、「増便」が27人で最も多くなっており、全体の6割程度を占めています。

「車両の仕様」が9、「停留所の待合い環境」が5人となっており、「運賃」については回答がありませんでした。

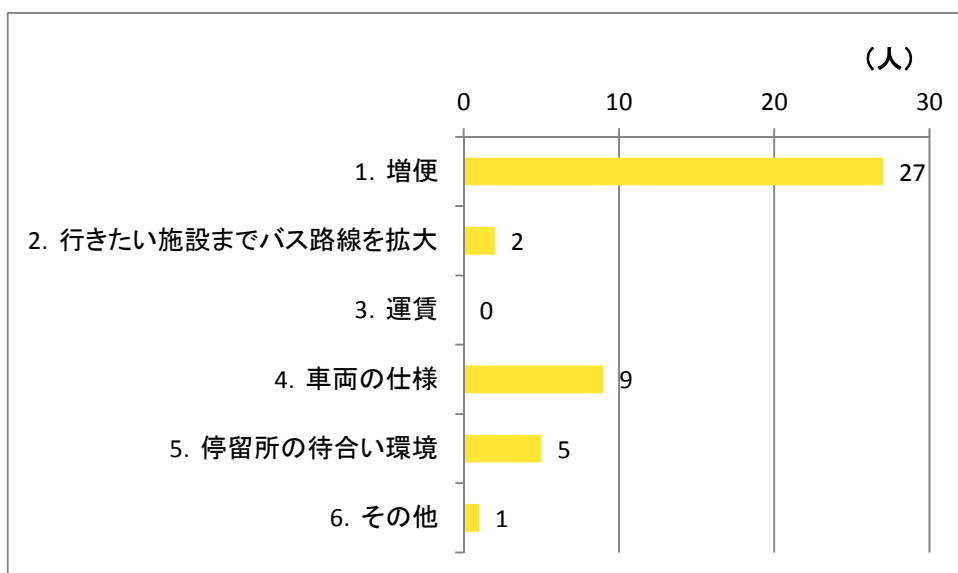


図 余市協会病院線の改善内容

### ⑨増便に関する内容

増便に関する内容として、どの時間帯のバスを増やすとよいかを意見から整理したところ、「12時台」が9人と最も多く、次いで「16時台」が8人となっています。朝の通勤・通学の時間帯に関してはあまり意見が出ておらず、「7時台」が5人、「8時台」が1人となっています。

昼の時間帯は、復路（帰り）のバスが混雑している状況にあり、問題を解決するための検討が必要と考えられます。

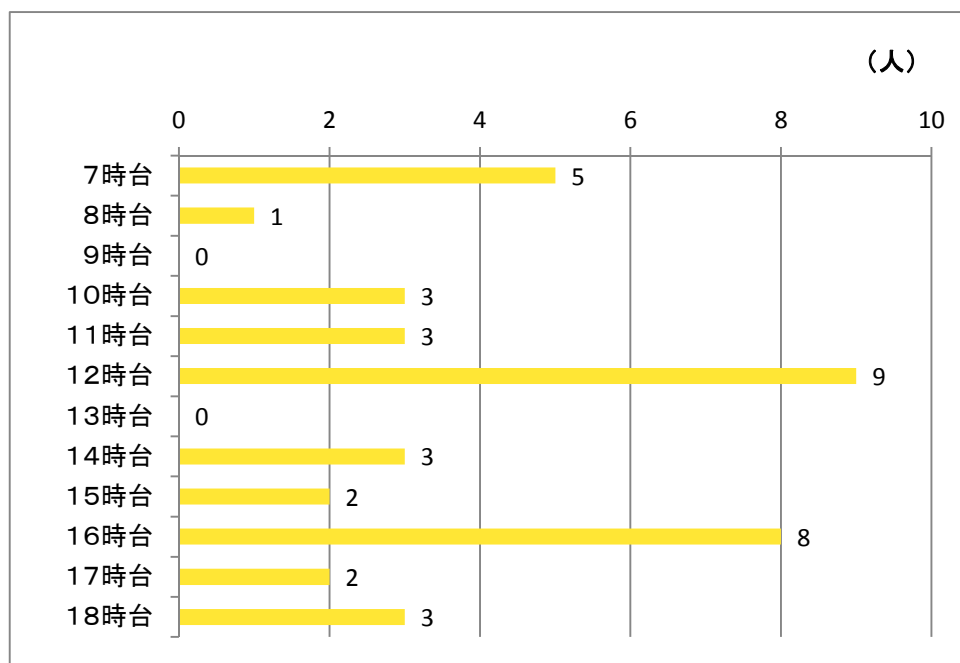


図 増便する時間帯

### ⑩バス路線の拡大に関する内容

行きたい施設までバス路線を拡大に関する内容では、行きたい施設として「フルーツ・シャトーよいち」と「ケーズデンキ」の2施設があげられています。

表 バス路線の拡大に関する内容

・フルーツ・シャトーよいちへの停留所の設置
・ケーズデンキへの停留所の設置

### ⑪車両の仕様に関する内容

バス車両の仕様に関する内容としては、「小さくてよい」が10人、「段差を低く」が6人となっており、コンパクトで低床型の車両が求められています。

表 バス車両の仕様に関する内容

項目	件数
小さくて良い	10
段差を低く	6
合計	16

### ⑫停留所の待合い環境に関する内容

停留所の待合い環境に関する内容としては、「ベンチ」が6人で最も多く、次いで「日よけ」が4人となっています。

表 停留所の待合い環境に関する内容

項目	件数
ベンチ	6
日よけ	4
バス運行案内	0
その他	1
合計	11

### ⑬その他の内容

その他の内容では、16人の意見が得られています。

表 その他の内容

・コミュニティバスは3年もあればできるはず。
・病院の受付の仕事に使う時間（7時台）に運行して欲しい。
・便数が少なく、冬はタクシーを使わざるを得ない。
・主人が免許返納した。運行するだけありがたい。
・運行してもらっているが、空いている席が多くて申し訳ない。
・朝と夕方はちょうどいい時間に運行してもらっている。
・余市駅前十字街と大川十字街との間（余市駅方向）に停留所を追加してほしい。
・協会病院線なので高速バスのステップが高い車両は避けて欲しい。
・バス車内に時計が欲しい。公民館前に停留所が欲しい。高速バスの車両だと座席を立たないと停車ボタンが押せない。
・協会病院線は、沿線に病院が沢山立地するバス路線なので、予算をしっかりとって運行を維持して欲しい。
・沢町は不便。お買い物バスあれば良い。
・冬に10分待つの大変。同じ町内でも差がある。
・大川十字街はなぜ郵便局になったのか？公民館の近く、小樽線と同じ。
・余市高校・豊丘町までハイヤーだと2,000円かかる。
・自宅から停留所が遠い。
・ゴミひどい（ゴミ箱置くべき）。



### 3. ハイヤー・タクシー利用実態調査

#### (1) 時間帯別利用回数

ハイヤー・タクシー会社に協力してもらい1週間の利用実態について調査したところ、時間帯別の平均利用回数では、平日は「13時台」が2.7回で最も多く、続いて「11時台」と「14時台」が2.6回となっています。

土日祝日は「14時台」が2.1回で最も多く、続いて「12時台」と「19時台」が2.0回となっています。その他の時間帯は、2.0回を下回っており、19時台を除いた全ての時間帯で平日よりも利用回数が少なくなっています。

1週間の平均では「14時台」が2.4回で最も多く、続いて「11時台」と「13時台」が2.3回となっており、昼の時間帯の利用が多くなっています。

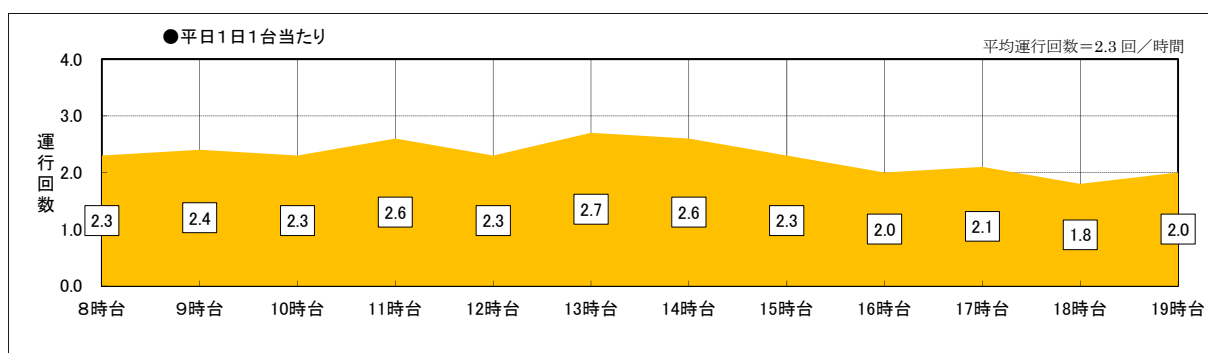


図 1 台当たり時間帯別平均運行回数（平日）

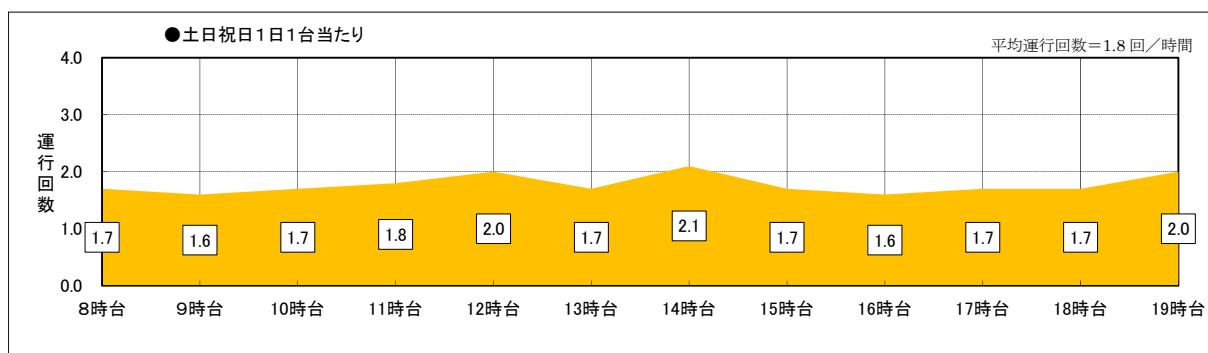


図 1 台当たり時間帯別平均運行回数（土日祝日）

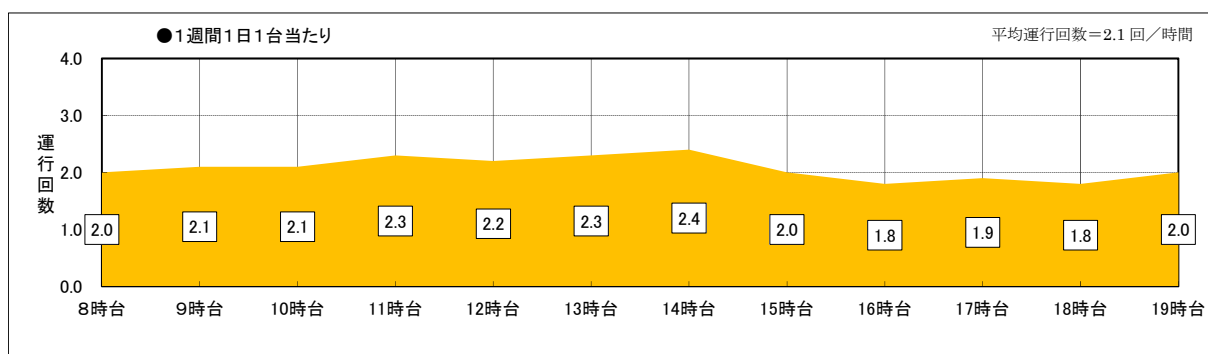


図 1 台当たり時間帯別平均運行回数（合計）

(2) 時間帯別平均所要時間

時間帯別の平均所要時間（1時間当たりの運行割合）では、平日は「12時台」と「13時台」が55.0%で最も高く、次いで「14時台」が53.3%となっています。

土日祝日は「14時台」が45.0%で最も高く、続いて「12時台」と「15時台」が43.3%となっています。19時台を除いた全ての時間帯で、平日よりも平均所要時間が低くなっています。

1週間の平均では「12時台」と「14時台」が50.0%で最も高く、次いで「13時台」が48.3%となっており、昼の時間帯の運行が多くなっています。

注) 所要時間×2(往復)を運行時間とした。

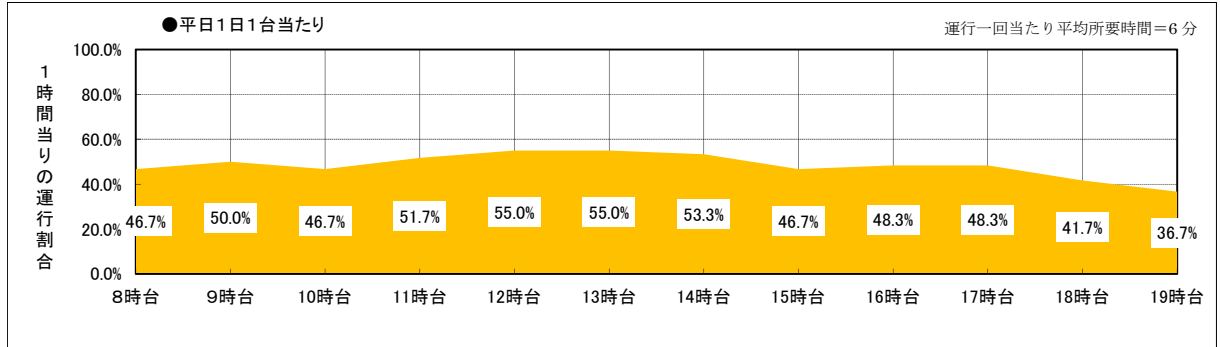


図 1 台当たり時間帯別平均運行時間（平日）

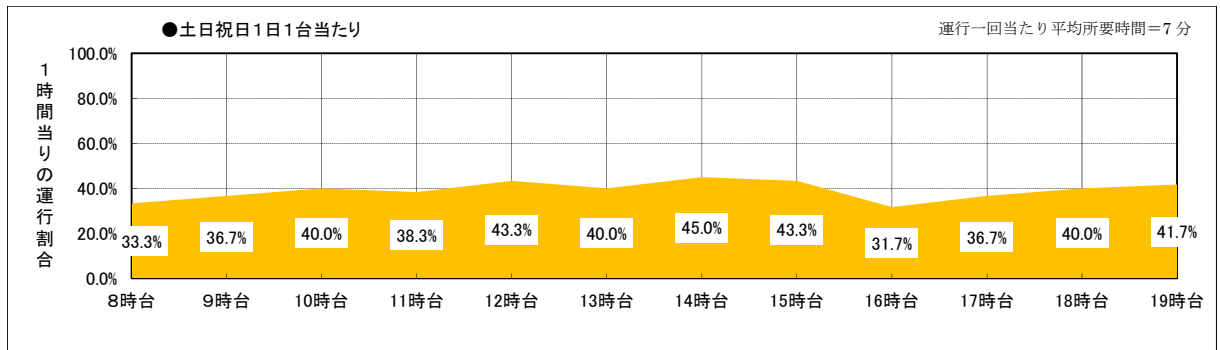


図 1 台当たり時間帯別平均運行時間（土日祝日）

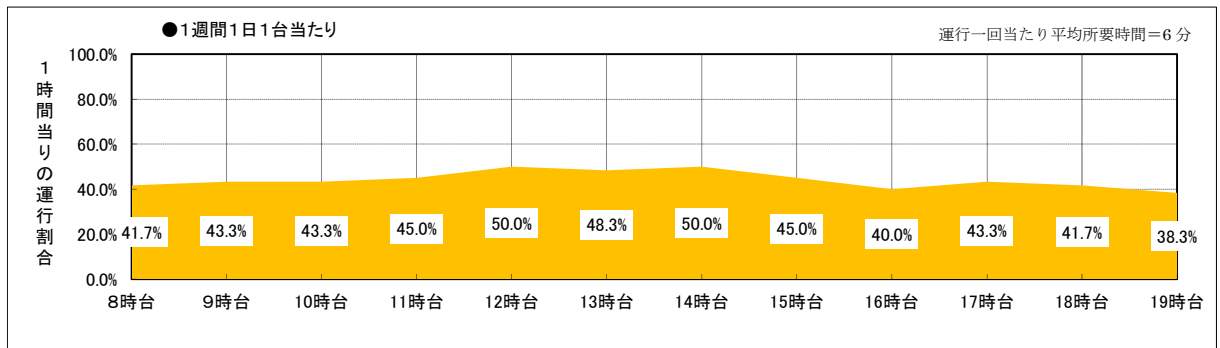


図 1 台当たり時間帯別平均運行時間（合計）

### (3) タクシー交通分布

タクシー利用者の出発地と到着地を整理すると、最も多い利用は出発地・到着地ともに「黒川町」で、黒川町内での移動が 656 台となっています。2 番目に利用が多かったのは、出発地が「黒川町」、到着地が「大川町」で 263 台、3 番目は出発地が「大川町」、到着地が「黒川町」で 202 台となっており、黒川町と大川町間の移動が合計で 465 台と頻繁になっています。その他で町間での移動が多く確認できたのは「黒川町・山田町間」が合計で 137 台、「黒川町・美園町間」が 127 台、「黒川町・栄町間」が 114 台となっています。

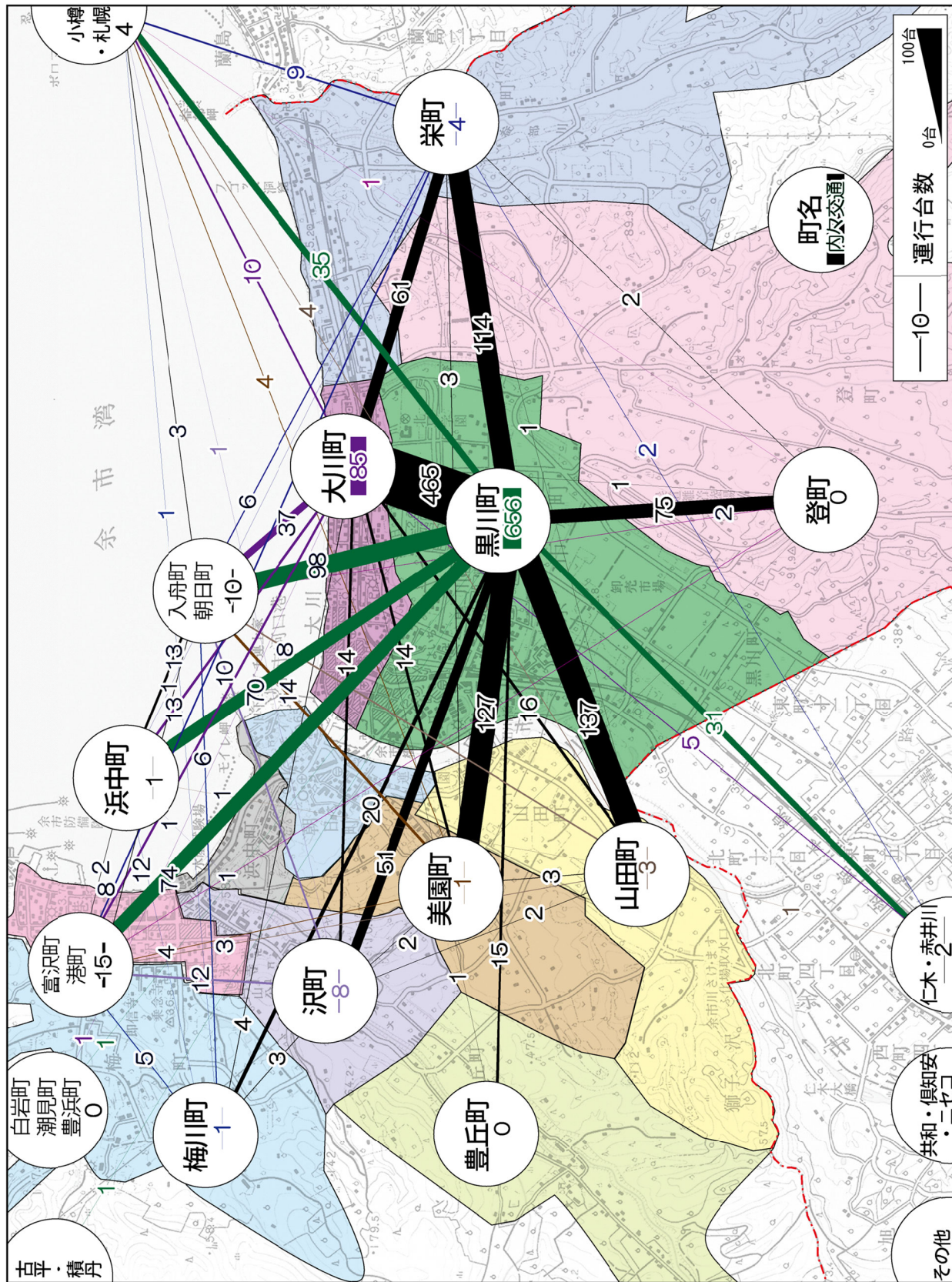
「黒川町」は、出発地となった利用が 1,445 台、到着地となった利用が 1,181 台と、ともに最も多くなっています。2 番目に多かったのは、出発地・到着地ともに「大川町」で合計が 824 台、3 番目は出発地・到着地ともに「栄町」で、合計が 215 台となっています。

余市町内でのタクシーの利用は、黒川町を中心に近距離での移動が大半となっており、郊外や近隣の市町村への移動にはあまり使われていないことがわかります。

表 運行台数OD表

D:到着地 O:出発地	入舟町・朝日町	浜中町	富沢町・港町	栄町	登町	大川町	黒川町	美園町	山田町	沢町	梅川町	豊丘町	白岩町・潮見町、 豊浜町	小樽・札幌	古平・積丹	仁木・赤井川	集中量計	発生集中量
入舟町・朝日町	10	9	3	2	2	17	35	7	6	5	3	0	0	2	0	0	101	221
浜中町	4	1	2	1	0	9	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	104
富沢町・港町	1	0	15	2	0	7	28	2	2	4	4	0	0	0	0	0	65	154
栄町	4	0	6	4	1	33	48	1	1	0	0	0	0	7	0	2	107	215
登町	0	0	0	1	0	0	32	0	0	1	0	0	0	1	0	0	35	82
大川町	20	4	5	28	1	85	202	11	6	9	2	0	0	7	0	4	384	824
黒川町	63	45	46	66	43	263	656	68	77	35	13	12	1	29	1	27	1,445	2,626
美園町	7	0	2	2	0	3	59	1	3	2	0	0	0	3	0	0	82	173
山田町	2	1	1	0	0	10	60	0	3	0	0	0	0	0	0	1	78	178
沢町	5	1	8	0	0	5	16	0	2	8	2	0	0	1	0	0	48	113
梅川町	3	1	1	0	0	2	7	0	0	1	1	0	0	0	0	0	16	42
豊丘町	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	16
白岩町・潮見町、 豊浜町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
小樽・札幌	1	0	0	2	0	3	6	1	0	0	1	0	0	4	0	0	18	72
古平・積丹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
仁木・赤井川	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	43
発生量計	120	62	89	108	47	440	1,181	91	100	65	26	12	1	54	1	36	2,433	4,866

図 タクシー交通分布図



#### (4) 町別の運行状況等

##### ①運行台数

タクシーの運行台数の町別での割合は、「黒川町」が 54.0%と余市町全体の半数以上を占めています。次いで「大川町」が 16.9%となっており、その他の町は 5%以下になっています。タクシーの運行や利用は、中心部に集中しているといえます。

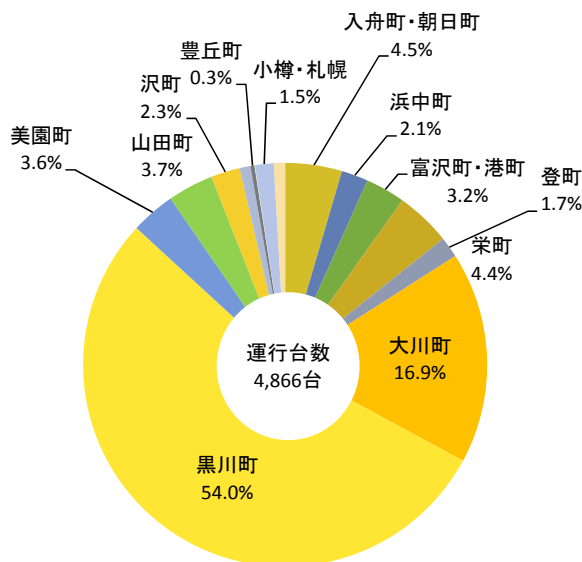


図 町別での運行台数の割合 (1運行当たり、発着で2カウント)

##### ②輸送人数

タクシーの輸送人数の町別での割合は、「黒川町」が 53.4%と余市町全体の半数以上を占めています。次いで「大川町」が 16.6%となっており、その他の町は 5%以下になっています。タクシーでの輸送は、中心部に集中しているといえます。

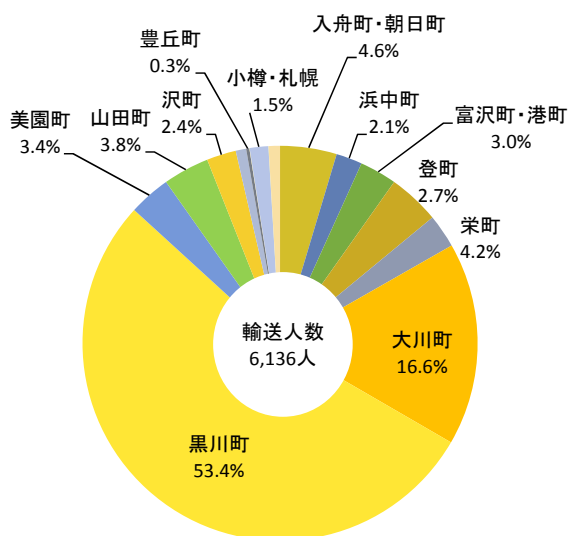


図 町別での輸送人数の割合 (1運行当たり、発着で2カウント)

### ③運賃収入

タクシーの運賃収入の町別での割合は、「黒川町」が 48.7%と余市町全体の半数程度を占めています。次いで「大川町」が 13.7%、「小樽・札幌」が 7.2%となっており、その他の町は 5%以下になっています。運賃収入は、利用が多い黒川町と大川町で多くなっていますが、輸送距離が長い小樽・札幌での収益が町内郊外よりも上回っていることが特徴といえます。

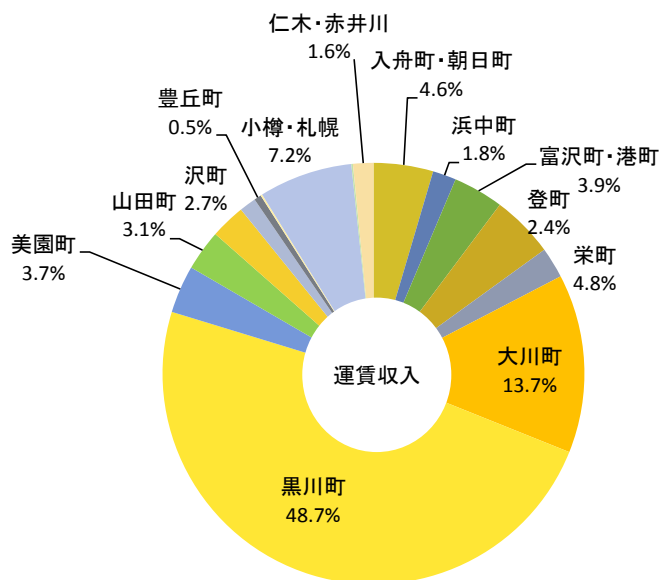


図 町別での運賃収入の割合 (1 運行当たり、発着で 2 カウント)



### (5) 公共・公益施設のアクセス回数

タクシーでの公共・公益施設へのアクセス回数では、最も多かったのは「JR余市駅」で282回となっています。行政施設では、余市駅以外の施設はタクシーでの利用がほとんどない状況です。次いで多かったのは「イオン余市店」で264回となっており、「コープさっぽろ余市店」も207回と、大型店・商店街の利用が多くなっています。医療・福祉施設では「余市協会病院」が136回で最も多くなっていますが、その他の病院での利用はあまり多くない状況です。

施設の用途としては、大型店・商店街、医療・福祉施設の2つが多く、大半の施設が黒川町に立地しているため、黒川町でのタクシー利用が多いと考えられます。

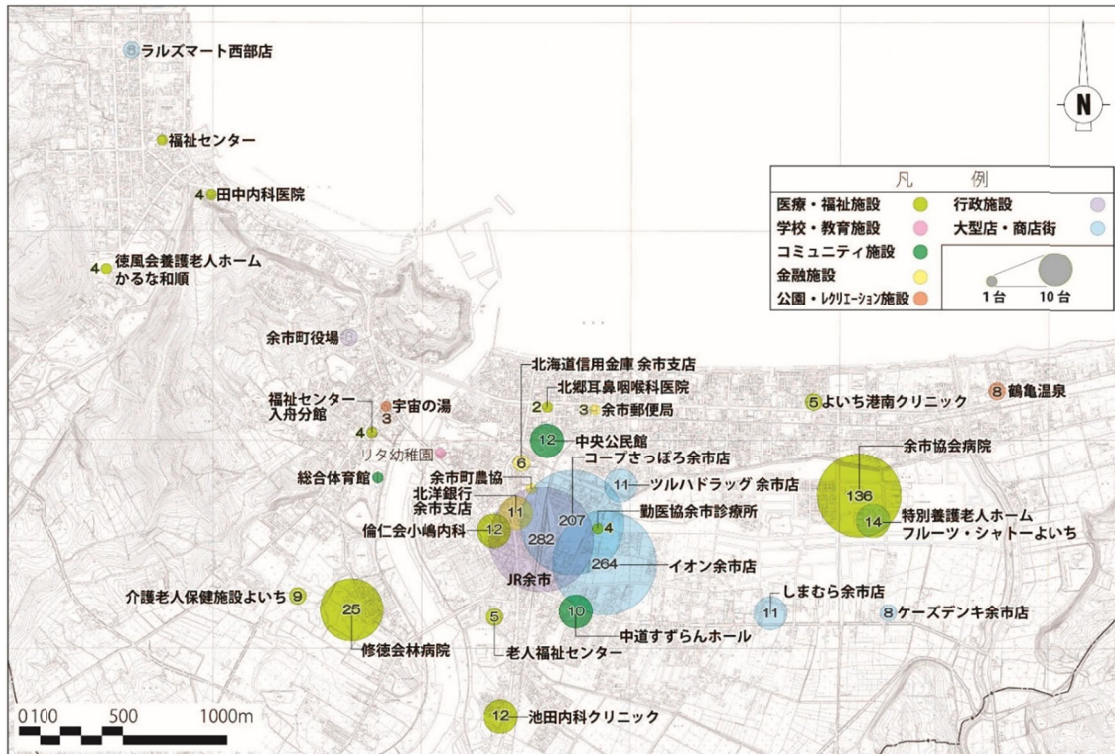


図 公共・公益施設へのアクセス回数

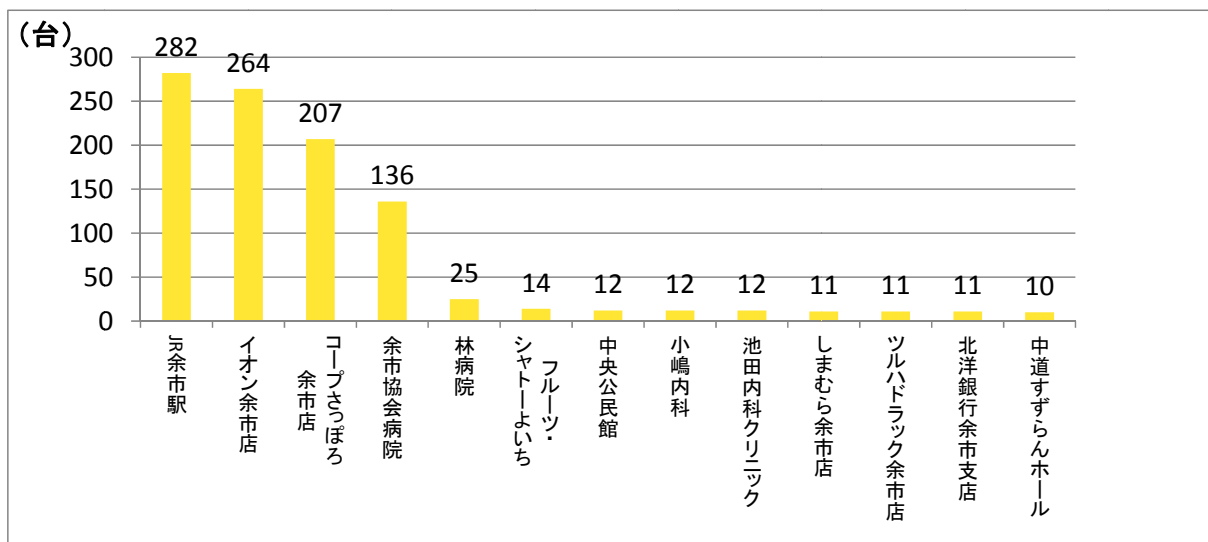


図 公共・公益施設へのアクセス回数 (10回以上)

【参考資料 公共交通アンケート調査票】

◆余市町地域公共交通アンケート調査◆

質問には、「世帯」としてお答えいただくものと、お住まいの方「一人ひとり」についてお答えいただくものがあります。「一人ひとり」がお答えいただくものは最大5名まで回答可能です。5名以上の方がお住まいの場合、「高齢者の方」や「学生の方」を優先して、ご回答ください。

問1 「お住まい」、「世帯」、「公共交通利便性」についてお伺いします。

Q1 お住まいの地域をお答えください。(一つに○)

1. 栄町	2. 登町	3. 大川町	4. 黒川町	5. 入舟町	6. 浜中町	7. 美園町	8. 朝日町	9. 山田町
10. 沢町	11. 富沢町	12. 港町	13. 梅川町	14. 豊丘町	15. 白岩町	16. 潮見町	17. 豊浜町	

Q2 ご本人を含め何名の方がお住まいですか。(一つに○、必要な内容を記載)

1. 「1人」	2. 「2人」	3. 「3人」	4. 「4人」	5. 「5人」	6. 「6人」	7. 「7人以上 ( )人」
---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------------

Q3 Q2の内、学生の方、65歳以上の方は何名ですか。(一つに○、必要な内容を記載)

1. 「1人」	2. 「2人」	3. 「3人」	4. 「4人」	5. 「5人」	6. 「6人」	7. 「7人以上 ( )人」
---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------------

Q4 一人ひとりの性別、年齢区分、職業・就学の有無、自動車運転免許保有の有無、自家用車使用の状況、運転の状況についてお答えください。

質問	記載例	一人目	二人目	三人目	四人目	五人目
①性別 (一つに○)	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性	1. 男性 2. 女性
②年齢区分 (選択肢から番号を一つ選んで記載)	回答: 7	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____
		●選択肢 1. 未就学児 2. 小中学生 3. 高校生 4. 大学・短大生 5. 20~39歳 6. 40~59歳 7. 60~64歳 8. 65~74歳 9. 75~84歳 10. 85歳以上				
③就業・就学の有無 (一つに○)	あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし
④自動車運転免許保有の有無 (一つに○)	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし	1. あり 2. なし
⑤自家用車使用の状況 (選択肢から番号を一つ選んで記載)	回答: 3	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____
		●選択肢 1. 自ら所有の車を使用 2. 家族所有の車を使用 3. 家族運転の車に乗車 4. 車は使用しない				

質問	記載例	一人目	二人目	三人目	四人目	五人目
⑥運転の状態 (選択肢から番号を一つ選んで記載)	回答: 1	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____
		●選択肢 1. 運転しない・運転免許なし 2. 問題を感じない 3. 時々不安を感じる 4. いつも不安を感じる				
⑦運転免許証の返納について (選択肢から番号を一つ選んで記載) (可能であれば第三者が回答ください)	回答: 1	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____
		●選択肢 1. 運転しない・運転免許なし 2. 返納が必要な年齢ではない 3. 検附中、あるいは検付予定あり 4. 既に運転免許は返納済み 5. 生活の足がなくなるので返納は考えられない 6. 普段は運転しないが、運転免許は証明書として、またはいざという時に運転できるよう今後も持っている				

Q5 ご自宅から「鉄道駅」と「バス停留所」までの概ねの距離についてお答えください。(それぞれ一つに○)

①鉄道駅までの概ねの距離	1. 距離 300m未満	2. 距離 300m~500m未満	3. 距離 500m~1,000m未満	4. 距離 1,000m以上
②バス停までの概ねの距離	1. 距離 300m未満	2. 距離 300m~500m未満	3. 距離 500m~1,000m未満	4. 距離 1,000m以上

Q6 Q5において「鉄道駅」や「バス停留所」まで遠さを感じていますか。

質問	記載例	一人目	二人目	三人目	四人目	五人目
鉄道駅やバス停留所まで遠さを感じていますか (一つに○)	1. 不便ではない 2. 少し不便 3. 遠くて不便	1. 不便ではない 2. 少し不便 3. 遠くて不便	1. 不便ではない 2. 少し不便 3. 遠くて不便	1. 不便ではない 2. 少し不便 3. 遠くて不便	1. 不便ではない 2. 少し不便 3. 遠くて不便	1. 不便ではない 2. 少し不便 3. 遠くて不便



問2 Q7 公共交通を利用されている方への質問です。(公共交通を利用されていない方は問3へお進みください。)

質問	曜日	項目	記載例	一人目	二人目	三人目	四人目	五人目	
<p>公共交通を利用した外出について、曜日別にa～dをお答えください。 (a外出時間帯は、出発時刻と帰宅時刻をお書きください) (b外出目的、c行き先、d公共交通機関は、選択肢から該当するものをお書きください)</p> <p><b>b外出目的の選択肢</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>通勤・通学</li> <li>買物</li> <li>飲食・趣味活動等</li> <li>通院・治療</li> </ol> <p><b>c行き先選択肢</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>余市町内</li> <li>小樽</li> <li>札幌</li> <li>仁木・赤井川</li> <li>古平・積丹</li> <li>その他(回答欄に記入)</li> </ol> <p><b>d公共交通機関選択肢</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>JR</li> <li>中央バス高速バス</li> <li>中央バス余市線</li> <li>中央バス積丹線</li> <li>中央バス余市協会病院</li> <li>中央バス赤井川線</li> <li>中央バス銀山線</li> <li>ニセコバス小樽線</li> </ol>	月	a 外出時間帯	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	
		b 主な外出目的	b	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d
	火	a 外出時間帯	a 10時台～13時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b 2	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c 1	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d 4	d	d	d	d	d	d
	水	a 外出時間帯	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d
	木	a 外出時間帯	a 12時台～20時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b 3	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c 3	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d 1、2	d	d	d	d	d	d
	金	a 外出時間帯	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d
	土	a 外出時間帯	a 12時台～17時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b 4	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c 1	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d 2、5	d	d	d	d	d	d
	日	a 外出時間帯	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d

3

問4へお進みください。

問3 Q8 以下に該当する方への質問です。

5年以内にご自宅等の近くで新たな公共交通が運行する場合、利用する意向がある方へ伺います。利用する意向がない方は問4へお進みください。

質問	曜日	項目	記載例	一人目	二人目	三人目	四人目	五人目	
①ご自宅からどのような公共交通があれば利用しますか。(選択肢から番号を一つ選んで記載)	—	回答: 1	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____	回答: _____	
		<p><b>●選択肢</b></p> <p>1. 駅周辺に行ける公共交通 2. 市街地に行ける公共交通 3. 町内全域に行ける公共交通</p>							
<p>②いつもの外出について、曜日別にa～cをお答えください。 (a外出時間帯は、出発時刻と帰宅時刻をお書きください) (b外出目的、c行き先は、選択肢から該当するものをお書きください)</p> <p><b>b外出目的の選択肢</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>通勤・通学</li> <li>買物</li> <li>飲食・趣味活動等</li> <li>通院・治療</li> </ol> <p><b>c行き先選択肢</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>余市町内</li> <li>小樽</li> <li>札幌</li> <li>仁木・赤井川</li> <li>古平・積丹</li> <li>その他(回答欄に記入)</li> </ol>	月	a 外出時間帯	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	
		b 主な外出目的	b	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d
	火	a 外出時間帯	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d
	水	a 外出時間帯	a 8時台～11時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b 4	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c 1	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d
	木	a 外出時間帯	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d
	金	a 外出時間帯	a 15時台～20時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b 3	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c 2	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d
	土	a 外出時間帯	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d
	日	a 外出時間帯	a 12時台～17時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台	a 時台～時台
		b 主な外出目的	b 2	b	b	b	b	b	b
		c 主な行き先	c 1	c	c	c	c	c	c
		d 公共交通機関	d	d	d	d	d	d	d

4

問4 路線バスについて今後の公共交通のあり方についてお答えください。

Q9 路線バスについて、①、②の質問にお答えください。

質問	記載例	一人目	二人目	三人目	四人目	五人目
①路線バスについて、不満や改善点があるとすれば、どのようなことがありますか。 (選択肢から番号を選んで記載、二つ以内)	回答： 1・9 鉄道との接続が悪い	回答： _____	回答： _____	回答： _____	回答： _____	回答： _____
<p>●選択肢</p> <p>1. 自宅からバス停留所まで遠い 2. 行きたい施設にバスで行くことができない 3. 料金が高い</p> <p>4. 乗りたい時間にバスが運行していない 5. 段差があってバスに乗り降りしづらい 6. バスの乗り方がわからない</p> <p>7. どのようにバスが運行しているかわからない 8. 停留所の待合環境が快適でない 9. その他(直接記載)</p>						
②路線バスについて、どのような施設の近くに停留所があると(もっと)バスを利用しますか (選択肢から番号を選んで記載、三つ以内) (選択肢以外の施設等があれば直接記載)	回答： 27.61.76 おゆめ公園 パークゴルフ場	回答： _____	回答： _____	回答： _____	回答： _____	回答： _____
<p>●選択肢</p> <p>■行政サービス施設・学校・教育施設・鉄道駅</p> <p>1. 余市町役場 2. 余市紅志高等学校 3. 北星学園余市高等学校 4. 余市養護学校 5. 旧余市福原漁場 6. 図書館 7. JR余市駅</p> <p>■子育て支援施設</p> <p>11. リタ幼稚園 12. 杉の子幼稚園 13. 夢の森幼稚園 14. 大川保育所 15. 中央保育所 16. よいち保育園</p> <p>■コミュニティ施設</p> <p>21. 総合体育館 22. 中央公民館 23. 黒川会館 24. 黒川八幡生活館 25. 大浜中老人寿の家 26. 東大浜中福祉の家 27. ふじ公園</p> <p>28. 円山公園ふれあい交流施設 29. 福祉センター 30. 福祉センター入船分館 31. 老人福祉センター</p> <p>■医療・福祉施設</p> <p>41. 小嶋内科 42. 勤医協余市診療所 43. 余市協会病院 44. 池田内科クリニック 45. 北郷耳鼻咽喉科 46. よいち港南クリニック</p> <p>47. 林病院 48. 田中内科医院 49. 特別養護老人ホームフルーツ・シャトーよいち 50. 介護老人保健施設よいち 51. 養護老人ホームかるな和順</p> <p>■大型店・金融機関・その他施設</p> <p>61. イオン余市店 62. コープさつぼる余市店 63. ケーズデンキ余市店 64. しまむら余書店 65. ツルハドラッグ余市店 66. ラルズマート西部店</p> <p>67. 北洋銀行余市支店 68. 余市郵便局(大川本局) 69. 北海道信用金庫余市支店 70. 北海道信用金庫沢町支店 71. 余市町農協(JAバンク)</p> <p>72. 中道さくらホール 73. 中道すずらんホール 74. 服部斎場 75. 余市温泉宇宙の湯 76. 鶴亀温泉</p>						

Q10 どのような公共交通があれば利用したいですか。

質問	記載例	一人目	二人目	三人目	四人目	五人目
利用したい公共交通をお答えください。 (選択肢から番号を一つ選んで記載)	回答： 1	回答： _____	回答： _____	回答： _____	回答： _____	回答： _____
<p>●選択肢</p> <p>1. 多少、運賃が高くても自宅や目的となる施設まで行けるもの(乗合タクシー*)</p> <p>2. 停留所までは歩かなければいけないが、運賃が比較的安いもの(コミュニティバス*)</p> <p>3. 今より利便性が高い路線バス(増便、停留所の追加など)</p> <p>4. 一般の人も乗ることができるスクールバス 5. 公共交通は利用しないと思う</p> <p>6. 分からない</p>						

※乗合タクシーとコミュニティバスについて

項目	乗合タクシー(デマンド型交通)	コミュニティバス
一番の特徴	自宅の前や公共施設や大型店の前で乗り降りできる	決められたルートを決められた時刻で運行する(わかりやすい)
ルート	利用(予約)があるところに最短ルートで行ける	きめ細かなルートを運行
運行時刻	出発、あるいは到着時刻が固定されているが、利用人数により時刻が変わるものが多い	時刻表により定時運行
運賃	一般的にコミュニティバスよりも高くハイヤー・タクシーよりも安価	一般的に乗合タクシー(デマンド型交通)よりも安価
予約の有無	必要	不要
乗降可能な場所	自宅とあらかじめ決められた目的施設でのみ乗降できるものが多い	あらかじめ決められたバス停留所でのみ乗降

Q11 路線バスなど公共交通について、ご意見がありましたらお書きください。

-----

-----

-----

-----

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

